



Tokyo University of Agriculture and Technology

2

国立大学法人  
東京農工大学

学生便覧

Campus Guide

0

1



0

## 平成22年度 学年暦

月 日	事 項	備 考
4月 1日 (木)	学年開始, 前学期開始	
4月 1日 (木) 5日 (月)	春季休業	
4月 5日 (月) 7日 (水)	定期健康診断	
4月 6日 (火)	入 学 式 (春季)	
4月 7日 (水)	新入生オリエンテーション	
4月 8日 (木)	授業開始	
4月23日 (金) 24日 (土)	農学部新入生合宿 オリエンテーション	
5月 7日 (金) 8日 (土)	工学部新入生合宿 オリエンテーション	
5月28日 (金)	月曜日振替	当該日に月曜日の授業を行う
5月31日 (月)	創立記念日	
7月15日 (木)	月曜日振替	当該日に月曜日の授業を行う
8月 2日 (月) 8月 6日 (金)	前学期定期試験	
8月 7日 (土) 9月30日 (木)	夏季休業	
9月15日 (水)	修 了 式 (秋季)	
9月30日 (木)	前学期終了	
10月 1日 (金)	授業開始、後学期開始	
10月 6日 (水)	入 学 式 (秋季)	
11月12日 (金) 14日 (日)	学園祭	
12月23日 (木) 1月 5日 (水)	冬季休業	
2月 3日 (木)	月曜日振替	当該日に月曜日の授業を行う
2月 7日 (月) 14日 (月)	後学期定期試験	
2月14日 (月)	金曜日振替	当該日に金曜日の後学期定期試験を行う
3月25日 (金)	卒 業 式	
3月31日 (木)	学年終了, 後学期終了	

注)

1. 定期試験及び学園祭日程については、変更することがある。
2. 「技術経営研究科 (MOT)」では、学府及び学部に適用する学年暦を原則的に準用するが、夜間及び土曜日での開講を考慮し、多少変更することがある。

## 東京農工大学に入学された皆さんへ



学長 小畑 秀文

入学、おめでとう。入学試験という厳しい競争から開放され、晴れやかな気分希望に胸を膨らませていることと思います。おおいに夢を育て下さい。

本学では、皆さんが選んだ専門分野の深い知識と同時に、広い一般教養をも併せ持った深みと広がりのある人材の育成を目的としております。長い人生においては色々なターニングポイントがあります。狭い専門分野以外に広い教養を身に着けていれば、そのような転換点でそれが大きな武器に、あるいは強い味方になります。いわゆる一般教養科目の重要性を是非認識して下さい。皆さんが大学で学ぶ科目の中で、この一般教養科目は皆さんが選んだ専門の科目と同じように重要あるとあって過言ではありません。今は人、もの、情報の動きに国境は無く、世界は一つに結ばれたグローバル化の時代です。地球の反対側での出来事の影響が地球全体にあつという間に広がる時代になってきました。この流れはこれから一層強まるものと思われます。皆さんが大学を卒業してから活躍する場は日本だけの閉じた社会ではありません。異なる歴史や文化をもつ多様な国々の人々との関わりが普通の日常となるわけです。皆さんには国際人なることが期待されますが、その下地は皆さんが養った教養が形作るものなのです。知識欲旺盛な学生時代こそ、皆さんの専門性と国際人としてふさわしい教養の両方を磨く好機とすべきでしょう。

大学院に入学された皆さんには、学部で身に着けた基礎の上にさらに高度な専門性を深め、選んだ分野でのスペシャリストとしてグローバルに活躍できる研究者・技術者を是非目指して下さい。

大学では“一方的な知識の伝授”が主体ではありません。学生諸君は自ら進んで考え、調べ、さらには新たな知を生み出すことまで要求されます。与えられることを待つのではなく、自ら求めて下さい。求めれば、それに応えられるのが大学です。何事にも自発性と行動力を持ってあたる積極的な学園生活を送り、明日を担う社会人として成長されんことを期待しております。皆さんの学園生活が実り多いものであることを祈ります！

# 東京農工大学憲章

平成18年7月1日

## 前文

急激な知の拡大と深化、そして、それらがもたらした技術と社会システムの根底からの変化は20世紀を特徴付けるものの一つであった。21世紀を迎えた今日、このような変化はなお継続し、加速しているように見える。高度な知の生産と学習伝授（教育と研究）は、個人・共同体・国家のすべてにとって歴史上いまだかつてないほどに重大な意義を持つようになり、社会全体が文化的・経済的・環境持続的に発展し続けるための不可欠の要素ともなっている。その中で、大学は先端的な教育研究活動を通して、学術・文化発展の中心をなし、その旗手としての存在と役割はこれまで以上に重要となってくる。

東京農工大学は、1874年に設置された内務省勤業寮内藤新宿出張所農事修学場および蚕業試験掛をそれぞれ農学部、工学部の創基とし、1949年に大学として設置され、前身校を含め130年にも及ぶ歴史と伝統を有する大学である。

東京農工大学は、この建学の経緯から、人類社会の基幹となる農業と工業を支える農学と工学の二つの学問領域を中心として、幅広い関連分野をも包含した全国でも類を見ない特徴ある科学技術系大学として発展し、また、安心で安全な社会の構築や新産業の展開と創出に貢献しうる教育研究活動を行ってきた。

東京農工大学は、自由な発想に基づく真理の探究を目指す教育と研究を展開し、また、科学技術が地球、社会、人類へ及ぼす影響を常に思慮しうる、教養豊かで指導的な研究者・技術者・高度専門職業人を養成するため、その拠って立つ理念と目標を国立大学法人東京農工大学憲章としてここに制定する。

## 基本理念

東京農工大学は、20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念とする。

東京農工大学は、この基本理念を「使命志向型教育研究 - 美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth)と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組む。

## 教 育

東京農工大学は、学生の自主的・自律的な学習活動を尊重し、科学技術系の大学に相応しい学識、知の開拓能力、課題探求能力、問題解決能力を兼ね備えた人材を育成する。

東京農工大学は、科学技術系大学院基軸大学として、豊かな教養・高い倫理観と広い国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる先駆的で人間性豊かな指導的研究者・技術者・高度専門職業人を養成し、その社会的輩出に貢献する。

## 研 究

東京農工大学は、人類社会の基幹を支える農学、工学およびその融合領域にかかわる基礎研究から科学技術に直結する応用研究に至る「使命志向型研究」の遂行により、卓越した新しい知の創造を推進する。

東京農工大学は、高い倫理観をもって、持続発展可能な社会の構築に向けた、人と自然が共生するための「科学技術発信拠点」としての社会的責任を果たす。

## 社会貢献・国際交流

東京農工大学は、学術文化の発展と科学技術教育の基盤形成に参画し、諸研究機関、産業界、地域社会等との連携・交流を推進することで、我が国の科学技術の昂進、産業の振興や地域の活性化と発展に貢献する。

東京農工大学は、世界平和の維持と人類福祉の向上に貢献することを目標に、健全な科学技術の発展に資する教育研究活動の展開とその成果の発信を通じて、諸外国との学術的・文化的交流を深化させ、地球規模での共生持続型社会の構築に貢献する。

## 運 営

東京農工大学は、国立大学法人としての設置目的とMORE SENSEの基本理念を踏まえ、構成員の協働を通して自主的・自律的な運営を行う。

東京農工大学は、環境に配慮し、人権を尊重するとともに、国立大学法人としての公共性を自覚し、計画と評価を通じて、教育研究機関の特性を生かした組織・業務の見直しなど不断の改革を進め、高い透明性と幅広い公開性を原則に社会に対する説明責任を果たす。

## ハラスメント防止声明

国立大学法人東京農工大学は、個人の尊厳と学問の自由を損なう差別やいじめのない大学キャンパスの実現をめざし、教育・研究及び就労環境の整備に努めていくことを宣言します。

このたび本学は、本学のすべての構成員が個人として尊重され、快適で安心のできる環境の中で学び、研究し、働く権利を具体的に保障するため、従来のハラスメント防止体制を全面的に見直し、新たにガイドラインを作成し、これに基づいて、ハラスメント防止・対策の規程を定めて「ハラスメント防止・対策委員会」を発足させました。そしてセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなど各種のハラスメントをめぐる相談と同委員会への苦情申立てを取次ぐ専門機関として「ハラスメント相談室」を開設しました。この相談室では、専門のハラスメント相談員がハラスメントを受けた悩みや気持ちを受け止め、今後の行動指針と支援を得る方策をアドバイスします。プライバシーに十分配慮しながら相談者の立場に立って相談と苦情申立ての取次ぎに応じます。また、ハラスメント被害や苦情申立ての相談を受けた教職員や関係者からの相談も受け付けます。

本学の構成員はすべて、相手の立場を尊重することに努め、人間関係を損ない、個人の尊厳を傷つけることにならぬよう努める義務を負います。とくに教育・研究の場においては、指導的立場にある者が意図の有無に関わらず指導関係を権力的に濫用（らんよう）することで指導を受ける立場の者からの信頼を裏切り、時に指導を受ける者の教育を受け研究する権利と自由の基盤を損ないます。このようなアカデミック・ハラスメントが、人権侵害行為になりうることを十分認識して、良好な教育・研究及び就労環境をつくるよう努力してください。大学は、ハラスメントを重大な問題として扱います。悪質なハラスメントには厳しい態度で臨み、解雇や退学処分を含む懲戒の根拠とみなすことがあります。各部局の長は、具体的な施策や措置の実施について責任を負います。

ホームページ等にあるハラスメント防止及び対策に関するガイドラインをすべての大学構成員が読んで、対応フロー図、規程を参考にして意識改革と今後の行動指針に活用されることを強く望みます。

国立大学法人 東京農工大学長

小 畑 秀 文

# 府中キャンパス配置図



- |  |                               |  |                      |
|--|-------------------------------|--|----------------------|
| <b>1</b> 1号館(応用生物科学科・地域生態システム学科・環境資源科学科)                     | <b>8</b> 7号館(応用生物科学科・獣医学科)    | <b>19</b> 福利厚生センター・学生活動支援センター          | <b>28</b> 遺伝子実験施設    |
| <b>2</b> 2号館(生物生産学科・応用生物科学科・環境資源科学科・地域生態システム学科・総合情報メディアセンター) | <b>9</b> 8号館(応用生物科学科・環境資源科学科) | <b>20</b> 大学院連合農学研究科管理研究棟              | <b>29</b> 農学部RI実験研究室 |
| <b>3</b> 3号館(地域生態システム学科)                                     | <b>10</b> 農学部本館               | <b>21</b> 旧キャリアパス支援センター                | <b>30</b> 乳牛舎        |
| <b>4</b> 4号館(獣医学科)   | <b>11</b> 農学部第1講義棟            | <b>22</b> 運動場附属施設(ゴルフ練習場)              | <b>31</b> 府中国際交流会館   |
| <b>5</b> 新4号館(地域生態システム学科・獣医学科)                               | <b>12</b> 農学部第2講義棟            | <b>23</b> 本部(学生系・大学教育センター)             | <b>32</b> 楓寮(女子寮)    |
| <b>6</b> 5号館(環境資源科学科・地域生態システム学科)                             | <b>13</b> 語学演習棟・国際センター府中      | <b>24</b> 本部(総務系・財務系)                  | <b>33</b> 職員宿舎       |
| <b>7</b> 6号館(生物生産学科・応用生物科学科・環境資源科学科・地域生態システム学科)              | <b>14</b> 図書館                 | <b>25</b> 保健管理センター                     | <b>34</b> 職員宿舎       |
|  | <b>15</b> 動物医療センター            | <b>26</b> 50周年記念ホール                    | <b>35</b> 職員宿舎       |
|  | <b>16</b> 農学部附属硬蛋白質利用研究施設     | <b>27</b> 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター |                      |
|  | <b>17</b> 体育館                 |  |                      |
|  | <b>18</b> 総合屋内運動場施設           |  |                      |



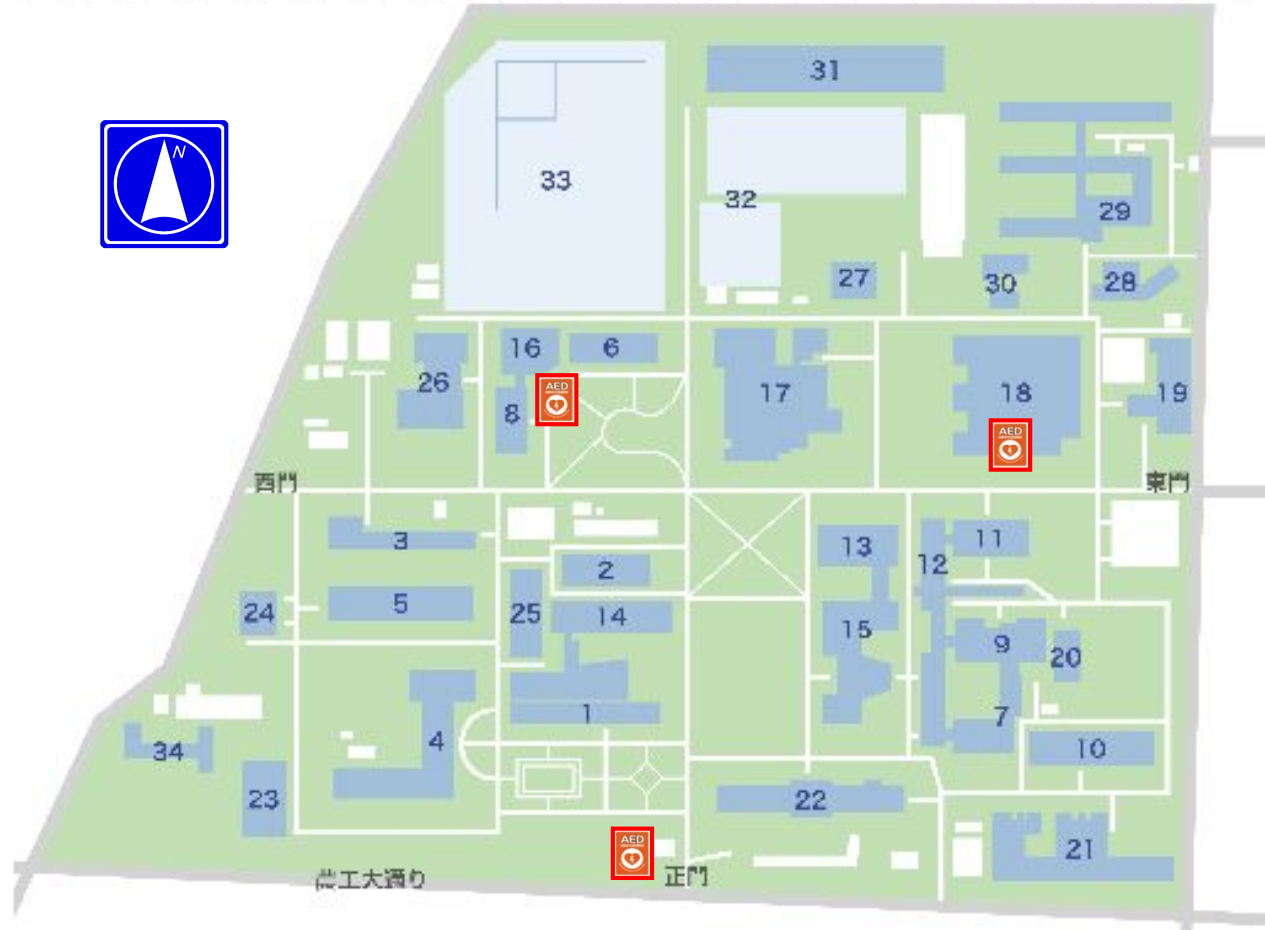
# 小金井キャンパス配置図



至 武蔵小金井

JR 中央線

至 東小金井



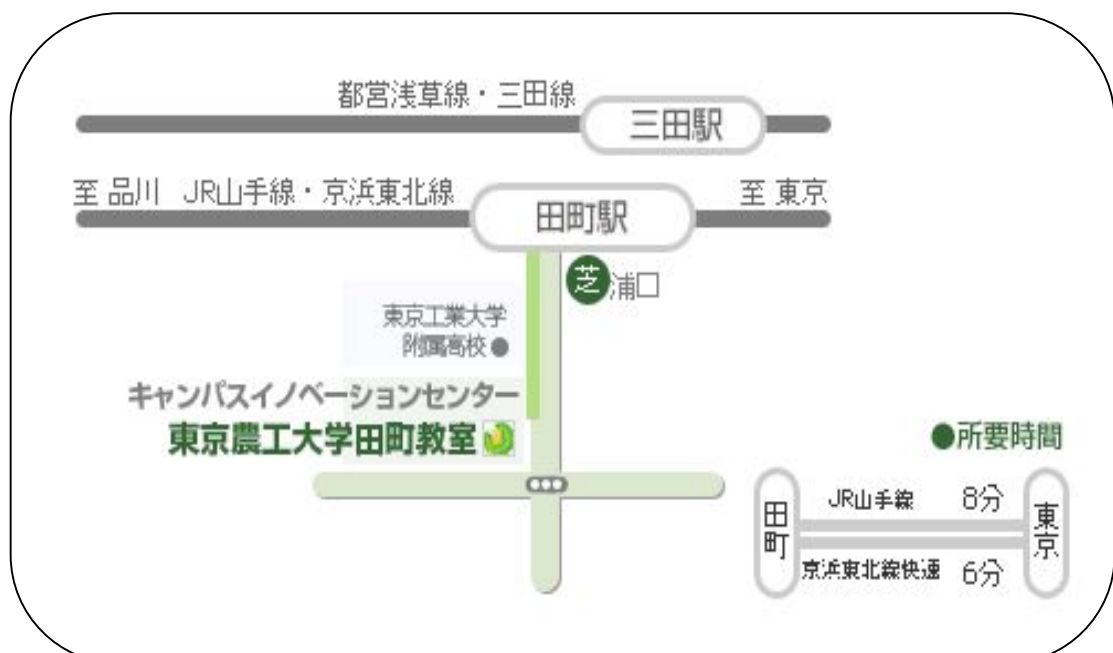
- |  |  |                                 |              |
|--|--|---------------------------------|--------------|
| 1 1号館(有機材料化学科)                                   | 10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科)           | 17 小金井図書館                       | 28 小金井国際交流会館 |
| 2 2号館(機械システム工学科)                                 | 11 11号館(生命工学科・機械システム工学科)               | 18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(BASE)) | 29 櫺寮(男子寮)   |
| 3 3号館(電気電子工学科)                                   | 12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科) | 19 工学部総合会館                      | 30 桜寮(女子寮)   |
| 4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・技術リスクマネジメント専攻) | 13 13号館(国際センター)                        | 20 CAD/CAM実習施設                  | 31 アーチアリーナ   |
| 5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析施設)                  | 14 新1号館(応用分子化学科・化学システム工学科・電気電子工学科)     | 21 産官学連携・知的財産センター               | 32 テニスコート    |
| 6 6号館(機械システム工学科)                                 | 15 工学部講義棟                              | 22 科学博物館                        | 33 グラウンド     |
| 7 7号館(情報工学科)                                     | 16 中央棟(専門職大学院技術経営研究科・工学部事務部)           | 23 先端科学実験棟                      | 34 職員宿舎      |
| 8 8号館(総合情報メディアセンター)                              |  | 24 環境管理施設                       |              |
| 9 9号館(機械システム工学科・技術リスクマネジメント専攻)                   |  | 25 ものづくり創造工学センター                |              |
|  |  | 26 体育館                          |              |
|  |  | 27 工学部RI実験研究棟                   |              |

# 技術経営研究科 (MOT) 田町サテライトオフィス

田町教室は官庁街やビジネスエリアに至近で、駅から徒歩1分のキャンパスイノベーションセンターにあり、就業後の通学に便利です。

JR山手線・京浜東北線： 田町駅下車 徒歩1分

都営三田線・浅草線： 三田駅下車 徒歩5分





# Campus Life

## Q & A

新しい生活のスタートです。授業、サークル、アルバイト・・・やりたいこと、挑戦してみたいことたくさん。でも「どうしたらいいのかな」ということもたくさんあります。そんな疑問に役立つ情報を紹介します。ぜひ参考にしてみてください。

### 心とからだ

健康診断証明書がほしいのですが . . . . . 5・14 ページへ  
ハラスメントを受けて困っています。

どこに相談すればよいですか . . . . . 19 ページへ

病気やけがをしたときは、どこにいけばいいの? . . . . . 14 ページへ

### 授業・学習

授業の取り方が良くわかりません。

どこに聞けば良いの? . . . [各地区学生サポートセンター教務係へ](#)

図書館の使い方について教えて . . . . . 54 ページへ

留学を考えています。どこに相談したらいいの? . . . . . 49 ページへ

### キャンパス

学内で落し物、

忘れ物をしたのですが? . . . [各地区学生サポートセンター学生生活係へ](#)

学内で拾い物をしたのですが、

どうしたらよいですか? . . . [各地区学生サポートセンター学生生活係へ](#)

学内で盗難にあったのですが、

どうしたらよいですか? . . . [各地区学生サポートセンター学生生活係へ](#)

教務係と学生生活係って何が違うんですか? . . . . . 2 ページへ

### 課外活動

生協・総合会館(会議室)って、

自分たちでも利用できるの? . . . . . 38 ページへ

ゼミやサークルで合宿をしたいのですが、

安く宿泊できる施設はありませんか? . . . . . 40・41 ページへ

新しくサークルを作りたいのですが、

どうしたらよいですか? . . . [各地区学生サポートセンター学生生活係へ](#)

友達を作りたいんですが、

個人で参加できる行事がありますか? . . . . . 33 ページへ

サークルで備品を貸して欲しいのですが。 . . . . . 37 ページへ

## 進路・就職

農工大では

どんな資格が取れるの？ . . . [各地区学生サポートセンター教務係へ](#)  
就職について情報がほしいのですが。 . . . 31 ページへ  
進路のことで個人的に誰かに相談したいのですが。 . . . 31 ページへ

## 各種手続

自動車またはバイクで通学したいのですが。 . . . 9 ページへ  
授業料を免除してもらいたいのですが、

どうしたらよいですか？ . . . 27 ページへ

引越をして住所を変更したのですが、

何か手続きは必要ですか？ . . . 5 ページへ

証明書自動発行機で

どんな証明書が入手できるのですか？ . . . 5 ページへ

## 生活

奨学金はどうすれば受けられますか？ . . . 23 ページへ

アルバイトをしたいのだけれども、

どこに行ったらよいのですか？ . . . 29 ページへ

友達を作りたいのだけれど、

誰に相談すればよいのですか？ . . . 19 ページへ

学生寮に入りたいのですが。 . . . 30 ページへ

人間関係で悩んでいます。

どこに行けばいいのですか？ . . . 15・16 ページへ

引越をしたいのだけれど、

マンション・アパートを紹介してもらえませんか？ . . . 30 ページへ

旅行をするために、チケットを頼みたいのですが、

学内で入手できますか？ . . . [東京農工大学生協へ](#)

しつこい勧誘をどう断ったらいいのか困っています。

**【重要なお知らせを必ず読んでください！！】**

休学もしくは退学を

考えているのですが。 . . . [各地区学生サポートセンター教務係へ](#)  
授業中にケガをしたのですが、

保険金は支払われますか？ . . . 20 ページへ

帰省したいので、学割証がほしいのですが。 . . . 5 ページへ

# 学務情報システムSPICAのご案内

学務情報システム（愛称：SPICA スピカ）とは、皆さんにより便利な学生生活を送っていただくための、学内ネットワークシステムです。本システムでWebによる履修登録や時間割の確認、成績照会などを行います。

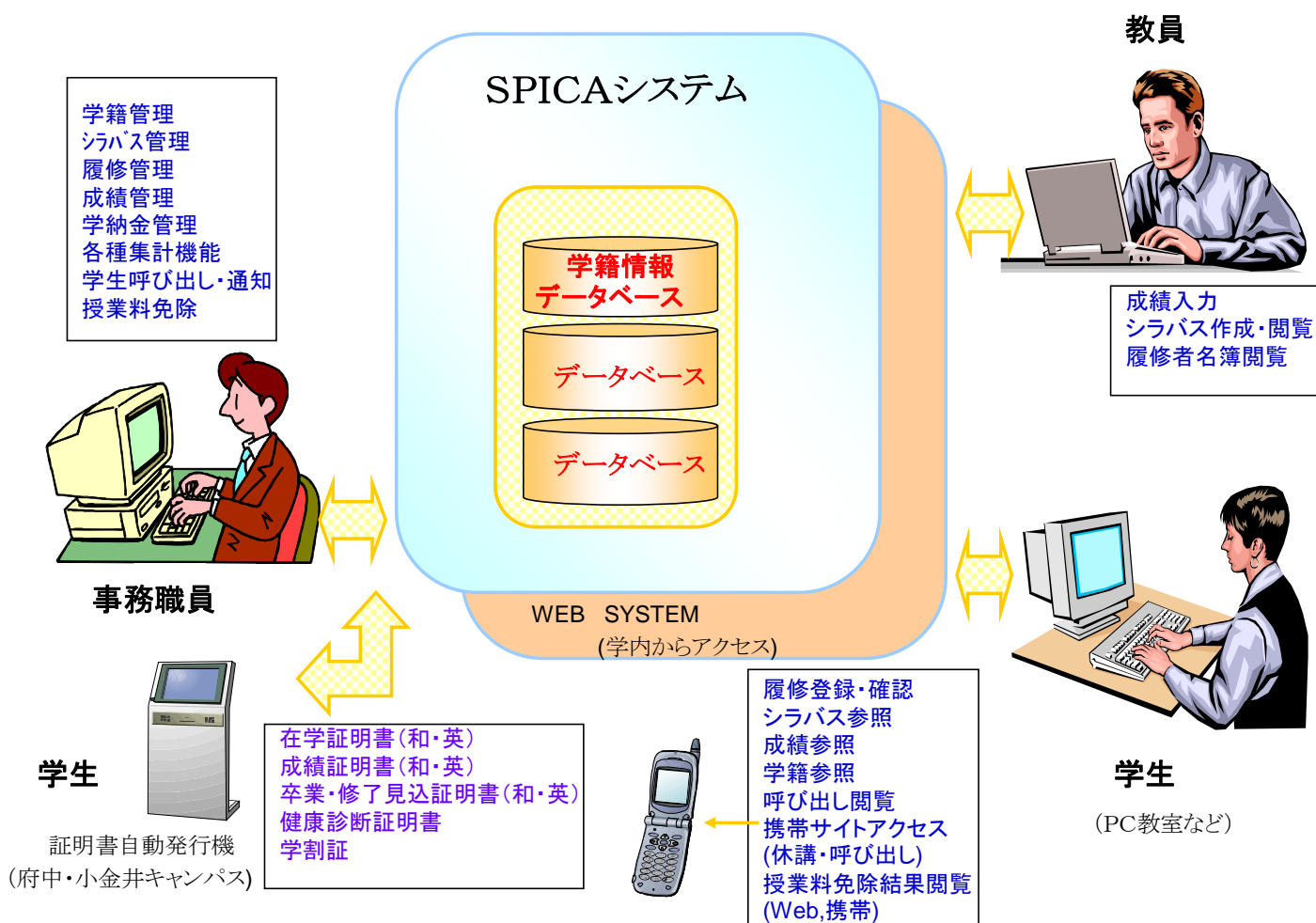
## 《主な機能》

- ・履修登録
- ・シラバス検索
- ・成績照会
- ・学籍情報照会
- ・休講情報
- ・免除結果照会
- ・各種お知らせ など

## 《利用環境》

学内ネットワークに接続されたPC（府中・小金井地区）

## 学務情報システム(SPICA)



# 重要なお知らせ（必ず読んでください）



## 自分のいのちを大切に！！

毎年自殺者が3万人を超え社会問題となっています。の中には多くの大学生も含まれています。進路、学業不振、身体の病氣、親子・友人・教員との人間関係、恋愛・失恋・就職失敗等々、様々な悩みがあると思いますが、一人ぼっちで悩み、苦しんでいると死にたくなるような気持ちが募ってきます。あなたは一人ではありません。あなたの周りには、家族や友人をはじめ、大学には教職員や医師、カウンセラーもいます。一人で悩まずSOSを出してください。友達や知人が「死にたい」と言ったらほっておかないで、誰かに相談してください。あなたに「生きてほしい」と願っている人が多くいることを忘れないでください。



## 薬物乱用は重大な犯罪！！

薬物乱用は、心と体をボロボロにするだけでなく、家族や友人を巻き込み、あなたの大切な人生を台無しにしてしまいます。

「私は大丈夫・・・」、「一度だけなら・・・」、「ちょっとだけなら・・・」、といった安易な考えは危険です。

特に、昨今大学において大麻が蔓延していると社会問題になっています。

「ダイエットに効く・・・」、「大麻は大した害はない・・・」など、間違った考えが流布しています。

一人ひとりが薬物乱用の本当の恐ろしさを正しく理解し、絶対に麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物に手を出さないという心を養ってください。



## イッキ飲みは絶対にやめよう！！

クラス・サークルでの新歓コンパ、追い出しコンパ等、大学生になればお酒を飲む機会が増えてくるでしょう。適量のアルコールは胃液の分泌を促進し食欲を増進させるなど、身体に良い効果もあるようですが、大学生の飲酒で一番注意しなければならないのが、『イッキ飲み』です。

血中のアルコール濃度が最高度に達するまでには、普通飲酒してから30～60分ほどかかります。ところが、大量のアルコールを一時に摂取すると、血中アルコール濃度が急激に上昇し、「ほろ酔い期」も「酩酊期」も飛び越して、一気に「泥酔」「昏睡」の状態にまで進んでしまい、場合によっては呼吸困難などの危険な状態を引き起こします。

これが急性アルコール中毒です。血中アルコール濃度が「0.4%以上」（ビール大瓶10本・日本酒1升）になると、その半数が飲酒後1～2時間後に死亡しています。毎年、全国どこかの大学生が度が過ぎた飲酒で不幸にも亡くなっています。

このような死の危険のある『イッキ飲み』は絶対にやめるべきです。特にお酒の弱い体質の人のイッキ飲みは禁物であることを、本人も周りの人も十分わきまえるべきです。

### 飲酒の心得

- ☆20歳未満の飲酒は、法律違反です。
- ☆飲めない人に無理強いしない。（飲ませた方も責任を問われます。）
- ☆体調の悪いときは、無理せず飲まない。
- ☆自分の適量を知り、度を越さない。



# 重要なお知らせ（必ず読んでください）



## サークルを装い勧誘活動を行っているカルト宗教団体に注意！！

団体名や宗教名などを明かさず、「サッカーをやっているサークルだけど一度来てみない？」、「社会人と学生が集まってバレーをしているのだけど」、「農工大の現役生やOBもいるよ」、「他大学の学生とも交流できるよ」などと言って近づいてきます。

サッカーの元Jリーグ選手やバレーボール元日本リーグ選手、現役のファッションモデルなどの活動を紹介しながらの勧誘も行っています。

練習のあと食事やお茶に誘い、ファミリーレストランへ。スポーツ活動などを通し、仲良くなったところで頃合いを見計らい、徐々に教義の話などが開始されます。

「おかしいな」、「怪しいな」と思ったら迷わずはっきりと断りましょう。



## 悪徳商法にあなたも狙われている！！

- 人に売れば儲かると称し、高額で売りつける「マルチ商法」
  - 路上で呼び止める「キャッチセールス」
  - ハガキや電話で呼び出す「アポイントセールス」
  - 注文もしないのに商品を送りつける「押しつけ商法」
  - 先祖の因縁で不幸になるなどといって恐怖心をつのらせ、心理的に追い込んで売りつける「霊感商法」など
- あの手この手の悪徳商法があなたを狙っています。

もし万一、あなたがこのような問題に直面したら、一人で悩まずに学生サポートセンター学生生活係や学生相談室に相談してください。（本学学生部HPに詳しく掲載中です。）

また、最寄りの消費生活センターなどでも相談すると良い助言が得られます。

なお、違約金を払わずに、無条件で解約できる期間『クーリングオフ』があることも知っておくと良いでしょう。

**クーリングオフ制度**・・・消費者が、訪問販売や電話勧誘販売などで申込みや契約をした場合、訪問販売法で指定された商品・サービス・権利については、契約書を交付された日から8日以内（マルチ商法では20日以内）なら無条件で解約できる制度です。



## クレジット（クレジットカード）の使用に注意！！

最近では、クレジットカードでお金を借りたり、商品を買ったりするケースがふえてきました。クレジットとは私たち消費者の信用のもとに、代金の支払いを後払いにするシステムです。しかし、クレジット契約はサイン一つで商品やサービスが簡単に手に入る便利さの反面、借金の申込みをするのと同じであることを十分理解しておくことが大切です。

また、いわゆる「学生ローン」は、利用手続きの簡易さから安易な気持ちで利用する人がいるようですが、ごくわずかな借金でも高金利支払いのため、雪ダルマ式に増えていきます。

その返済のために他のローンも利用せざるを得なくなり、いつの間にか巨額の返済に追われ、本人の学生はもとより家族の生活にも深刻な影響を及ぼすことになります。



上記のように近年、学生が巻き込まれる犯罪・トラブル等が増加しています。この社会環境の変化に対応するには、学生自身が犯罪・トラブル等を認知・回避し、万一遭遇した場合においても、迅速かつ適切に対処できる必要があります。

本学では、犯罪・トラブル等についての正しい知識を持ち、安全な学生生活を送る一助とすべく、『東京農工大学自己防衛ハンドブック』を作成し、新入生全員に配布しています。



# 大規模地震が発生した場合の心得

地震といえば、新潟中越大地震は記憶に新しいところですが、その被害の甚大さにより、私達は自然災害の恐ろしさをあらためて認識させられました。

現時点では、地震がいつ、どこで起こるか予測することは、不可能といっても過言ではありません。

しかし、私たち一人一人が、日頃から防災に対する知識と十分な備えをすることで、地震による被害を最小限にすることはできます。

この心得は、大規模地震により重大な災害が発生した場合に、学生のとるべき対応の仕方及び地震発生時の一般的注意を述べたものです。

学生諸君は、この心得を自分のものとしたうえで、大規模地震等に際し、冷静に行動してください。

## 〔大規模地震が発生した場合の対応〕

1. 学生諸君はまず状況に応じて適切に身の安全を確保してください。その上で、大学から必要に応じて出される諸君への指示・諸連絡に留意し行動してください。
2. 大学は電話・ロコミ・現場確認等あらゆる手段を講じて学生諸君の安否等を確認する必要があります。災害が起った場合は、可能な限り自ら下記の各所属学部等へ電話連絡などにより無事であることを連絡してください。また、安否を確認した他の学生の状況も併せて連絡してください。

農学部及び農学府	TEL042-367-5540	(E-mail : a-gksei@cc.tuat.ac.jp)
大学院連合農学研究科	TEL042-367-5670	(E-mail : rennougk@cc.tuat.ac.jp)
工学部及び工学府	TEL042-388-7011	(E-mail : tkkousei@cc.tuat.ac.jp)
大学院生物システム応用科学府	TEL042-388-7217	(E-mail : basejimu@cc.tuat.ac.jp)
大学院技術経営研究科	TEL042-388-7739	(E-mail : mot001@cc.tuat.ac.jp)

大学からの安否等の確認は原則として「学生カード」に基づいて行うことになりますので、この記載内容が古いと、確認が非常に困難になります。住所等に変更が生じた時は速やかに届け出るよう普段から心がけてください。

3. 本学の府中キャンパス及び小金井キャンパスは、広域避難場所に指定されています。広域避難場所は、地域の火災が拡大した場合などに避難する施設として指定されているものであり、火災が鎮火するまでの数時間から長くても2～3日間程度避難者が滞留する場所とされています。このことについて学生諸君の理解と協力を求めます。

## 〔地震発生時の一般的注意〕

1. **グラツときたら、火の始末**  
「火を消せ」と声をかけあって、火気使用設備、実験器具等の火元を切ってください。
2. **薬品火災の予防措置のため、薬品棚の扉を閉めてください**
3. **机の下などに身をふせる**  
書棚、ロッカー、窓ガラス等から離れ、スチール机や頑丈なテーブルなどの下にもぐり込んだり、柱の多い所へ逃げ込むなど、身の安全を図ってください。
4. **ドアを開けて、まず出口を確保する**  
建物がゆがんで出口が開かなくなることがあります。逃げ口を失ったら避難できません。
5. **あわてて外に飛び出さな**  
外壁、窓ガラス等の落下物でケガをすることが予想されますので、落ちついて行動してください。
6. **火が出たらすばやく消火**  
火災が発生したら、落ちついて初期消火にあたってください。
7. **エレベーターは使用禁止**  
使用中の者は、直ちに最寄りの階で降りてください。
8. **門や塀などには近よらない**  
屋外に出たら、建物、門、ブロック塀など崩れやすいところを避けて避難してください。また、RI施設、危険物薬品庫、給油設備など危険な施設には、近づかないでください。
9. **避難は徒歩**  
避難は徒歩で、できる限り集団行動をとってください。その際ガラスの破片や落下物等に気をつけて避難してください。
10. **協力しあって救護・救援**  
「人命第一・安全第一」お互いに助け合って救護・救援活動を行ってください。
11. **正しい情報を知る**  
緊急時には、正しい情報をつかみ、的確な行動をとることが重要です。ラジオ、防災行政無線、広報車などから正しい情報入手し、噂やデマにまどわされないで冷静な行動をとってください。





# AEDを設置しました！！



## AED とは

人工呼吸や心臓マッサージは、救命手当の方法としてよく知られています。しかし、このような心肺蘇生法では、リズムを失った心臓を正常に戻すことはできません。酸素を全身へ運ぶ血液の流れを再開させるためには、一刻もはやく除細動器と呼ばれる装置で心臓に電気ショックを与える必要があります。

この除細動器の使用はこれまで医師・看護師・救急救命士などにしか許可されていませんでしたが、平成16年7月より、**AED（自動体外式除細動器）**の使用が一般市民にも認められるようになりました。

## 「心室細動」とは

心室細動とは、心臓の心室が小刻みにふるえた状態になり、脳やからだに血液を送り出すことができなくなるため、数分間続くと死に至る危険な不整脈のことで、早い段階で電気ショックを与えれば回復するが、それが1分遅れるごとに救命率は7～10%ずつ低下するといわれています。

発症から3分以内にAEDが使われた場合、4人の内3人が救えるとの報告もあり、AEDは心臓突然死を防ぐ最も有効な手段といわれています。

救急隊もAEDを備えています。現在、119番通報から救急車の到着まで平均6分かかるとのことで、救急効果が高いとされる3～5分以内に除細動を行えるようにするには、概ね半径100mごとにAEDを設置する必要があるといわれています。

## 設置場所

本学としても、職員・学生等の安全を確保するため、府中・小金井両キャンパスの下記の場所に各1台、計6台を平成18年3月に設置しました。

設置場所については、各キャンパス配置図の  マークを確認してください。

### 【府中キャンパス】

- ◎本部管理棟守衛室
- ◎体育館
- ◎南門守衛所

### 【小金井キャンパス】

- ◎中央棟1階
- ◎生物システム応用科学府本館1階
- ◎守衛所（正門）





I

学生生活

# はじめに

いよいよ、東京農工大学学生としてのあなたの学園生活が始まります。大きな希望に胸をふくらませて入学したあなたは、大学という今までとは違った雰囲気と新しい環境に早く慣れ、これからの学園での生活設計を十分にたててください。

私達は、あなたがこれからの学業を立派に修められ、また学生生活を豊かに営まれることを念願しております。精神的にも、経済的にも安定した学生生活の中で、豊かな教養を備えたすぐれた社会人に育つためには、正課の授業は学生生活にとって最も重要なものです。しかし、それだけに終わらないで、正課外にもサークル活動や地域における諸活動に積極的に参加して、友人との交流やいろいろな経験を積むことも重要なことです。

## 相談・手続の窓口

### 1. 学生サービス担当

本学には、次のチーム・係等が置かれ、府中及び小金井キャンパスに置かれている学生サポートセンターなどと協力して、あなたの学生生活全般に関して、個々、時々の実情に即した指導助言・援助活動のための業務にたずさわっています。各チームは、皆さんが大学在学中充実した学生生活を送られるようにお世話をするサービス機関でもあります。

府中キャンパスの国分寺街道を挟んだ東側が農学部になり、学務チーム、学生支援チーム及び入試チームは、農学部正門を入れて南側の位置になります。また、留学交流推進チームは小金井キャンパスにあります。

以下に、各チームの業務について概略を紹介します。

チーム名	係名等	業務内容
学務チーム	副チームリーダー	カリキュラム関係、教育改革、教育に係る評価等
	学務係	教務事務の総括、教職事務、学務情報システム等
学生支援チーム	副チームリーダー	就職指導の総括的業務、健康診断、健康相談、学生教育研究災害傷害保険等
	学生支援係	学生支援事務の総括、授業料免除の総括的業務、奨学金、学寮の管理運営、経済相談、合宿研修施設（館山荘）の管理運営、学生教育、課外活動、学生行事等
入試チーム	副チームリーダー	入学者選抜担当
	入学試験係	学生の募集、入学試験の実施等
留学交流 推進チーム	副チームリーダー	国際センター、日本語研修生の予備教育・研修生の修学指導等
	留学生係	留学生の受入、留学生の生活上の助言・相談、身分・修学指導、留学生の奨学金、国際交流会館の管理運営、短期留学（受入・派遣）、短期留学プログラム、日仏共同博士課程

## 2. 学生サポートセンター等での事務

農学部、工学部には学生サポートセンターがあって、それぞれ教務や学生生活に関する業務及び助言を行っていますので、気軽に連絡・相談にきてください。

学部の事務部	業務の内容
府中地区 学生サポートセンター 小金井地区 学生サポートセンター  <b>教 務 係</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退学、卒業、修了等学籍の異動及び休学、復学、転学科等在学中の身分異動</li> <li>・授業計画の作成、運用及び授業時間割の編成、学外実習、見学等、休業に関すること</li> <li>・期末試験その他試験及び履修状況</li> <li>・教育職員免許及び教育実習</li> <li>・修学上の指導及び助言に関すること</li> <li>・学生及び卒業生の身分及び成績についての証明</li> <li>・外国人学生の身分及び修学</li> </ul>
府中地区 学生サポートセンター 小金井地区 学生サポートセンター  <b>学 生 生 活 係</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の経済相談                日本学生支援機構その他諸団体の奨学金、授業料等の減免及び徴収猶予、通学証明書、その他学生生活についての証明及び旅客運賃割引証の発行、学生の宿舍及びアルバイト情報、学生の就職指導及び就職情報</li> <li>・学生証の発行</li> <li>・健康管理、学生教育研究災害傷害保険及び厚生施設、課外活動施設の運用</li> <li>・課外活動の助成及び学生、学生団体の指導、助言並びに表彰及び懲戒</li> <li>・外国人学生の生活上の助言及び相談                (小金井キャンパスは留学生係があります。)</li> <li>・その他学生の厚生、福祉及び補導に関すること</li> </ul>

### 【各窓口連絡先】

学生支援チーム学生支援係	TEL042-367-5582	(E-mail : gaksien1@cc.tuat.ac.jp)
府中地区学生サポートセンター	TEL042-367-5579	(E-mail : a-gksei@cc.tuat.ac.jp)
学生生活係	TEL042-367-5662	(E-mail : a-kyomu2@cc.tuat.ac.jp)
教務係		
小金井地区学生サポートセンター	TEL042-388-7011	(E-mail : tkkousei@cc.tuat.ac.jp)
学生生活係	TEL042-388-7010	(E-mail : tkyomu1@cc.tuat.ac.jp)
教務係		
大学院生物システム応用科学府 事務室	TEL042-388-7217	(E-mail : basejimu@cc.tuat.ac.jp)
大学院連合農学研究科学生係	TEL042-367-5670	(E-mail : rennougk@cc.tuat.ac.jp)
大学院技術経営研究科事務室	TEL042-388-7739	(E-mail : mot001@cc.tuat.ac.jp)
留学交流推進チーム 留学生係	TEL042-388-7773	(E-mail : gakryu1@cc.tuat.ac.jp)

### 3. クラス担任【アドバイザー】

あなたの学生生活の相談役となるのがクラス担任です。

クラス担任はクラスごとに教員が担当し、あなたのお世話をします。ですから一身上の問題でも、学習上のことでも、気にかかることは遠慮なく相談してください。クラス担任に面接したいときはクラス担任に直接、あるいは農学部学生は府中地区学生サポートセンター学生生活係、工学部学生は小金井地区学生サポートセンター学生生活係へ申し出てください。

### 4. 学生生活委員

あなたの、学習上の悩み、経済的問題、個人的問題はもとより学園生活全般の問題について相談に乗ってくれるのが、学生生活委員です。学生生活委員は、各学科毎に決められていますので、相談したいことが生じたときは所属学科の委員の研究室等に遠慮しないで訪れ、問題の解決・改善に努力してください。

また、学生相談室（P 19）も開設していますので利用してください。

### 5. オフィスアワー

学生が教員の研究室を訪ね、直接話ができる制度が「オフィスアワー」です。授業に関する質問や相談はもちろんのこと、その教員の講義を受講していない学生でも、聞きたいことがあるときには自由に訪ねることができます。

教員があらかじめ特定の時間帯（何曜日の何時から何時までなど）を示し、その時間帯であれば、学生は基本的に予約なしで研究室を訪問できます。

教員は、出張や臨時に会議等が入る場合があります。この場合は、次の機会に訪問するか、電話等で連絡してください。

<授業に関するオフィスアワー>

授業に関するオフィスアワーの時間帯をシラバスの「オフィスアワー・その他」欄に記載しています。シラバスに記載されていない科目のオフィスアワーについては、面倒でも事前に電話等で予約してください。

シラバスは、本学のホームページで閲覧できます。オフィスアワーの時間帯はシラバスホームページ上で随時更新されますので、訪問の前に確認してください。

(<http://www.tuat.ac.jp/Syllabus/>)

### 6. 個人情報について

本学では、「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」、「独立法人行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本学で定める関連規程等を遵守し、個人情報の適正な管理に努めております。

本学の教育研究及び運営その他必要な業務に関し、個人情報を収集するときは、適正かつ公正な手段により、その業務に関する必要な範囲内で収集目的を定め、その目的の達成に必要な限度において行っています。

また、外部業者に業務委託する場合は、契約において当該個人データの適正な取扱いをすることを求め安全な管理を図ります。さらに、収集した情報を第三者に提供する場合には当該第三者の利用目的について慎重に調査し、公益性があると判断される場合に限り、必要最小限の情報に限定して提供することとしています。

## 7. 学生の諸証明書交付等

### (1) 学生証(兼図書館利用者カード)

学生証はIDカードになっています。表面が本学学生の身分を証明するものであり、学生は常に学生証を携帯して本学教職員及び鉄道係員等に請求されたときはいつでも提示しなければなりません。裏面は図書館利用者カードになっています。また、在学証明書、卒業・修了見込証明書、在学生の成績証明書、健康診断証明書及び学生生徒旅客運賃割引証(学割証)を証明書自動発行機で入手できます。

学生証の有効期限は、最短在籍期間です。有効期限が過ぎたり、また卒業、退学などによって学籍を離れたときは、ただちに返還してください。

盗難、紛失などの場合には速やかに届け出るとともに、後日発見できなかったときは改めて再交付願いを提出して交付を受けてください。学生証を落としたり、盗まれて思いがけない迷惑を蒙ることがありますから何よりも紛失しないことが大切です。

学生証の再交付は、各人が所属する各地区学生サポートセンター学生生活係、連合農学研究科学生係、生物システム応用科学府事務室又は技術経営研究科事務室に問い合わせをしてください。

### (2) 通学定期乗車券購入証明書

鉄道関係の交通機関を利用して通学する学生が通学定期乗車券を購入するときは、大学の最寄りの駅から居住地(現住所)の最寄りの駅までの区間を記載した通学定期乗車券購入証明書が必要です。各人が所属する各地区学生サポートセンター学生生活係、連合農学研究科学生係、生物システム応用科学府事務室又は技術経営研究科事務室で手続きを行ってください。申請手続きの際には所定の事項を正確に記入してください。

### (3) 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)

学生が実習または帰省などのためにJR(航路、自動車線を含む)に乗車船して旅行しようとするときは、学割証の交付を受けて使用することができます。

この学割証は、JRから文部科学省を経て配布されるものです。1人当たりの枚数は、年間10枚です。JRの乗車船区間のキロ程が片道100キロを超えて乗車する場合、運賃は2割引になります。

また、JRの往復割引の条件に合致する場合は、行き・帰りそれぞれ1割引(往復割引)の運賃が、さらに行き・帰り2割引になります。

学割証は本人以外の者は使用できません。不正に使用したときは東京農工大学全体が発行停止の処分を受け、他の学生に迷惑をかけることになりますから、十分注意して下さい。



( 4 ) 証明書自動発行機

証明書自動発行機では、

成績証明書

在学証明書

卒業・修了見込証明書（卒業・修了年次の4月下旬）

学生生徒旅客運賃割引証（学割証）【学割は年間10枚まで】

健康診断証明書（定期健康診断を受診しないと発行されません。詳細は、P17をご参照ください。）

を発行しています。発行時間は、8：55から17：15まで。

( 5 ) 各種証明書の交付及び各種願出（届出）書の手続き等

その他の証明書は、必要の都度申し込んで交付を受けてください。

なお、発行には休日を除いて3～10日程度かかるので余裕をもって申し込むよう心がけてください。

## 諸手続等の一覧

名称	取扱課係名等	期日	備考
学生証(兼図書館利用カード)	各地区学生生活係	入学時	
学生証再発行	各地区学生生活係	随時	
在学証明書	証明書自動発行システム	随時	
学生生徒旅客運賃割引証	証明書自動発行システム	随時	年間10枚
成績証明書	証明書自動発行システム	随時	在学生
	各地区教務係	随時	卒業生・修了生※注
単位修得証明書	各地区教務係	随時	※注
住所通学路変更届(本人)	各地区学生生活係	随時	
保証人変更届・保証人住所変更届	各地区学生生活係	随時	
改姓届及び旧姓使用願	各地区学生生活係	随時	
履修届	各地区教務係	前・後期始め	掲示により通知
卒業論文履修届	各地区教務係	所定の期日	掲示により通知
休学願、復学願、退学願	各地区教務係	所定の期日	詳細は7頁参照
留学願	各地区教務係	随時	
通学定期乗車券購入証明書	各地区学生生活係	随時	
転学部・転学科願	各地区教務係	所定の期日まで	
他大学等受験届	各地区教務係	他大学受験以前	本学の再試験を含む
卒業(修了)見込証明書	証明書自動発行システム	随時	各課程最終学年のみ
卒業(修了)証明書	各地区教務係	卒業後、大学院修了後	※注
授業料免除願	各地区学生生活係	毎学期授業開始前	掲示により通知
授業料月割分納願	各地区学生生活係	毎学期授業開始前	掲示により通知
授業料徴収猶予願	各地区学生生活係	毎学期授業開始前	掲示により通知
健康診断証明書	証明書自動発行システム	随時	問い合わせ及び英文は保健管理センター
車両入構許可申請書	各地区学生生活係	所定の期日まで	詳細は9・10頁参照
学外活動届(旅行・遠征・合宿・試合)	各地区学生生活係	1週間前までに	団体の場合
学内施設等使用願	各地区学生生活係	使用日の3日前までに	
合宿研修施設使用申込書	小金井地区学生生活係	使用日の7日前までに	小金井キャンパスのみ
火気使用許可申請書	小金井地区学生生活係	使用日の7日前までに	小金井キャンパスのみ
掲示許可願	各地区学生生活係	随時	
入寮願、退寮願	学生支援チーム	随時	寮委員会を経由する
学外合宿研修施設使用申込書	学生支援チーム	1ヶ月前から1週間前まで	詳細は40頁参照
研究生入学願、延長願	各地区教務係	所定の期日まで	
科目等履修生入学願	各地区教務係	所定の期日まで	
科目等履修生科目追加・期間延長願	各地区教務係	所定の期日まで	

※注 : 交付希望日の3日前(休日を除く)までに申し込むこと。(英文については10日前。)

## 8. 休学、復学、退学の諸手続について

### (1) 休学

疾病その他特別の理由により3か月以上修学することができない者は、休学を願い出ることができます。休学をする必要が生じた者は、所属学科等の学生生活委員、クラス担任または指導教員に相談の上、所定の休学願に所属学科長等及び連帯保証人の承認印を得た後、添付書類と一緒に所定の期日までに各地区の学生サポートセンターチームに提出してください。

休学期間は、休学開始日から1年以内かつ年度末までとなります。

休学通算期間は、学部生については、3年（獣医学科は、5年）、大学院生については、2年を超えることはできません。ただし、再入学、転入学又は編入学した学生については、学則により定められた在籍年限の2分の1の期間となっていますのでご注意ください。

休学期間中に、学則第78条又は第110条による留学をしようとする場合は、復学願を提出の上、留学の諸手続を行ってください。

休学者の授業料の取扱いについては、事前に各地区の学生サポートセンターチームに相談してください。

また、入学手続時に、当該年度授業料を全期分納入した者で、9月末日までに後学期（10/1～）の休学が許可された場合は、申し出により後期分授業料を返還しますので、各地区の学生サポートセンターチームへ届け出てください。

区分	授業料	休学開始日	授業料の取扱
1	前期	4月1日	その期の授業料を全額免除します
	後期	10月1日	
2	前期	4月2日から 6月1日まで	休学開始日により納入金額が異なりますので、各地区の学生サポートセンターチームで確認してください
	後期	10月2日から 12月1日まで	
3	前期	6月2日以降	その期の授業料を全額徴収します
	後期	12月2日以降	

### (2) 復学

休学期間の途中で休学の事由が消滅したときは、速やかに所定の復学届を提出してください。

休学者が期の途中で復学した場合、その期の授業料は、復学した日の属する月から月割計算により算定した額を徴収します。

### (3) 退学

退学しようとする者は、所属学科等の学生生活委員、クラス担任または指導教員に相談の上、所定の退学願に所属学科長等及び連帯保証人の承認印を得た後、所定の期日までに各地区の学生サポートセンターチームに提出してください。

特に、退学する時期によって授業料納入の制約がありますので注意してください。

授業料未納の者については、未納の授業料を納入してから退学手続を行ってください。

また、入学手続時に、当該年度授業料を全期分納入した者で、9月末日までに退学を許可された場合は、申し出により後期分授業料を返還しますので、各地区の学生サポートセンターチームへ届け出てください。

## 9. 伝染病に罹患した場合の授業の取扱いについて

本学では、学生が伝染病に罹患し、学長が出席停止を命じ、授業を欠席した場合の取扱いを以下のとおり定めています。この中で学校保健法施行規則に定める伝染病に罹患した場合は、出席停止期間経過後に下記「登校可能証明書」又は「診断書」を持って各地区の学生サポートセンターに申し出ることにより、授業を欠席として扱わないなどの措置が取られます。

「登校可能証明書」の用紙は、本学ホームページ（保健管理センターのページ）及び学校医である高野医院（府中市）、宮本内科医院（小金井市）で入手できますので、同医院又は府中市、小金井市内の医療機関で受診の上、医師の証明を受けてください。なお、府中市、小金井市以外の医療機関については、事前に確認をしてください。

### 授業等における欠席の取扱いに関する申し合わせ

大学が責任を負うべき措置として、学長が登校停止を命じた場合は、大学は当該学生にとって不利益とならないよう配慮し、出席停止期間について次のとおり取り扱う。なお、処分による登校停止は、これには含めない。

#### 1. 授業の取扱い

授業については、欠席として扱わない。

#### 2. 定期試験の取扱い

状況に応じ代替の試験又はレポート、中間試験若しくは出席状況等による評価を行い、これをもって定期試験による評価に代える。

### 登校可能証明書

学 部・学科等：	_____
学 籍 番 号：	_____
氏 名：	_____
（ 枠内、本人記入の事 ）	

病気

インフルエンザ（ A型 ・ B型 ・ 新型 ）  
麻疹  
水痘  
流行性耳下腺炎  
風疹  
その他（ \_\_\_\_\_ ）

上記の病気のため、「学校保健法」第12条の規定に基づき、平成 年 月 日から、出席停止を要したものと認めます。

大学への復帰は、平成 年 月 日から可能とする。

学 長 殿

平成 年 月 日

医療機関名  
医 師

印

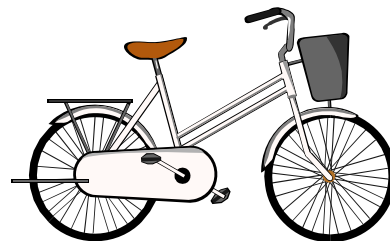
## 10. 学内交通について

本学では、教育研究の環境の保持及び構内の交通安全を図るため府中・小金井キャンパスにおける『構内交通に関する要項』を定めています。

したがって、四輪車・二輪車で通学を希望する者は、各キャンパスにおける手続等に従い申請してください。

### (1) 府中キャンパス構内交通について

手続等については下記のとおりです。



#### 1 四輪車を使用の場合

##### 1) 対象者

- ・学部4年生以上の者
- ・交通機関による通学時間が片道1時間以上の者

##### 2) 申請受付場所・期間

- ・学生サポートセンター学生生活係
- ・毎年1回(4月)学生生活係掲示板にてお知らせします。
- ・その他に10月入学の新生を対象に、10月以降随時受付を行っています。

##### 3) 登録費用

- ・1年間(年度毎): 12,000円

##### 4) 申請に際しての必要書類

- ・申請書・誓約書・自動車車検証写し・運転免許証の写し
- 駐車台数が限られているため、抽選となる場合があります。

#### 2 二輪車を使用する場合

##### 1) 対象者

- ・やむを得ない理由があり、片道3km以上の者

##### 2) 申請受付場所・期間

- ・学生サポートセンター学生生活係
- ・毎年4月以降随時 学生生活係掲示板にてお知らせします。

##### 3) 登録費用

- ・1年間(年度毎): 3,000円

##### 4) 申請に際しての必要書類

- ・申請書・誓約書・自動車車検証等写し・運転免許証の写し

#### 3 自転車を使用する場合

申請は不要ですが、必ず定められた場所に駐輪してください。

詳しくは府中地区学生サポートセンター学生生活係までお問合せください。

## (2) 小金井キャンパス構内交通について

手続等については下記のとおりです。

### 1 四輪車を使用の場合

#### 1) 対象者

- ・学部4年生以上の研究室に所属している者
- ・居住地区が正門より2 km以上の者

#### 2) 申請受付場所・期間

- ・学生サポートセンター学生生活係
- ・毎月1回(1週間)学生生活係掲示板にてお知らせします。

#### 3) 登録費用

- ・1年間(年度毎): 12,000円(1年間=4月~3月、年度途中申請でも3月までの登録費用は同額、継続なし)

#### 4) 申請に際しての必要書類

- ・申請書・誓約書・自動車車検証写し
- ・自動車保管場所標章番号通知書(車庫証明)写し



### 2 二輪車を使用する場合

#### 1) 対象者

- ・全学生

#### 2) 申請受付場所・期間

- ・学生サポートセンター学生生活係
- ・毎月1回(1週間)学生生活係掲示板にてお知らせします。

#### 3) 登録費用

- ・1年間(年度毎): 1,000円(1年間=4月~3月、年度途中申請でも3月までの登録費用は同額、継続なし)

#### 4) 申請に際しての必要書類

- ・400cc以上は、申請書・誓約書・自動車車検証(写し)
- ・400cc未満は、申請書・誓約書・軽自動車登録済証明書(それに類する書類)写し



### 3 自転車を使用する場合

- 1) 小金井キャンパスにおいて自転車を使用する者は、工学部生協HPから申請して下さい。その他手続等は生協で行っています。

- 2) 申請は随時受け付けています。

#### 3) 登録費用

- ・1年間: 300円(4年度間分一括申請可能)

- 4) 不用自転車は有料で生協が処分を代行します。(期限指定)

1, 2について詳しくは小金井地区学生サポートセンター学生生活係までお問合せください。なお、生物システム応用科学府所属の学生は生物システム応用科学府事務室へお問合せください。

また、3について詳しくは、生協までお問い合わせください。



## 11. 修学・生活上の注意等

### (1) 受験心得

受験にあたっては、厳正な態度で臨み、不正な行為は行わないこと。受験中不正行為などがあったと認められたときは、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、その学期における当該学生の履修した授業科目全ての単位が無効となり、学則により相応の懲戒処分を受けることとなります。

- 1 受験する学生は、特別の指示のない限り毎試験開始5～10分前までに所定の教室に入室すること。
- 2 特に指示のない限り、指定された座席で受験すること。
- 3 受験に必要な物品以外は、監督者の指示する場所に置くこと。
- 4 携帯電話は電源を切って、カバンの中にしまうこと。
- 5 学生証は、受験中必ず机の上に置くこと。  
学生証を携帯しない者は、その試験が無効になることがありますので、必ず携帯すること。
- 6 受験中は、筆記用具類の貸借をしないこと。
- 7 受験中は、監督者の許可なく試験場外に出ないこと。
- 8 受験中は、騒音等を発し、他人の受験の妨げとなるようなことはしないこと。
- 9 試験開始後30分以内は、退室をしないこと。
- 10 30分以上遅刻した者は、原則として受験することができない。  
ただし、事情によっては受験を許可することがありますので、教務係に届け出て、指示をうけること。
- 11 答案に学科，入学年度，学籍番号，氏名の記載がないと無効になることがあるから，記載の確認をすること。
- 12 試験時間が終了し、また、終了前に答案を作成し終ったときは、特に指定がない限り、教卓上に提出するか又は監督者に直接手渡して静かに退室すること。  
自己の机の上に置いて退室しないこと。
- 13 答案用紙の持ち帰りはしないこと。
- 14 履修承認を受けた正規受験者以外は入室しないこと。

## (2) 本学における禁煙対策について

平成15年5月施行の健康増進法第25条に伴い、本学においても禁煙・分煙の環境作りを進めてきましたが、平成17年4月1日から、両キャンパス(府中・小金井)において、環境に対する配慮を標榜とする大学として、敷地内全面禁煙を目指すべき方向としつつ、当面は以下のとおり分煙対策強化により建物内の禁煙(タバコの煙が建物内に流れ込む建物外での禁煙を含む。)を徹底することにしました。以下のことについて、厳守して下さい。

### 1. 学内分煙化に当たっての実際の措置

研究室・学生寮を含む建物内は、禁煙である。(したがって、受動喫煙防止措置が講じられていても室内における喫煙は禁止されることになる。)

建物外にあっても、タバコの煙が建物内に流れ込む場合は禁煙である。

学内敷地内においても指定場所以外は禁煙である。したがって、歩行しながらの喫煙も禁止である。

### 2. キャンパス内の美化及び喫煙のモラルについて

たばこの吸殻の放置など喫煙によりキャンパス内の美化が損なわれていること、また、歩行しながらの喫煙など社会において既に指摘されてきている喫煙のモラルが守られていないことを勘案し、分煙対策の強化と並行して喫煙モラルの健全化を図る。

### 3. 喫煙ルール

キャンパス内の指定喫煙場所においてだけ喫煙が許容されている。

それ以外の場所で喫煙しないこと。

吸殻や灰は吸殻入れに捨て、周囲に撒き散らさないこと。

歩行喫煙、自転車運転中の喫煙は禁止する。

空き缶やペットボトルは吸殻入れに捨てないこと。これらを吸殻入れとして使わないこと。

タバコの火は吸殻入れ内で消し、壁面などでは決して火を消さないこと。

吸殻入れの発煙・発火は火災の原因になる。発煙・発火が見られたときは直ちに水をかけて消火すること。

上記のルールを守らない者に対しては、ルールを守るよう相互に注意を与えること。

喫煙場所であっても、周囲の歩行者などに配慮し、いったん火を消す、しばらく喫煙を我慢する、などして、受動喫煙の防止につとめること。

### 【参考】健康増進法第25条(受動喫煙の防止)

第25条 学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。)を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。



# 健康・相談

充実した大学生活を送るためには、健康の維持・増進がすべての生活の基盤となることを自覚して、これからは自分の健康は自分で注意し、管理していく習慣を身につけることが大切です。

本学には、学生諸君が心身ともに健康な大学生活を送ることができるよう保健管理センターが設けられており、学生の健康管理の指導・助言を行っています。心身の異常や不調がある場合は早めに遠慮なく利用してください。

## 1. 保健管理センター

保健管理センターは府中キャンパスと小金井キャンパスに設置されていますので、どちらの施設も利用することができます。



### 《職員・場所》

#### 1. 関係職員

所長	松田浩珍	教授(併任)
医師	早川東作	"(精神科医)
"	阿部眞弓	准教授(内科医)
看護師	古田美恵	
"	福辺美佐子	
"	高橋弥生子	非常勤
"	江本みどり	"
学校医	高野義夫	非常勤(内科医)
"	宮本誠	"(内科医)
"	大見博道	"(婦人科医)
"	雀部忠雄	"(婦人科医)
"	大沼悌一	"(精神科医)
"	大西建	"(精神科医)

#### 2. 場所・受付・問合せ先

府中地区	042(367)5548	(看護師 古田美恵)
		5189(事務 古谷厚子)
本部敷地内		保健管理センター
小金井地区	042(388)7171	(看護師 福辺美佐子)
工学部中央棟3階		保健管理センター分室

## 《利用について》

開室時間
9 : 00-16 : 30 ( 11 : 00-12 : 00を除く ) 受付時間 : 9 : 00-16 : 30

保健管理センターでは、開室時間には看護師が常時待機していますので、心身の健康についてお困りのことがありましたら気軽にご相談ください。

保健管理センターの利用は、在籍している地区に関係なく、利用できます。

ただし、往診等緊急対応時、または感染症者が受診している時には、利用を制限したり、閉室とすることがあります（センター入り口に掲示します）。なお、感染症が疑われるかたは、受診前に電話でご相談ください。また、発熱の疑いのある方は、センター来室時に入り口のインターホンを押してお知らせください。

### 1．学生定期健康診断

定期健康診断は、全学生を対象に毎年4月及び10月（10月入学生対象）に実施し、再検査などを5月にかけて実施しています。（日時と場所は事前に掲示されます。）

学生の健康状態を把握し、病気や心身の不調を発見するうえで重要ですので、必ず受診するようにしてください。また、この健康診断に基づいて、就職、奨学金の申請などに必要な診断書等の発行を行っていますので、受診しないと健康診断書及び健康診断証明書の発行はできません。

### 2．応急処置・診療

保健管理センターでは、学内で発生した外傷や急病に対し応急処置（一次処置）を行っております。場合によっては、医師の診察と、外部医療機関への紹介などもしております。急病については学業にできるだけ支障を及ぼさないように、医師の判断により薬の処方を行う場合があります。また、帰宅や医療機関受診までに時間がある場合、休養室を利用することもできます。

実験中の事故の場合、現場で「安全マニュアル」に記載されている必要な措置を講じた上、なるべく担当教員が付き添い受診してください。

### 3．健康相談

医師による身体の健康相談は、主に予約によりご利用いただいておりますが、急を要する場合は可能な範囲で受け付けています（看護師による健康相談は予約不要。随時受け付けています）。なお、保健管理センターでは血液検査等の設備はありませんので、検査等ご希望の方は、必要に応じ医療機関を紹介します。

また、本学では、禁煙教育に力を入れており、随時、各地区にて禁煙教室を開催しております。アルコールパッチテストも行っております（予約）ので、看護師にご相談ください。

### 4．カウンセリング・精神保健相談

精神科医、心理カウンセラーによる相談は、1回に1時間近くかけますので、できるだけ予約をして利用してください。学生の家族、教職員、友人、知人からの相談にも応じます。予約外、時間外相談も適宜可能な範囲で受け付けています。急を要する際は、看護師に相談してください。

申込み方法：キャンパスに関わらず、どちらの保健管理センターでも申込みできます。  
 直接来所か電話で申込みください。  
 府中地区 保健管理センター1階 : 042-367-5548 (看護師)  
 小金井地区 中央棟3階 保健管理センター : 042-388-7171 (看護師)

《各地区案内》

1. 府中地区保健管理センター

場所：府中地区 保健管理センター1階  
 電話：042-367-5548 (看護師) 042-367-5189 (事務室)

担当スタッフ一覧：

担当医師	阿部眞弓 准教授(内科)
看護師	古田美恵
看護師	江本みどり(非常勤)
事務	古谷厚子

内科医師による健康相談

生活習慣病相談、禁煙相談は、1回の相談に30分～1時間以上かけますので、なるべく予約をおとりください。

3名以上のグループについては健康教室も開催しております。

	開設日時	担当医師
午前	月・火・金 予約(10:30～11:30) 水(10:30～12:15)	阿部眞弓
午後	水・木・金 予約(13:45～16:30) 金(第1・第3)(13:30～15:00)	
		高野義夫

※金曜日は、第2・第4の開設となります。

禁煙教室・受動喫煙防止に関する相談

禁煙教室は、予約により開催いたしますので、ご相談ください。

開設日時	担当医師
不定期(予約)	阿部眞弓

学校医(内科を除く)による相談

精神科医師による相談は、1回に1時間近くかけますので、できるだけ予約をして利用してください。

精神科医師によるカウンセリング・精神保健相談

開設日時	担当医師
火(13:30～17:00) 予約	大沼悌一(月1回)
水(9:00～12:00) 予約	大西 建(月1回)

## 婦人科相談

生理不順・生理痛などでお悩みの方はご相談ください。

開設日時	担当医師
木(第1のみ)(13:30~15:00)	雀部忠雄

## 心理カウンセリング相談

心理カウンセラーによる相談は、1回に1時間近くかけますので、できるだけ予約をして利用してください。

開設日時	担当カウンセラー
月(11:00~12:00、13:00~16:00)	上遠文恵
水(13:00~17:00)	田木美代子
木(13:00~17:00)	今村理洋
金(13:00~17:00)	上遠文恵

## 2. 小金井地区保健管理センター

場所： 小金井地区 中央棟 3階 保健管理センター

電話： : 042-388-7171 (看護師)

担当スタッフ一覧：

担当医師	早川東作 教授(精神科)
看護師	福辺美佐子
看護師	高橋弥生子(非常勤)

## 精神科医師によるカウンセリング・精神保健相談

精神科医師による相談は、1回に1時間近くかけますので、できるだけ予約をして利用してください。学生の家族、教職員、友人、知人からの相談にも応じます。予約外、時間外相談も適宜可能な範囲で受付けています。急を要する際は、看護師に相談してください。

開設日時	担当医師
月・火・水・木 (10:30~12:00, 13:45~16:30)	早川東作

## 学校医(精神科を除く)による相談

### 内科健康相談

禁煙相談・生活習慣病等の相談は、主に府中地区で受付けております。

また、小金井地区の学生は、阿部医師の面談予約が可能な場合がありますので、ご希望の方は地区担当看護師にご相談ください。



なお、3名以上のグループについては出張健康教室も開催しております。

開設日時	担当医師
金(第2・4)(13:30~15:00)	宮本 誠
不定期(予約)	(府中地区担当)阿部眞弓

### 禁煙教室・受動喫煙防止に関する相談

禁煙教室は、予約により開催いたしますので、ご相談ください。  
1コース5回の教室が開催され、全日程の参加が条件となります。

開設日時	担当医師
不定期(予約)	阿部眞弓

### 婦人科健康相談

生理不順・生理痛などでお悩みの方はご相談ください。

開設日時	担当医師
月(第1)(13:30~15:00)	大見 博道

### 心理カウンセリング相談

心理カウンセラーによる相談は、1回に1時間近くかけますので、できるだけ予約をして利用してください。

開設日時	担当カウンセラー
金(13:00~17:00)	佐久間 祐子

### 《診断書等の発行》

保健管理センターで発行できる診断書は下記のとおりです。  
申込みは保健管理センターで受付けており、原則として交付は3日後になります。

健康診断書及び・・・証明書自動発行システムで発行されないもの  
健康診断証明書

健康診断結果・・・定期健康診断結果は各保健管理センターの「経年的健康  
診断結果自動閲覧装置」から各自で閲覧・取得

### 《健康保険証》

保健管理センターで行う健康診断、応急処置、健康相談等には、健康保険証は不要ですが、他の医療機関を利用する場合には必要となります。

急病の時に保険証を所持していないために困る例が多々あります。自宅以外の通学者は、あらかじめ「遠隔地被扶養者保険証」を作っておいてください。

### 3. 保健管理センター 医師・カウンセラーの診察・相談日程一覧

#### 【府中地区】

平成22年4月1日現在

部門	午前・午後	月	火	水	木	金
メンタル相談	午前	11:00~12:00☆ 上遠カウンセラー		9:00~12:00☆ 第1水曜日 大西		
	午後	13:00~16:00☆ 上遠カウンセラー	13:30~17:00☆ 月1回火曜日 大沼	13:00~17:00☆ 田木カウンセラー	13:00~17:00☆ 今村カウンセラー	13:00~17:00☆ 上遠カウンセラー
内科相談	午前	10:30~11:30 阿部	10:30~11:30 阿部	10:30~12:15 阿部		10:30~11:30☆ 阿部※1
	午後		(不定期)☆ 阿部	13:45~16:30☆ 阿部	13:45~16:30☆ 阿部	13:45~16:30☆ 阿部※1 13:30~15:00 高野※2
婦人科相談					13:30~15:00 第1木曜日 雀部	

※1: 第2・第4金曜 ※2: 第1・第3金曜 予約電話番号: 042-367-5548  
☆印は予約制です。 042-367-5189

#### 【小金井地区】

平成22年4月1日現在

部門	午前・午後	月	火	水	木	金
メンタル相談	午前	10:30~12:00☆ 早川	10:30~12:00☆ 早川	10:30~12:00☆ 早川	10:30~12:00☆ 早川	
	午後	13:45~16:30☆ 早川	13:45~16:30☆ 早川	13:45~16:30☆ 早川	13:45~16:30☆ 早川	13:00~17:00☆ 佐久間カウンセラー
内科相談			(不定期)☆ 阿部			13:30~15:00 宮本※3 (不定期)☆ 阿部
婦人科相談		13:30~15:00 第1月曜日 大見				

※3 第2・第4金曜 ☆印は予約制です 予約電話番号: 042-388-7171

## 2. 学生相談

学生と教員が自由に話し合える場として、学生相談室が両キャンパスにあります。学業、進路、人間関係、生活上のことなど、なんでも気軽に学生相談室を訪ねて、話し合ってください。

相談員は農学部、工学部の教員が、ローテーションを組んで担当しています。相談員は学生の話にゆっくりと耳を傾けて一緒に問題を考えてくれます。

	府中キャンパス	小金井キャンパス
場 所	農学部本館1階	中央棟5階
電 話 番 号	042-367-5606	042-388-7018
開 室 日 と 時 間	毎 週 (木) 15時~18時	毎 週 (火) (金) 15時~18時
相 談 員	農学部学生生活委員及び クラス担任(アドバイザー)	工学部学生生活委員等

## 3. ハラスメント相談

東京農工大学はハラスメント(harassment)を、「差別意識に基づき、あるいは権力関係を用いて、不適切な言動を行い、これによって相手に精神的・身体的な面を含めて、修学・研究や職務遂行に関連して不利益や損害を与えること」と定義します。ハラスメントには、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、人種ハラスメントの他、アルコール・喫煙・メール・電話等によるハラスメントがあります。

本学は、個人の尊厳と学問の自由を損なう各種のハラスメントの防止と被害救済を目的にハラスメント防止・対策委員会を発足させ、相談と問題解決の取次機関としてハラスメント相談室を開設しました。相談員は、本学の専門のカウンセラーが特別の研修を積み学長より任命されています。

問題解決の方法には、相手への注意や警告のほか、事実関係の調査、当事者間の話し合い(相談者の希望による調停)、さらに審議によっては委員会勧告、制裁などの強制的措置があります。いずれの場合も相談者の意思を尊重し、相談者の名誉とプライバシーを守ります。どの段階でも苦情申立ての手続きを取り下げることができます。また、相談のみで終了する場合もあります。詳細な規程、ガイドライン及び相談のプロセスは本冊子及びホームページに記されています。

また、パンフレットは、府中、小金井両地区学生サポートセンター、学生相談室、各一部局事務室、保健管理センターなどにあります。

### 【ハラスメント相談窓口】

相談員の氏名・相談日・開設場所は下記のとおりです。

具体的な相談日等は、本学HP(<http://www.tuat.ac.jp/^jinjika/sekuhara/soudansitsu.htm>)を参照ください。

ハラスメント相談室：府中キャンパス 毎週 1回 木曜日 9:00~12:00  
小金井キャンパス 毎週 1回 水曜日又は木曜日 9:00~12:00

氏 名	相談室の場所、相談曜日
早 川 東 作	主任相談員(保健管理センター)
澁 澤 梨 絵	府中キャンパス(農学部本館1階)、木曜日
川 合 あさ子	府中キャンパス(農学部本館1階)、木曜日
田 木 美代子	小金井キャンパス(中央棟5階)、水曜日
中 野 良 吾	小金井キャンパス(中央棟5階)、木曜日

## 4. 学生保険

本学では、学生生活・学生生活における万一の事故・傷害に備えるとともに、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊した場合などにおける補償のため、学生全員に保険への加入をお願いしています。

保険には、以下の種類がありますが、の「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」は、原則として全員加入としています。なお、の他、の中からいずれか一つに全員加入することとしています。

### 学生教育研究災害傷害保険（通称：学研災）

この保険は、大学の正課中、学校行事中、課外活動中及び通学中において不慮の災害・事故等により学生が身体に傷害を被った場合の救済措置する制度です。本学では、万一の災害・事故等に備えて原則として全員加入としています。この保険の担当窓口は、下記のとおりです。

農学部・農学府

府中地区学生サポートセンター学生生活係（電話042 - 367 - 5540）

工学部・工学府・技術経営研究科

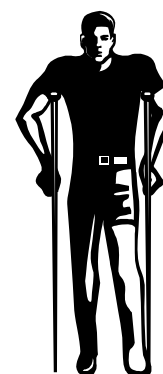
小金井地区学生サポートセンター学生生活係（電話042 - 388 - 7011）

生物システム応用科学府

小金井地区 B A S E 学務係（電話042 - 388 - 7217）

連合農学研究科

府中地区 連合農学研究科学生係（電話042 - 367 - 5670）



#### （1）加入時期

新入学生は、入学時（4月・10月）に受付していますが、その他の期間でも随時受付しています。

#### （2）保険金の種類及び金額

担保範囲	死亡保険金	後遺障害保険金	医療保険金	入院加算金
正課中・学校行事中	2,000万円	90～3,000万円	6千円～30万円（治療日数4日以上が対象）	1日につき 4,000円 （180日が 限度）
上記以外で大学施設内にいる間	1,000万円	45～1,500万円	3万円～30万円（治療日数14日以上が対象）	
大学施設外で大学に届け出た課外活動中			1万5千円～30万円（治療日数7日以上が対象）	
通 学 中				
大学施設等の相互間の移動中				

死亡保険金は、事故の日から180日以内に死亡したときが対象となります。

後遺障害保険金は、事故の日から180日以内に後遺障害が生じたときが対象となります。

#### （3）保険金が支払われない場合

故意、闘争行為、犯罪行為、疾病、天災（地震、津波等）、無資格運転、酒酔い運転、施設外の課外活動で危険を伴うスポーツを行っている場合等

#### (4) 保険料と保険期間

区分	保険期間	保険料	備考
学部学生	2年	2,100円	3年次編入学生
	3年	3,050円	2年次編入学生
	4年	3,900円	
	6年	5,400円	農学部獣医学科生
大学院学生	2年	2,100円	修士課程・博士前期課程・専門職学位課程
	3年	3,050円	博士課程・博士後期課程
	4年	3,900円	連合獣医学研究科
研究生・科目等履修生・短期留学プログラム学生	修業期間 1年未満 の場合	1,200円	

4月入学生の保険始期及び保険終期は4月1日午前0時から保険期間の3月31日午後12時まで、10月入学生の保険始期及び保険終期は10月1日午前0時から保険期間の9月30日午後12時まで。年度途中で加入した場合でも保険料分担金は、1年単位となります。保険料は、一括支払となります。

#### (5) 事故の通知及び保険の請求

##### 事故通知（所定用紙あり）

保険に該当する事故等が発生した場合、ただちに事故日時・場所・状況等を各担当窓口へ通知してください。事故から30日以上経過後に通知した場合、保険金が支払われない場合があります。

##### 保険請求（所定用紙あり）

事故通知に対する請求を行う場合、請求金額が10万円以下で後遺障害がない場合は、所定の用紙及び診察券等の写しを各担当窓口へ提出してください。請求金額が10万円以上（他の医療機関との合算した場合も含まれます。）の場合は、医師の診断書が必要となります。

##### 保険支払

保険請求が保険会社に届いてから原則として30日以内に本人へ支払います。

#### (6) 異動（退学・休学等）に関する手続き

保険期間中に退学及び1年以上休学する場合は、願い出（所定の用紙あり）により保険料の差額を返還します。但し、保険の残期間が1年未満の場合は、保険料の返還は行いません。

#### 学研災付帯賠償責任保険制度（通称：学研賠）

この保険は、大学の正課中、学校行事中、ボランティア、クラブ等での課外活動中及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことにより被る法律上の損害賠償を保証する制度で、学研災に加入している学生に限ります。

この保険の担当窓口は、学研災と同じです。

(1) 加入時期

新入学生は、入学時(4月・10月)に受付していますが、その他の期間でも随時受付しています。

(2) 保険金の補償金額

補償内容	正課中・学校行事中及びその往復中(国内外の事故を担保)
対人賠償	1事故1億円限度(免責金額 0円)
対物賠償	

(3) 補償の対象とならない場合

故意、闘争行為、犯罪行為、疾病、天災(地震、津波等)、自転車・バイク・自動車・楽器・美術品などその他これらに類する受託物の損壊、紛失、盗難等

(4) 保険料と保険期間

1年間340円(2年間以上まとめて支払う場合は、金額×年数)となります。

4月入学生の保険始期及び保険終期は4月1日午前0時から保険期間の3月31日午後12時まで、10月入学生の保険始期及び保険終期は10月1日午前0時から保険期間の9月30日午後12時までとなります。

保険始期(4月入学者は4月1日、10月入学者は10月1日)以降に加入しても保険料は変わりません。

**学生賠償責任保険(通称:学賠)**

この保険は、学生生活24時間(正課の講義・行事・実習・日常生活中)の賠償事故に卒業まで適用されます。この保険へ加入するためには、生協に加入する必要があります。  
保険料 4年間:4,800円 6年間:6,750円

**学研災付帯学生生活総合保険制度(通称:付帯学総)**

この保険は、大学生生活24時間におけるケガ・病気、事故、賠償責任等に対応した任意加入制度です。この保険へ加入するためには、予め前記の「学生教育研究災害傷害保険」へ加入しておく必要があります。  
この保険の担当窓口は、取扱代理店(0120-811-806)となりますので、直接お問い合わせしてください。(土日祝日を除く 9:30~17:00まで)

**学生総合共済**

この保険は、大学生協が扱っている学生生活24時間におけるケガ・病気、事故、賠償責任等に対応した任意加入制度です。この保険の担当窓口は、大学生協となりますので直接お問い合わせください。なお、この保険に加入するためには生活協同組合への加入が必要です。加入時に出資金15,000円が必要となりますが、脱退時に返還されます。



# 経済・生活

## 1. 日本学生支援機構

日本学生支援機構では、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、教育を受ける機会を保障し、自立した学生生活を送れるよう奨学金貸与の事業を行っています。

本学で出願者の家計の経済状況、学業成績等を選考基準により審査のうえ、適格者を日本学生支援機構へ推薦します。

選考は人物・健康・学力・家計について基準に照らして行い、日本学生支援機構の予算の範囲内で採用されることとなりますが、採用定員には限りがあるため、必ずしも申請者全員が採用されるわけではないことをご留意ください。

(日本学生支援機構のホームページ [www.jasso.go.jp](http://www.jasso.go.jp))

なお、奨学金の各担当窓口は以下のとおりで、募集等については掲示等により行います。

農学部・農学府

府中地区学生サポートセンター学生生活係 (電話042 - 367 - 5540)

工学部・工学府・技術経営研究科

小金井地区学生サポートセンター学生生活係 (電話042 - 388 - 7916・7011)

生物システム応用科学府

小金井地区 B A S E 学務係 (電話042 - 388 - 7217)

連合農学研究科

府中地区 連合農学研究科学生係 (電話042 - 367 - 5670)

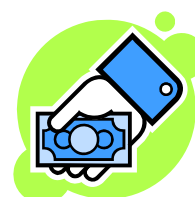
### 奨学金の種類

奨学金の種類	対象者の貸与月額(H21年度)
第一種奨学金 (無利息)	学部学生 自宅通学者 30,000円、45,000円から選択 自宅外通学者 30,000円、51,000円から選択
	大学院学生 修士課程 50,000円、88,000円から選択 博士課程 80,000円、122,000円から選択
第二種奨学金 (年3%上限とした 利息付。但し、在学 中は無利息)	学部学生 3万・5万・8万・10万・12万円の いずれかを選択
	大学院学生 5万・8万・10万・13万・15万円の いずれかを選択

第一種奨学金の貸与月額は、平成17年度以降の入学者が対象となります。

第一種奨学金の貸与対象者は、特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な学生となります。

第二種奨学金の貸与対象者は、優れた学生で経済的理由により修学困難な学生となります。



## 募集の種類

種類	内容	申請期間
予約採用 (国内用)	入学前に奨学金を予約する制度	大学院へ進学する場合は 進学する前年の10月中旬 まで
予約採用(海 外用)	国内の大学等在学中に、海外の短期大学・大学・ 大学院へ短期留学(原則として3ヶ月以上1年以 内)をするために奨学金を希望する場合で、第二 種奨学金(利息付)を申請する制度	22年度は2回(4月上旬か ら5月中旬及び8月上旬か ら9月中旬まで)
在学採用	入学後に奨学金を申請する制度 予約採用で不採用もしくは辞退した場合も申請可	原則として毎年4月上旬か ら4月中旬まで
緊急採用	家計の急変(主たる家計支持者が失職・病気・事 故・会社倒産・死別又は離別・災害等)で奨学金 を緊急に必要とする場合で、第一種奨学金(無利 息)を申請する制度	随時申請可
応急採用	家計の急変(主たる家計支持者が失職・病気・事 故・会社倒産・死別又は離別・災害等)で奨学金 を緊急に必要とする場合で、第二種奨学金(利息 付)を申請する制度	随時申請可

在学採用に申請した結果、不採用となった場合でも、日本学生支援機構の予算に余裕がある場合は、追加採用の募集を行うことがあります。

## 奨学金の申請

奨学金の申請は、申請者が「確認書」、収入証明書及び大学が指定するものを提出後、自らパソコンで日本学生支援機構のHPにアクセスし、手続きをすることになります。申請希望者は、必ず申請期間内に各担当窓口にてアクセス用のIDとパスワードをもらうようにお願いします。

入力時に、保証制度として連帯保証人(原則として両親のどちらか)を立てる「人的保証制度」または一定の保証料を支払うことにより連帯保証人を立てずに済む「機関保証制度」を選択することになります。ただし、選択した保証制度は採用後、原則、変更できませんので、熟慮のうえ選択してください。

採用が決定したら、「返還誓約書」の提出があります。その時に「人的保証制度」を選択した者は本人の「住民票」、連帯保証人の「印鑑証明書」「収入に関する証明書」、保証人の「印鑑証明書」が必要となり、「機関保証制度」を選択した者は本人の「住民票」、「保証依頼書」の提出が義務づけられます。

また、海外留学の第二種奨学金を申し込む場合も同様の手続きとなります。





## 奨学金の採用決定

種類	採用決定時期	初回振込
予約採用	学部学生・・・5月もしくは6月上旬 大学院生・・・4月もしくは5月中旬	学部学生・・・5月16日もしくは 6月11日 大学院生・・・4月21日もしくは 5月16日
在学採用	7月上旬	7月11日
緊急採用	申請した翌月上旬	申請翌月の11日
応急採用	申請した翌月上旬	申請翌月の11日

振込日が土、日、祝日等の場合はその前日に本人口座へ振り込まれます。

初回振込みには貸与始期分からまとめて振り込まれます。

奨学生として採用されると、日本学生支援機構から奨学生に対し「奨学生証」が交付されます。「奨学生証」は各担当窓口で受け取るようお願いいたします。

## 適格認定奨学金継続願

奨学生自らの奨学金の貸与継続意思及び平素の学業成績との総合的評価により奨学金の継続を行います。学校が定めた入力期限までに手続きしない場合は、奨学金を「廃止」とし、奨学生の資格を失うこととなります。

毎年12月に、「奨学金継続願」及び「貸与額通知書」を各担当窓口にて奨学生へ配布しますので、必ず受け取るようお願いいたします。手続きについては奨学生自身がインターネットにより入力した「適格認定奨学金継続願」の入力内容と人物、健康、経済状況、学業成績を総合的に審査し、奨学金継続の可否等を判断します。したがって、「適格認定奨学金継続願」を提出しても必ず継続貸与されるとは限りません。

## 各種異動願等の手続きについて

奨学生が異動手続きが生じたときは、速やかに各担当窓口で手続きしてください。願・届の様式は各担当窓口にあります。主な願・届は下表のとおりです。

休学を申し出る場合	異動願(届)「休止」を提出してください。
退学を申し出る場合	異動願(届)「退学」を提出してください。
経済状況が好転し、奨学金が不要となった場合	異動願(届)「辞退」を提出してください。
大学へ復学し、奨学金を再度希望する場合	異動願(届)「復活」を提出してください。
奨学金貸与額を増額または減額希望する場合	「奨学金貸与月額変更願(届)」を提出してください。 ※提出日現在、未成年の場合には、親権者の「同意書」を添付してください。

## 奨学金の返還

奨学金は貸与であり、貸与終了後は必ず返還しなくてはなりません。また、奨学生からの返還金は直ちに後輩に貸与される資金となります。そのために、採用が決定したら、指定された書類と共に、「返還誓約書」を提出してください。この手続きが奨学生と日本学生支援機構との返還に関する約束になります。最終学年の奨学生は「返還説明会」へ必ず出席し、返還の口座（リレー口座という）開設に係る書類を受け取り、直ちに提出してください。手続きを怠った場合は、奨学生に不利益が生じることもありますのでご注意ください。

## 特に優れた業績による返還免除（大学院第一種奨学金貸与者のみ）

在学中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した者は、貸与期間終了後に、奨学金の全部または一部（半額）の返還が免除されます。対象者は、平成16年度以降の日本学生支援機構大学院第一種奨学金採用者で、平成21年度中に貸与期間が終了（退学・辞退も含む）する者のうち、在学中に特に優れた業績を挙げた場合となります。

具体的な評価項目は、課程の趣旨・目的や奨学生の専攻分野に係る教育研究の特性に配慮し、大学院における教育研究活動等に関する業績及び専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に業績のそれぞれについて、日本学生支援機構の奨学規程に基づき具体的な評価項目を設定し、学内選考委員会がこれらに沿って総合的に評価することで、免除候補者の推薦の選考が行われます。

結果発表については、貸与終了した翌年度5月下旬に日本学生支援機構から直接通知されます。

## 2. 東京農工大学奨励奨学金

平成18年度より、本学独自の奨学金（給付）を創設しました。対象者は本学の大学院（博士前期課程・修士課程及び専門職学位課程）を修了若しくは修了見込者で本学大学院博士後期課程へ入学予定者又は本学農学部獣医学科を卒業若しくは卒業見込者で本学大学院博士後期課程若しくは岐阜大学連合獣医学研究科に入学し、本学配置予定者となっています。

奨学金給付額は20万円で、年間50名以内となっており、募集等については、奨学金の各担当窓口で掲示等により行います。



## 3. 東京農工大学教育研究振興財団奨励奨学金

平成21年度より、東京農工大学教育研究振興財団からの寄付金を財源とした「東京農工大学教育研究振興財団奨励奨学金」制度を創設しました。

対象者は、学業成績、人物共に優秀な本学の学部学生の2年生から4年生（獣医学科においては6年生）で、進級時に前年度の成績が優秀（前年度成績が審査対象となるので入学年は対象外）で、学業成績対象年度に懲戒処分を受けていない者となっております。奨学金給付額は10万円で、年間108名以内となっており、各学科の推薦により決定されます。

## 4. 地方公共団体・民間団体等の各種奨学金

日本学生支援機構同様に、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、各種団体が行う奨学金制度があります。募集期間は、主に4月から5月にかけてですが、その時期以外にも募集を行う団体があります。

募集等については、随時上記の奨学金の各担当窓口で掲示等を行います。出願資格、出願手続き及び奨学金支給額等が各種団体により異なりますので、ご注意ください。

## 5. 授業料の免除及び徴収猶予

### (1) 授業料免除制度について

授業料免除は、経済的な理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度です。

1年以上の社会人経験（家事・家業従事者を含む）を有する者のみを対象とした授業料免除もあります。詳しくは、各担当窓口でお聞きください。

### (2) 授業料徴収猶予の制度について

授業料徴収猶予は、経済的な理由により授業料の納付期限までに納付が困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料を前期猶予者については、8月末日まで、後期猶予者については、2月末日まで猶予する制度です。

### (3) 各担当窓口

授業料免除及び授業料徴収猶予の各担当窓口は以下のとおりで、募集等については、掲示等により行います。

農学部・農学府

府中地区学生サポートセンター学生生活係（電話042 - 367 - 5579）

工学部

小金井地区学生サポートセンター学生生活係（電話042 - 388 - 7011）

工学府・技術経営研究科

小金井地区学生サポートセンター入学試験係（電話042 - 388 - 7014）

生物システム応用科学府

小金井地区 B A S E 学務係（電話042 - 388 - 7217）

連合農学研究科

府中地区 連合農学研究科学生係（電話042 - 367 - 5670）

### (4) 授業料免除の対象者

対象者	免除の対象となる事由	
学部学生 大学院学生	ア	経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
	イ	入学前1年以内（在學生は納期限の半年以内）に、主たる家計支持者が死亡し、または学生もしくは主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難な者
	ウ	上記イに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(5) 授業料徴収猶予の対象者

対象者	徴収猶予の対象となる事由	
学部学生 大学院学生	ア	経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
	イ	当該学生が行方不明となった場合
	ウ	学生又は主たる家計支持者が災害を受け、納付が困難であると認められる者
	エ	その他やむを得ない事情があると認められる場合

(6) 申請要領の配布について

前期分の申請は2月中旬から、後期分の申請は7月中旬から各担当窓口にて配布します。

(7) 申請に必要な提出書類

申請書類	備考
授業料免除願 授業料徴収猶予願 家庭状況調書	全員提出。家計困窮度と学力優秀度について申告します。申請要領に添付されています。
各種証明書類等	授業料免除・授業料徴収猶予願・家庭状況調書の申告内容について証明します。所得証明書、源泉徴収票等、成績原簿等があります。それぞれの本人の状況や家庭状況により必要な証明書類が異なりますので、詳細は申請書類をご覧ください。

(8) 申請受付時期及び申請場所

前期授業料免除申請時期は3月下旬～4月初旬、後期授業料免除申請時期は9月下旬で、各担当窓口にて受け付けます。

(9) 選考方法と判定内容

授業料免除は、家計及び学力の状況に基づき総合的に評価したうえで選考します。授業料免除の判定の結果、免除が認められた場合、「全額免除」または「半額免除」となり、認められなかった場合、「免除不許可」となります。

(10) 結果発表

各担当窓口の掲示板等で学籍番号にて掲示等を行います。

掲示時期 前期分・・・6月中旬 後期分・・・12月中旬

( 連合農学研究科は、各人宛に通知します。 )

## 6. アルバイト

本学のように実験実習の多い理工系の大学では、アルバイトと学問の両立は難しく、アルバイトで無理な仕事をもった結果、学業に支障が生じたり、健康を害して休学・退学を余儀なくされたという事例も少なくありません。アルバイトをするときは、この点を十分考慮して勉学に支障がないように心がける必要があります。

また、大学の紹介でないアルバイトは、トラブルが多いため注意してください。

アルバイトの紹介については、携帯電話やパソコンでアルバイトの情報を収集できるシステムを導入しています。

(<http://www.aines.net/tuat/>)

利用方法については、各地区学生サポートセンター学生生活係にお問い合わせください。

東京農工大学 学生アルバイト情報ネットワーク

東京農工大学では、学生生活より充実した生活にするため、学生生活サポートセンターに力を入れています。アルバイト情報に詳しくても、学業は、いつでも何処でも携帯電話・PCにて情報収集ができるシステムを無料で提供することに努めました。 Please visit us!!

東京農工大学

**学生アルバイト情報ネットワーク**

試験運営、登録簿、イベントスタッフ、PCオペレーター、出庫、事務等、大学独自のアルバイト情報を提供。パソコンや携帯電話から、24時間365日閲覧できるシステムです。

ご利用方法と登録方法は裏面▶▶

### 【制約職種】

本学では、教育的な配慮のもとに、事故やトラブル等を防止する目的で、次のとおり制約職種を決めていますので、個人的にアルバイトをする時にも避けるようにしてください。

ア 自動車運転免許を必要とする職種

イ 翌日の授業に差し支えのある深夜（22時以降）の作業を伴う職種

ウ 従事する業務に危険を伴う職種

プレス・裁断機等の自動機械の操作、高所での屋外作業、土木・水道工事の穴掘り、高温・低温下等人体に有害な作業など

エ 学生アルバイトとしてふさわしくないと考えられる職種

外交販売・勧誘、風俗営業やギャンブルに関する仕事、女子の住込・深夜作業、秘密調査など

オ 法令に違反する、マルチ・ネズミ講商法や出来高払い、性別により異なる条件を付すもの

カ 人命にかかわることが予想される監視員やベビーシッターなど

## 7. 住まい

### (1) 学寮(男子寮・女子寮)

本学では、学生の良好な生活と勉学の環境を提供するため、学生寮を設置しています。小金井キャンパス隣接地には、櫻寮(男子寮)および桜寮(女子寮)が、府中キャンパス隣接地には、楓寮(女子寮)が設置されています。

在学生の入寮募集は、空室が生じた場合に各学部にて掲示を行いますので、入寮希望者は所定の手続きをとって下さい。

出願資格は、在学生で経済的困窮度が高く、かつ遠隔地のため自宅からの通学が困難な者が対象(楓寮は日本人の学部学生が対象)となります。

入寮を希望する学生は、学生支援チーム(042-367-5582)へお越しください。

学寮名	入寮対象者	定員	寄宿料月額	部屋の規格	設備	所在地
櫻寮 (けやきりょう)	男子学生	200名	30,000円	個室	バス・トイレ ・ミニキッチン付	小金井市中町 2-24-16 工学部隣接地
桜寮 (さくらりょう)	女子学生	18名	30,000円	個室	バス・トイレ ・ミニキッチン付	小金井市中町 2-24-16 工学部隣接地
楓寮 (かえでりょう)	女子学生	48名	4,300円	個室	共同風呂・共同 トイレ・共同 キッチン	府中市幸町 2-41 農学部隣接地

### (2) 賃貸アパート等

学寮以外の居住を希望する学生に、府中、小金井周辺等の賃貸アパート等の情報を紹介しています。各地区学生サポートセンター学生生活係には、近隣の大家さんなどからの賃貸情報が提出されています。

当該物件については、大学は契約に関与していないため、万一のトラブルを避けるためにも、部屋の状態、環境等を十分に把握し、賃貸業者との間で契約内容(入居・退去時の諸条件、賃貸月額、管理費等)を確認したうえで契約するようにしてください。

なお、入居後は契約の内容・条件等に違反しないよう十分注意してください。

また、本学学生向けサービス向上の一環として「住居情報の提供」、「地域情報の提供」、「学生による学生生活情報の提供」等「一人暮らしの学生のトータルケア」を、本学が加盟しています「(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩」でも行っています。

(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩 HP : <http://www.nw-tama.jp/>

# 進路・就職

## 1. 就職

本学では、学生各人が自己の能力・適正に応じて適切に職業選択ができるよう教員と事務との連携によって、進路・就職指導及び情報提供を行っています。

### (1) 進路・就職指導體制

就職活動の支援と充実を図るために、各学科に就職担当教員がおり、就職事務の窓口は学生支援チーム及び各地区学生サポートセンター学生生活係等で行っています。

また、全学の就職指導事務を学生支援チームで総括しており、進路・就職ガイダンス等を企画しています。

### (2) 進路・就職相談室

進路や就職について個別に指導・助言を受けられるように、豊富な経験と知識を有する相談員（キャリア・アドバイザー）を学外から招へいし、相談に応じています。

開設場所	開催日時	相談室	相談員
府中キャンパス	月曜日(毎週)13:30~16:30	農学部本館1階学生相談室	茂田井 宏
	水曜日(毎週)13:30~16:30	農学部本館1階学生相談室	櫻井 邦雄
	金曜日(毎週)13:30~16:30	農学部本館1階学生相談室	加藤 誠
小金井キャンパス	月曜日(毎週)13:30~16:30	工学部中央棟5階学生相談室	深水 智明
	木曜日(毎週)13:30~16:30	工学部中央棟5階学生相談室	國眼 孝雄

### (3) 就職情報コーナー

各学部就職情報コーナーが整備されています。随時企業情報の収集等ができるようになっていますから、活用してください。

## 2. キャリアデザイン講座

この講座では、大学生活の後、社会人としてどのように生きていくかを検討し、自分の「生き方、働き方から大学生活を考える」貴重な機会となるようにしたいと思います。そして、将来の生活設計までを皆さんと一緒に考えていきます。

### 【申込み及び開催時期等】

申込み及び開催時期等については、学生掲示板等で案内いたします。

### 【問い合わせ先】

学生支援チーム ( 042-367-5828 メール [gaksien@cc.tuat.ac.jp](mailto:gaksien@cc.tuat.ac.jp) )





### 3. 就職ガイドブック

就職活動の進め方を、手軽に利用できるガイドブックのかたちにまとめたものです。下の表紙の写真でもわかるとおり、就職活動に関する必要な情報と具体的な進め方が図表、図解やグラフも交えてわかりやすく説明されています。A4版100頁ほどの冊子で、年度毎に内容の見直しを行い、毎年4～6月頃に学部3年生、修士1年生を対象に、各学科の就職担当教員を通じて希望者全員に配布されます。

なお、本学ホームページ（学生生活）に全頁掲載されますので学内外を問わず誰でも閲覧することができます。ガイドブックを活用して、早くから自己の進路についての考えをめぐらし、主体的、計画的に自信をもって就職活動に取り組むことを期待します。

また、進路・就職相談室との関係で言えば、ガイドブックを先ず読んで、テーマを絞って相談室に行くのも良いし、相談室でのアドバイスを実行に移すためガイドブックを利用するのも良いでしょう。



### 4. 進路(就職・進学)ガイダンス

進路選択や就職活動の進め方などについて、具体的な情報提供の場として、各種ガイダンスを実施しています。平成21年度は、一般就職説明会、公務員志望者ガイダンス、女子学生のための就職ガイダンス、企業別説明会、進路相談会及び模擬面接講座等を全学的に延17回開催したほか、各学科でも就職説明会を行っています。

平成21年度 就職ガイダンス

種 類	プ ロ グ ラ ム
一 般 説 明 会	①企業が欲しい人材 ②就職活動に向けて
	①諸君の将来のために語りたいこと ②職務適性テスト
	①企業の採用動向と就職活動のポイント ②就職活動体験発表
	エントリーシートの書き方・面接について
女子学生のための就職ガイダンス	
公務員説明会	①国家公務員・地方公務員の概要について ②先輩公務員に聞く
各種業種別企業説明会	
進路説明会	①進学と進路の選択 ②先輩の体験談 ③本学奨学金制度の紹介
模擬面接講座	面接の実践とポイント

なお、平成22年度進路（就職・進学）ガイダンス日程等の詳細については、後日、ホームページ・学生掲示板等で案内いたします。

【問い合わせ先】学生支援チーム（ 042-367-5828 e-mail:gaksien@cc.tuat.ac.jp）



# 課外活動

## 1. 課外活動について

課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身につけたり、教養を高める等の大切な役割を担っています。

また、課外活動を通して得られるさまざまな体験や学部学科を超えた友人を得るなど一生忘れることのできない素晴らしい思い出になります。

サークル活動だけでなく、各学部には学生の自治会があり年間を通じてさまざまな活動を行っています。

学生諸君は、大学という教育の場で、各自の関心と適性に合った課外活動に取り組み、社会的な特性を涵養するとともに、より高い専門的知識や技能を身につけるなど積極的な大学生活を送ってください。

本学には文科系サークル40団体、体育系サークル43団体（平成22年1月現在）が大学公認団体として活動しています。これらの活動の詳細や自治会活動については「課外活動・サークル紹介」（別冊）を参照してください。

## 2. 課外活動上の心得

学生の課外活動は、サークル独自の自主的な運営とクラブ員各自の自覚と責任によって行われるものですが、サークルの関係行事の立案と実施に際しては、日頃の練習活動を踏まえた安全対策について十分に検討を行い、事故が起こらないよう万全を期してください。各サークルのリーダーは、下記の留意事項を参照して「危険性の回避」及び「危険性の予見」等の努力をし、サークル活動上の危険防止に努めてください。

また、サークルリーダートレーニング研修会や救急救命講習会に積極的に参加し、日頃から応急措置等の知識を身につけておいてください。

### 記

#### 〔留意事項〕

各サークルが主催する行事あるいは学外における各種行事（大会）等へ参加する場合には、下記の事項を厳守すること。

#### ア 行事の実施計画及び行事の届出等について

##### (1) 実施計画書の作成

行事の実施、あるいは行事への参加については、その行事内容等について顧問教員に事前に報告するとともに、顧問教員が署名・捺印した実施計画書を各地区学生サポートセンター学生生活係に提出すること。

##### (2) 行事の終了報告

行事が終了した場合には、行事の概要速やかに顧問教員に報告するとともに、各地区学生サポートセンター学生生活係にも報告すること。

#### イ 行事実施前の健康診断の実施等について

##### (1) 健康診断の受診日時及び場所

過激な競技あるいは、体力の消耗が激しいスポーツ等の行事（大会）に参加する場合は、事前に健康診断を受けておくこと。サークルとして保健管理センターでの健康診断を希望する場合は、1か月前までに学生支援チーム（保険担当者）に申し出て指示を受けること。

##### (2) 定期健康診断の受診

4月に実施される定期健康診断は必ず受診すること。

再検査を受けた者は、保健管理センターからの注意等十分踏まえて自己管理を行うこと。

なお、校医による健康相談（内科・婦人科・精神科）を実施しているので利用されたい。

## ウ 行事（大会）の実施に伴う救急対策について

### (1) 健康状況の把握

サークルのリーダーは、参加者全員の健康状況を確認し、身体に少しでも異常のある者を行事（大会）等に参加させてはならない。寒中における行事や、気象条件等自然環境の大きく作用する活動では、健康状況だけでなく各参加者の知識、技量も含めた総合的な判断が求められることに十分留意すること。

### (2) 救急病院の確認

サークルが主催する行事（大会）等の実施前には必ず、開催場所近隣の救急病院等の所在及び連絡方法を確認しておくこと。

### (3) 救急車の出動依頼（連絡）

学内の体育施設等におけるサークル活動中に、万一事故が発生し救急車の出動を依頼した時は、速やかに各地区学生サポートセンター学生生活係（休日及び夜間は宿直室、守衛所）に報告すること。

## エ 課外活動における事故発生時の連絡先について

課外活動において事故が発生した場合は、先ず顧問教員に報告し、下記に速やかに連絡すること。

府中地区学生サポートセンター学生生活係

平日の昼間 (042) 367 - 5540

休日及び夜間 (042) 367 - 5664 (宿直室)

小金井地区学生サポートセンター学生生活係

平日の昼間 (042) 388 - 7011

休日及び夜間 (042) 388 - 7007 (守衛所)

大学は連絡を受け次第、事故の状況を考慮し、必要に応じて対策本部を設置する。

## オ 事故報告及び保険金の申請手続きについて

### (1) 事故報告

サークルのリーダーは、上記により連絡した詳細を記した「事故報告書」を作成し、各地区学生サポートセンター学生生活係に提出すること。

なお、保険によっては、一部危険を伴うサークル活動が、補償範囲からその適用を除外されているものがあるので、予め確認しておくこと。

### (2) 保険金の申請及び問い合わせ先

ア．学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険を含む）

各地区学生サポートセンター学生生活係（P20参照）

イ．学研災付帯学生総合保険

財団法人日本国際教育支援協会（電話 0120-811-806）

ウ．学生賠償保険・学生総合共済

大学生協（電話 042-366-0762）

エ．スポーツ安全協会傷害保険

財団法人スポーツ安全協会東京都支部（電話 03-3481-2423）

オ．ボランティア活動保険

全国社会福祉協議会総務部（電話 03-3581-7851）

## カ 体育施設及び課外活動施設の安全使用について

体育施設及び課外活動施設は、体育授業及び各種サークル活動の共用の場として使用されているため、種々の器具・設備が備えられているが、サークルの練習中に床、ガラスの破損あるいは、器具、設備等を破損した場合には、これが「けが」等の事故発生につながるため、直ちに各地区学生サポートセンター学生生活係にその状況を報告すること。

また、サークルリーダーは諸施設の使用に当たっては、各地区学生サポートセンター学生生活係の使用許可を得ることは当然であるが、使用時には、火災には万全の注意を払うとともに、平常のサークル活動あるいはサークル行事（大会）等の終了時には、次に使用する各サークルが気持ちよく使用できるように、後片付けと清掃を部員の一人一人が進んで実施するように指導し、これを遵守すること。



### 3. 学生活動支援センター

当センターは、地域と連携した学習活動、ものづくり、災害ボランティア、森林ボランティアなど、地域活性・環境・ものづくりといった社会的ニーズの高い学生による主体的活動を様々な面からサポートします。

府中キャンパスは農学部福利厚生センター2階に、小金井キャンパスは中央棟1階にそれぞれ部屋を設け、学生活動支援推進員（コーディネーター）と事務補佐員が常駐し、学生の相談や学内外の情報の収集および発信、資金面を含む活動助成などを行っています。お気軽に部屋を尋ねてください。

府中地区学生活動支援センター 9：00～17：00

Tel：042-367-5255

Fax：042-367-5258

E-mail fkatudo@cc.tuat.ac.jp

小金井地区学生活動支援センター 9：00～17：00

Tel：042-388-7931

Fax：042-388-7013

E-mail kkatudo@cc.tuat.ac.jp

## 4. 学生の行事・催し

### (1) 農工祭

農工祭は、毎年11月中旬に府中キャンパスと小金井キャンパスで催されます。今年は第52回目を迎えます。

講演会や教授との座談会、映画会、音楽会や演芸会、また、各サークルや各学科の趣向をこらした催し物、外国人留学生による国際親善の会、各スポーツの招待試合のほか、展示などで日頃の成果が公開されます。これは一般市民にも公開されて研究室の開放、市民と学生の集いなど地域社会とも交流し、親善を図っています。

農工祭の企画・実施は、学生の農工祭実行委員会が行います。この委員会は各学年、クラスより2人ずつ選出された委員で構成されています。



### (2) 東京地区国公立大学体育大会

この大会は、東京地区にある国立大学法人11大学と首都大学東京の学生の体育活動の発展を促進するとともに、学生相互間の親睦を図ることを目的として毎年、5月から翌年3月まで、参加大学の輪番制による世話で開催しています。種目は陸上、水泳、野球を始め、ヨット、ゴルフ、スキー(3月)など多種目の競技を行っています。昭和28年から始まり本年度は第57回で、電気通信大学が当番校として運営します。

### (3) 東京地区国公立大学連合文化会・美術展

東京地区にある国立大学法人11大学と首都大学東京の学生の文化活動の発展を促進し、学生相互間の親睦を図ることを目的として毎年1回、発表会を行っています。この発表会は例年12月下旬に、都内の催物場で絵画、彫塑、写真などを展示して、都民にも公開しています。

今年の第56回連合文化会は、東京外国語大学が当番校として運営することとなっています。

### (4) 三大学体育大会

この大会は、戦前、繊維専門学校であった信州大学、京都工芸繊維大学と本学の3校が、学生相互間の親睦を図るために、昭和33年5月に復活第1回大会を信州大学で開催して以来、毎年5月～6月の土、日を利用して陸上競技、硬式野球、硬式庭球、軟式庭球、バレーボール、卓球、バスケットボール、サッカー、ラグビー、バドミントン、ハンドボール、柔道、弓道、剣道、空手の14種目の競技を3校の学生自治会または学友会が主催して輪番制で行っているものです。

今年は、第52回大会として信州大学の当番で行われます。



## 5. 貸出備品

皆さんが余暇を利用して心身の練成、レクリエーションなどをする場合は、授業及び管理上に支障がないかぎり、設備してある用具などを利用することができます。現在、つぎの物品が備え付けてありますから、貸出を希望する場合は直接、係へ申し込んでください。

貸出場所	貸出物品
府中地区学生サポートセンター 学生生活係  (注)	硬式テニス用具一式、自転車空気入れ、臼・杵・ソフトボール用具一式、延長コード、サッカーボール、暗幕・紅白幕、テント(4脚・8脚)、長机・椅子、ブルーシート、寝袋、放送セット、巻尺、拡声器
小金井地区学生サポートセンター (注) 学生生活係	硬式テニスラケット一式、巻尺、トランシーバー、拡声器、テント 自転車空気入れ、長机・椅子、台車・リヤカー、草刈機、放送セット
農学部・工学部 体育館 ※体育館管理人から借りてください。	バドミントンラケット、バスケットボール、バレーボール、卓球ラケット インディアカ、縄跳び

(注) 個数につきましては、各係にお尋ねください。

# 学生生活関係施設等

## 1. 福利厚生施設

学生の憩いの場、学生相互間、学生と教職員との親睦を図るための施設として「農学部福利厚生センター」、「工学部総合会館」があります。

### 東京農工大学農学部福利厚生センター福利厚生施設使用心得

- この使用心得は、東京農工大学農学部福利厚生センター規程第6条の規定に基づき施設の使用について定める。
- この施設は原則として本学の学生・教職員が福利厚生のために使用するものとする。
- 施設の開館期間、開館時間及び休館日は、次のとおりとする。
  - 開館期間および開館時間  
通 年 9時から21時まで
  - 休 館 日  
土・日曜日、国民の祝日、振替休日、本学の創立記念日、大学休講期間、年末年始
  - 管理責任者が必要と認める場合には、前項の開館時間又は休館日を臨時に変更することができる。
- 福利・厚生施設の区分については、別表のとおりとする。

別 表

施設名	区 分
福 利 施 設	食堂、厨房、売店
厚 生 施 設	喫茶、会議室

(注) 本票にないものの区分は、管理責任者が定める。

上記施設を使用する場合は、規程第7条により使用手続きを必要とするが、次のものは所定の手続きを必要としない。

食堂（食堂にあっては食事時間外で特別の用途に使用する場合を除く。）厨房、売店、喫茶の開かれている時間内で通常の用途に使用する場合。

- 施設を利用する場合の使用責任者は、使用の3日前までに施設使用願（所定用紙）を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提出し、その承認を受けなければならない。  
この場合において、施設使用の承認を受けた者は、施設使用願に記載した目的以外の用途に使用し、又は他に転貸してはならない。
- 継続して使用することができる期間は、6日以内とする。ただし、特別の事情がある場合は承認を受けて使用期間を延長することができる。
- 施設の各部屋の鍵は、府中地区学生サポートセンター学生生活係で保管する。  
施設を使用しようとする者は、府中地区学生サポートセンター学生生活係で鍵を受け取り、使用終了後は、速やかに返戻すること（平日の17時以降、土・日曜日、祝日及び休日は農学部宿直室に返戻する。）。
- 使用者は、次の各号の事項に留意し、快適に使用できるよう努めなければならない。
  - 建物内の清潔、整頓に注意し、施設の管理に協力すること。
  - 風紀を乱したり、近隣、他人の迷惑になる行為をしないこと。
  - 建物内にスパイク靴等、他人に迷惑を与えるような履物で出入りしないこと。
  - 使用した設備、備品は直ちに清掃し、使用前の状態にしておくこと。施設内の備付物品の持出は禁止する。
  - 故意又は過失により、建物、備品等を破損、又は滅失したときは、府中地区学生サポートセンター学生生活係に申し出てその指示を受けること。
  - 常に火気について十分注意し、次の事項を厳守すること。
    - 施設内外で自炊又はたき火をしないこと。
    - タバコの吸いがらは、必ず灰皿に捨てること。
    - 備付けの暖房器具以外の熱器具は、使用しないこと。
  - 常に盗難の予防につとめ、特に貴重品の保管については、各自十分留意すること。
- 施設使用終了後は、必ず室内の清掃、火気の始末、戸締まり等をしなければならない。
- この使用心得に違反する行為があった時は、使用の許可を取消すことがある。
- その他必要な事項は、管理責任者が定める。



## 東京農工大学工学部総合会館使用細則

第1条 会館の使用については、東京農工大学工学部総合会館規程第4条第2項の規定に基づき、この細則の定めるところによる。

第2条 会館を使用することのできる者は、本学の学生及び教職員とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りでない。

第3条 会館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が必要と認めた場合は、この限りではない。

(1) 開館時間 夏季(4月1日から9月30日まで)午前9時から午後9時まで  
冬季(10月1日から3月31日まで)午前9時から午後9時まで

(2) 休館日 土・日曜日、国民の祝日、休日及び創立記念日  
8月1日から9月30日まで  
12月21日から1月10日まで

2 館長が必要と認める場合には、前項の開館時間又は休館日を臨時に変更することができる。

第4条 集会室等を使用する場合は、使用しようとする日の3日前までに所定の様式により館長に届け出てその許可を受けなければならない。ただし、館長が特別に認めた共通施設等は、この限りでない。

第5条 会館を使用する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を認められた時間を超過しないこと。
- (2) 会館を清潔に保ち設備・備品等を破損しないこと。
- (3) 火気に注意し、指定場所以外では禁煙のこと。
- (4) 下駄、スパイク等で出入しないこと。
- (5) 会館の設備・備品を無断で搬出し又は滅失若しくは損亡失しないこと。
- (6) 使用届に記載した目的以外の用途に使用し、又は他に転貸しないこと。
- (7) 使用した設備・備品は、使用后直ちに清掃し、使用前の状態にしておくこと。
- (8) 無断で物品販売、広告宣伝等の行為をしないこと。
- (9) 会館を使用する者が建物・設備・備品等をき損し又は滅失、亡失したときは、その損害を弁償しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる場合は、この限りでない。
- (10) 風紀を乱したり、他の利用者に迷惑をかける行為等をしないこと。
- (11) その他管理責任者の指示に従うこと。

第6条 この細則に違反した者は、その使用を中止させることがある。

第7条 その他必要な事項は、管理委員会で定める。

農学部福利厚生センター



工学部総合会館



## 2. 合宿研修施設

本学では、学生の課外活動、オリエンテーション・野外実習授業・ゼミ等の研修や、学生・教職員のレクリエーション等のための合宿研修施設として、『館山荘』を設置しています。

### (1) 館山荘

『館山荘』は、マザー牧場・館山ファミリーパーク・鴨川シーワールド等多くのレジャー施設や、野島崎灯台・田子台遺跡・清澄寺・安房神社等の史跡・観光名所にも近く、温暖な気候に恵まれた南房総の館山湾に面した海岸沿いに、平成3年8月に設置されました。サークルの合宿やゼミ・オリエンテーションはもちろん、海水浴や釣り等のレジャーや小旅行にも利用できます。



#### 休荘日

火曜日、水曜日、祝日、年末年始

#### 予約受付

利用日の1ヶ月前から1週間前（土・日、祝日の場合はその前日）までに、予め学生支援チーム（電話042-367-5582）へ空室状況を問い合わせ、予約を済ませてください。申し込み手続き

利用日の1週間前（土・日、祝日の場合はその前日）までに「合宿研修施設利用申込書」及び「利用料金」（つり銭のないようお願いします。）を添えて、学生支援チームの窓口で手続き願います。

#### 所在地

千葉県館山市正木1256-131（電話0470-27-6262）

#### 定員及び施設概要

定員は48名（駐車場は14台収容可能）

施設は、洋室（2段ベッド）4部屋、和室2部屋、講師室2部屋、食堂、浴室、研修室、ラウンジとなっています。

#### 利用料金（1泊2食付）

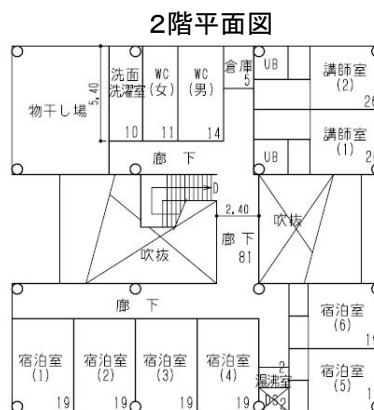
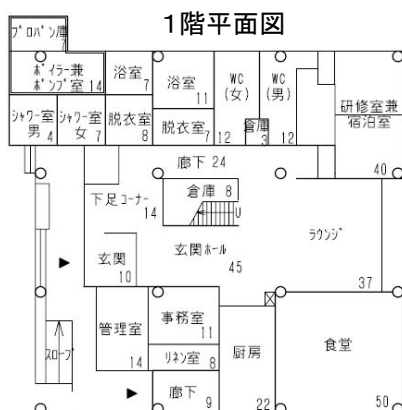
本学学生は2,300円（7～9月、12～3月は冷暖房費として別途600円加算）、さらに本学以外の利用者（OB含む）は、別途160～450円の使用料が必要となります。

#### キャンセルについて

利用日の3日前までに印鑑持参のうえ、学生支援チームで手続きをすれば、手数料を除いた利用料金を後日振込みで返還します。

#### その他

備品として、バーベキューセット、ランタン等を用意しています。

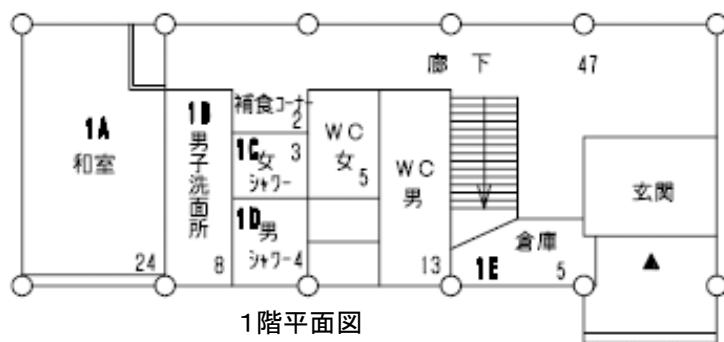
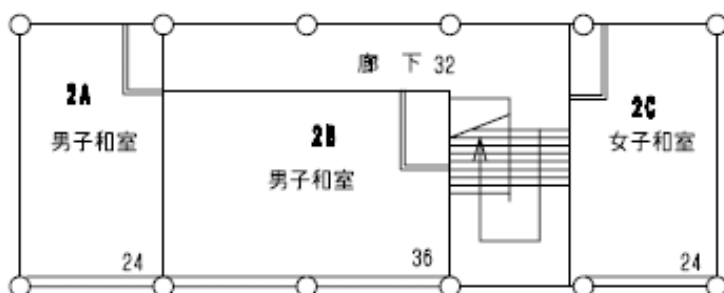




## (2) 工学部合宿研修施設

### 東京農工大学工学部合宿研修施設使用について

1. 施設を使用することのできる者は本学の学生及び教職員です。ただし施設長が特に必要と認めた場合はこの限りではありません。
2. 施設を使用できる期間は7日以内です。  
ただし12月25日から1月5日までの期間は使用できません。
- 2) 施設長が必要と認める場合には、前項の使用期間を変更することができます。
3. 施設を使用する場合は、工学部サークル代表者会議に出席し決定します。
4. 使用の許可を受けた者に対しては使用許可証を交付します。
5. 施設を使用する者は次の各号に掲げる事項を守ってください。
  - (1) 使用を認められた期間を守ること。
  - (2) 施設を清潔に保ち、設備、備品等を破損しないこと。
  - (3) 施設内では喫煙しないこと。
  - (4) 下駄、スパイク等で出入りしないこと。
  - (5) 施設の設備、備品を無断で搬出し、あるいは第三者に転貸しないこと。
  - (6) 施設使用願に記載した目的以外の用途に施設の設備、備品を使用しないこと。
  - (7) 使用した設備、備品は使用后直ちに清掃し使用前の状態にしておくこと。
  - (8) 施設を使用する者が、故意又は過失により施設の建物、設備、備品等をき損し、又は滅失し、あるいは亡失したときは、それにより発生した損害を賠償する責任を負う。  
なお、前述の場合は直ちに届出ること。
  - (9) 風紀を乱したり、また近隣の住人及び他の利用者に迷惑のかかる行為をしないこと。
  - (10) 補食コーナーの使用に際しては、特にガス等の安全管理及び衛生に注意し常に清潔を保ち、他の利用者に迷惑を及ぼさないこと。
6. これに違反した者はその使用を中止します。



#### 【問い合わせ先】

小金井地区学生サポートセンター学生生活係  
TEL 042-388-7011 tkkousei@cc.tuat.ac.jp



### 3. 体育施設等の使用について

#### 1. グラウンド（府中地区及び小金井地区）

##### （1）使用手続

授業、クラブ活動等で使用しない月曜日から金曜日の10時～16時半まで、（2）の使用上の注意に従って使用できる。

平日16時半以降及び、休日にクラス、講座、その他任意の団体が使用を希望する場合は、以下の通り開かれる当該施設の利用者会議・運動施設運営者協議会に代表を出席させ、使用日程等の調整を受け、使用して下さい。

府中地区グラウンドの利用者会議・運動施設運営者協議会は、毎月第2火曜日の午後5時から農学部本館2階24教室で開催される。（長期休暇前は、前月にまとめて3ヶ月分の調整をすることがある。）その結果に基づき「施設使用届」を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。

小金井地区グラウンドの利用者会議は、毎月第3木曜日の午後4時30分から掲示で指定された場所で開催される。その結果に基づき、「施設使用届」を小金井地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。（長期休暇前は、前月にまとめて3ヶ月分の調整をすることがある。）

##### （2）使用上の注意

雨天、雨天後、冬季など、グラウンドの軟弱な時は、原則として使用してはならない。

試合などで、どうしても使用しなければならない時は、責任を持って事後の整備をすること。

ビン類・花火その他の危険物を持ち込まないこと。

車輛（自転車を含む）で立ち入らないこと。

授業時間中は、その授業以外の学生はグラウンド内に立入らないこと。

グラウンド内での飲食および喫煙は禁止する。

使用後は、必ず「とんぼまたはブラシ」をかけ整備すること。



#### 2. 総合屋内運動場（府中地区体育館・武道場及び小金井地区体育館・武道場）

##### （1）使用手続

授業、クラブ活動等で使用しない月曜日から金曜日の10時から16時半まで、（2）の使用上の注意に従って使用できる。ただし、管理人のいない時は原則として使用できない。

平日16時半以降及び、休日にクラス、講座、その他任意の団体が使用を希望する場合は、以下の通り開かれる当該施設の利用者会議・運動施設運営者協議会に代表を出席させ、使用日程等の調整を受け、使用して下さい。

府中地区体育館・武道場の利用者会議・運動施設運営者協議会は、毎月第2火曜日の午後5時から農学部本館2階24教室で開催される。（長期休暇前は、前月にまとめて3ヶ月分の調整をすることがある。）その結果に基づき「施設使用届」を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。

小金井地区体育館・武道場の利用者会議は、毎月第3木曜日の午後4時30分から掲示で指定された場所で開催される。その結果に基づき、「施設使用届」を小金井地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。（長期休暇前は、前月にまとめて3ヶ月分の調整をすることがある。）

##### （2）使用上の注意

体育館シューズを着用すること。土足、はだし（武道場を除く）は認めない。

総合屋内運動場内での飲酒及び喫煙は、禁止する。

使用後は必ず清掃すること。

体育館管理人の指示に従うこと。



#### 3. テニスコート（府中地区及び小金井地区）

##### （1）使用手続

授業等で使用しない時は、府中地区は学生部事務棟西側（オムニコート）、小金井地区はグラウンド東側（オムニコート）に限り、（2）の使用上の注意に従って使用できる。その際、各地区の学生サポートセンター学生生活係において、学生証と引換にコート入口の鍵を受け取る。ただし使用できる日時は次の通りである。

月～金	9:00～10:20（全 面）
	10:30～11:50（全 面）
	13:10～14:40（全 面）
	14:50～16:30（全 面）

スポーツ・健康科学実技（テニス）を開講している時間帯については、使用することができません。

平日16時半以降及び、休日にクラス、講座、その他公認の団体が使用を希望する場合は、以下の通り開かれる当該施設の利用者会議・運動施設運営者協議会に代表を出席させ、使用日程等の調整を受け、使用して下さい。

府中地区テニスコートの使用者会議・運動施設運営者協議会は、毎月第2火曜日の午後5時から農学部本館2階24教室で開催される。（長期休暇前は、前月にまとめて2ヶ月分の調整をすることがある。）その結果に基づき「施設使用届」を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。

小金井地区テニスコートの使用者会議は、毎月第3木曜日の午後4時30分から掲示で指定された場所で開催される。その結果に基づき、「施設使用届」を小金井地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。（長期休暇前は、前月にまとめて3ヶ月分の調整をすることがある。）

#### (2) 使用上の注意

コートの状態が悪いときは使用できない。判断に迷う時は体育教員または担当係に相談し、指示を受けること。

「許可証」は、コートの指定場所に提示すること。

使用に当たっては必ずテニスシューズを着用すること。

使用後はコートブラシをかけ、ネットをゆるめること。

コートを退去する時、他に使用者がいない場合はコート出入口を施錠すること。

コート内での飲食および喫煙は禁止する。

その他担当係の指示に従うこと。



## 4. ゴルフ練習場（府中地区）

### (1) 使用資格

ゴルフ練習には危険が伴うので次の者に限定する。

授業でゴルフを履修した者。

一般学生の場合は体育教員の認定を受けた者。

### (2) 使用手続

授業、クラブ活動等で使用しない月曜日から金曜日までの10時～16時半まで使用できる。ゴルフ練習場（以下「練習場」とする）利用適格者は体育教員の発行する証明書を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提示し、学生証・証明書と引換に練習場入り口の鍵を受け取り(3)の使用上の注意に従って使用できる。

平日16時半以降及び、休日にクラス、講座、その他任意の団体が使用を希望する場合は、以下の通り開かれる当該施設の使用者会議・運動施設運営者協議会に代表を出席させ、使用日程等の調整を受け、使用して下さい。

府中地区ゴルフ練習場の使用者会議は、毎月第2火曜日の午後5時から農学部本館2階24教室で開催される。その結果に基づき、「施設使用届」を府中地区学生サポートセンター学生生活係に提出した後、当該施設を使用できる。

### (3) 使用上の注意

マットを使用する。

規定のキャンパスを使用する。

規定の打席内から打球する。

他者が打球中は自分の打席から決して前方に出ない。

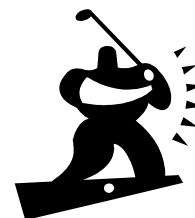
複数の者で使用する場合はボールの回収を一斉に行う。

他者が打球中は、その打席には決して入らない。

練習場を退去する時、他に使用者がいない場合は練習場出入口を施錠すること。

ゴルフの練習は危険を伴うので、練習場内での飲食及び喫煙は、禁止する。

その他、この施設を使用するにあたっては体育教員の定める決まり、指示に従うこと。



## 4. 学外共同利用施設

### (1) 山中共同研修所 (関東甲信越地区国立大学共同利用施設)

#### 1. 所在地

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村  
平野479 (山中湖畔、新宿から中央  
高速直通バス2時間20分、撫岳荘前下  
車徒歩7分)  
電話 0555 (62) 0309



#### 2. 申込先

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1  
筑波大学学生生活課 (学生支援)  
電話 029 (853) 2250  
受付時間 9:00 ~ 17:00

3. 収容人員 学生64名、教職員12名、計76名

4. 施設の概要 関東甲信越地区国立大学の学生・教職員の共同合宿研修施設として、学内外から数多く利用されている。研修室、グラウンド、テニスコートが整備されており、セミナーやクラブの合宿に適している。又、登山、紅葉狩、スケート、釣り、サイクリング等と季節を問わず利用範囲が広い。

5. 利用者の範囲 (1) 関東甲信越地区国立大学の学生及び職員  
(2) 関東甲信越地区国立大学の主催する研修の参加者  
(3) 前各号に掲げる者のほか担当副学長が適当と認める者

6. 利用できる備品等 書籍類、ピアノ、OHP、VTR、卓球、ソフトボール用具一式、自転車、囲碁、将棋等

7. 休所日 水曜日、木曜日、祝日、筑波大学の一斉休業日 (8月中旬) 及び年末年始

8. 利用の手続 利用日の2か月前から予約をし (電話 029-853-2250)、10日前までに所定の利用願を学生支援チームから確認印を取り、筑波大学学生部学生課 (研修施設) へ提出する。なお、夏季の利用については別に掲示等で案内する。

#### 9. 費用

経費 (1泊1人)		食費 (1食1人)		
管理費	暖房費	朝食	昼食	夕食
980円	350円	700円	700円	900円

暖房費は、11月から翌年4月まで徴収します。

食費は、研修所で精算してください。

筑波大学の学生及び教職員以外の方は、上記のほかに別に定められている施設使用料が必要です。

## (2) 草津セミナーハウス (関東甲信越地区国立大学共同利用研修施設)

草津セミナーハウスは、1984年(昭和59年)に建設されました。

この施設は、1956年(昭和31年)赤城山大沼湖畔に創設された赤城山寮(我が国初の地区国立大学共同利用合宿研修施設)の二代目の施設です。

自然を敬い、人間関係を深める赤城山寮の伝統は、草津セミナーハウスに継承されています。

学生及び教職員等が恵まれた自然環境の中で、対話や学習を重ねながら、豊かな人間性を育てる場として、積極的にご利用ください。



### 1. 所在地

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根737 セミナーハウス事務局  
電話 0279(88)2212 F A X 0279(88)8030

### 2. 研修・宿泊・体育施設

研修室(4室)・宿泊室(102名)・講師室(3室)アリーナ(体育館内)・大研修室(1室)

### 3. 使用申込

(1) 居室・研修室・体育館及び貸出物品(スキー用具を除く。)については、あらかじめ電話等で群馬大学学生支援課に問い合わせの上予約してください。休所日に注意してください。【問い合わせ先電話 027(220)7145】

(2) 学生支援チームを経由して「使用許可申請書」を使用開始4か月前から10日前までに、群馬大学学生支援課に提出してください。

(3) 申請者は「使用許可書を受領後、指定の期日までに運営費(一般の者は合わせて施設使用料)を下記の口座に振込んでください。

【東和銀行前橋北支店普通預金 口座番号 3180853 口座名 国立大学草津セミナーハウス所長】

(4) 使用許可書は来所の際必ず持参してください。

### 4. 費用(研修目的)

区 分	(1) 地区国立大学 学生・教職員	(2) (1)以外の者
運 営 費	1,400円 (1,900円)	1,800円 (2,300円)
施設使用料	(2)の者のみが負担(毎年4月1日決定)	
食 事	朝食460円	昼食500円 夕食980円

( )内の金額は、10/1~4/30までの運営費です。

## (3) 財団法人 大学セミナーハウス

大学セミナー・ハウスは八王子の南東に連なる多摩丘陵の一角、野猿峠の西側に位置し、本学の農学部附属波丘地利用実験実習施設より車で5~6分で行けます。

この施設は本学を含め60数校の大学が協力会員校となり、静かな自然環境の中で教職員はもとより、学生の各種セミナー、クラスの研究集会等、起居を共にしながら思索し、討議し、談話を交え、人格的接触を図りながら密度の深い人生経験を持つとする目的で設置されたものですから積極的な利用を期待しております。利用申込み等については、下記に問い合わせてください。

所在地〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1  
電話 042-676-8511 FAX 042-676-1220



# 国際交流関係

## 1. 国際センター

### INTERNATIONAL CENTER

国際センターは東京農工大学全体の国際活動を一層強力に推進するための拠点として平成19年11月に旧留学生センターを母体につくられました。東京農工大学の国際化戦略、国際交流に関する情報収集と発信、学術・研究における国際活動の支援、国際産官学連携事業の推進、日本語教育や国際交流教育の学内外への提供、国際交流に関する学生支援など、およそ「国際」と名の付くほとんどすべての仕事は、この国際センターが受け持っています。

また、各学部・学府等における研究と連携し、国際交流と語学教育等に関する研究を行っています。本センターは、センター長と8名の専任教員、10名の協力教員、事務局の留学交流推進チーム及び国際事業推進チームとが協働して数多くの事業を進めていますが、その中から学生の皆さんを対象とした事業のいくつかを紹介しましょう。

海外留学を希望している日本人学生への指導助言を行っています。

特に、海外留学に関心があるが、具体的にどうすればいいのかよくわからない学生に対して、学年や専攻分野を考慮して、留学計画を立てるための支援を行っています。

国際交流に関する学生支援を行っています。留学生の修学・生活・メンタリティ上のいろいろな問題についての相談・助言・指導、チューター・マネージメント等様々なオリエンテーション事業、地域交流を含めた国際交流に関係ある諸行事を企画運営しています。

平成12年10月から「東京農工大学科学技術短期留学プログラム」を運営しています。

本学の姉妹校から毎年20名程度の留学生を受入れ、ほぼ1年の間、国際センターと各学部・学府が提供する特別プログラムのもとに、英語による専門科目の講義、本学施設での実習、日本語、日本事情などを学習します。このプログラムの科目の一部は日本人学生や本学の留学生も受講でき、国際交流科目として本学の卒業要件単位数に算入することも可能です。

学部の留学生のために日本語・日本事情教育を行っています。

大学での講義を聞いて理解できる、レポートや論文が書けるなどの言語活動は、日本人学生でも大学に入る前にはなかなか習得できていません。まして外国人学生にはとても難しいことです。そうした困難さを少しでも早く克服し、大学生活に必要な日本語が習得できるようにと開講されているのがこの授業です。

大学院留学生や研究留学生が日本語を習得するための大学院日本語教育を行っています。

さらに科学技術系大学である東京農工大学での必要性に対応し、研究活動のためのコミュニケーションの手段として必要な日本語力を養成することを目的として「科学技術日本語」や「異文化間コミュニケーション学」を開講しています。

「日本語特別コース」を運営しています。

留学生が大学院で研究を始める前の1学期間、毎週5日間、日本語を集中的に学ぶコースとしてここでは様々な国からの留学生が日本語を勉強しています。これまでにモンゴル、フィリピン、ブラジル、中国、トルコ、韓国、ベトナム、スペイン、ドイツ、ナイジェリア、ミャンマー、アメリカ、ペルー、モーリタニア、ハンガリー、イスラエル、リトアニア、タイ、マレーシア、フィンランド、バングラデシュ、エチオピア、パプアニューギニア、チェコ、ポーランド、マダガスカル、チェンジア、ロシア、レバノン、ネパール、シリア、イラン、イエメン、南アフリカ、カンボジア、ドミニカ共和国、アフガニスタンなど文字通り世界中の国々から来ています。また、本年度から学外の留学生も若干名ですが有料で受け入れていきます。

国際センターはこのように国際交流のあらゆる分野にかかわる活動をしています。日本人学生も日本語の授業の見学や、世界各国からの留学生とコンタクトを取るなどの活動を通してもっとセンターを利用し、国際センターが日本人学生にとっても異文化間交流のトレーニングとコミュニケーションの場になればと考えています。この実現のための第一歩としてボランティアになりませんか。国際センターはその諸活動のために様々なボランティアを必要としています。ぜひ国際交流の接点に立った活動を一緒にしましょう。

海外留学などの情報収集や相談をするためにも、ボランティア活動をするためにも、どうぞ気軽に「センター」を訪ねてください。国際センターは小金井キャンパスの13号館にあります。また、府中キャンパスは語学演習棟1階にあります。

詳細は、国際センターホームページ(<http://www.tuat.ac.jp/~icenter/>)をご覧ください。

## 2. 国際交流会館

本学には次の国際交流会館があります。

- (1) 名称 東京農工大学 府中国際交流会館  
所在地 〒183 - 0054 東京都府中市幸町2 - 41

会館は、農学部キャンパスの南東に位置し、鉄筋コンクリート造りで、3階建て総延面積 2,263.22㎡の建物です。留学生用居室数は、単身室40室・夫婦室4室・家族室4室で、その他外国人研究者用がありません。

### 居室設備

机、椅子、本棚、ベッド、洋服タンス、冷蔵庫、食卓、食卓椅子、ユニットバス、流し台、吊戸棚、ルームエアコン、下駄箱、カーテン、洗濯機等を備えてあります。

(ただし、単身室には、洗濯機の設備がありませんので、洗濯室に設置してある洗濯機を共同で使用することになります。)

### 留学生の寄宿料等

居室区分	寄宿料	共用経費等	積立金
単身室	5,900円	4,600円	30,000円
夫婦室	11,900円	6,200円	36,000円
家族室	14,200円	9,800円	45,000円

注1 寄宿料、共用経費は毎月支払う。

注2 積立金は入居時のみで分割が可能です。

### 光熱水料その他必要な経費等

上記の経費のほか光熱水料その他必要な経費を負担することになります。

- (2) 名称 東京農工大学 小金井国際交流会館  
所在地 〒184 - 0012 東京都小金井市中町2 - 24 - 16

会館は、工学部キャンパスの北東に位置し、鉄筋コンクリート造りで、5階建て総延面積1,973.5㎡の建物です。留学生用居室数は、単身室32室・夫婦室3室・家族室2室で、その他外国人研究者用があります。

### 居室設備

机、椅子、本棚、ベッド、洋服タンス、冷蔵庫、食卓、食卓椅子、ユニットバス、流し台、吊戸棚、ルームエアコン、下駄箱、カーテン、洗濯機等を備えてあります。

(ただし、単身室には、洗濯機、ユニットバスの設備がありませんので、洗濯室に設置してある洗濯機、シャワー室を共同で使用することになります。)

### 留学生の寄宿料等

居室区分	寄宿料	共用経費等	積立金
単身室	4,700円	4,600円	30,000円
夫婦室	9,500円	6,200円	36,000円
家族室	14,200円	9,800円	45,000円

注1 寄宿料、共用経費は毎月支払う。

注2 積立金は入居時のみで分割が可能です。

### 光熱水料その他必要な経費等

上記の経費のほか光熱水料その他必要な経費を負担することになります。



(3) 名称 一橋大学国際学生宿舎  
所在地 〒187 - 0045 東京都小平市学園西町1 - 29 - 1  
(JR国分寺駅より西武多摩湖線 一橋学園駅下車徒歩10分程度)

一橋大学国際学生宿舎は、一橋大学に在学する学部学生及び大学院学生(外国人留学生を含む)並びに東京学芸大学、東京農工大学、電気通信大学に在学する外国人留学生の居住の場です。本学には、単身室30室と家族室6室が割り当てられています。

#### 居室設備

机、椅子、本棚、ベッド、衣類タンス、オーディオラック、冷蔵庫等、電話機が全居室に、家族室は、他にテレビ、洗濯機、衣類乾燥機、電気釜、ガスコンロ、電子レンジ、トースター等を備えています。(なお、単身室には、トイレ、洗面所があり、14室につき補食・談話室1、シャワー室4、洗濯室2室を共同で使用することになっています。)

#### 留学生の寄宿料等

居室区分	寄宿料	共益費等	入居費
単身室	5,900円	4,000円	30,000円
家族室	14,200円	9,000円	45,000円

注1 寄宿料、共用経費は毎月支払う。

注2 入居費は入居時のみ。

#### 光熱水料その他必要な経費等

上記の経費のほか光熱水料その他必要な経費を負担することになります。

寄宿料及び共益費等は変更される場合があります。

入居募集は、4月入居者については12月頃に、10月入居者については7月頃に各部署の掲示板等に掲示して募集しますので、入居希望者は、所属の留学生担当窓口で所定の手続きをしてください。

なお、その他国際交流会館についてわからないことは、留学交流推進チーム留学生係へ問い合わせてください。

宿舎には、個人の家具類を預かる場所はありません。居室に持ち込む物を選別して下さい。

留学交流推進チーム 留学生係  
小金井キャンパス13号館4階

Tel: 042 - 388 - 7773

e-mail: gakryu1@cc.tuat.ac.jp

### 3. 海外への留学について

留学を希望する学生は、必ず留学願を各地区教務担当者に提出してください。

#### (1) 留学生交流支援制度（短期派遣）について

この制度は、大学が大学間交流協定等に基づき、外国の大学との間で相互に学生を交換する場合に、当該大学から派遣される学生に対し、国が奨学金を支給するものです。

この制度の目的は、諸外国の大学との留学生交流の一層の拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、各国間の相互理解と友好親善を増進することであり、平成8年度に創設されました。

##### 1. 資格及び条件

- (1) 本学の学部及び大学院の正規課程に在籍している者（外国人留学生を除く。）
  - (2) 学生交流に関する協定等に基づき、派遣先大学が受入れを許可する者
  - (3) 本学における学業成績が優秀で、人物等に優れている者
  - (4) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者
  - (5) 経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
  - (6) 留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者、又は本学の学位を取得する者
  - (7) 派遣先大学所在国への留学に必要な査証を確実に取得できる者
  - (8) 諸外国の大学へ留学にあたり、他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、奨学金の支給月額合計額が8万円を超えない者
  - (9) 過去に本制度を利用して諸外国の大学へ留学をしたことのない者
- (注1) 学部レベルの派遣については、一定のカリキュラムの履修により単位が認定されるもの。
- (注2) 上記(8)について、他団体等から奨学金を受ける場合、当該奨学金支給団体側が、本奨学金の併給を認めない場合があるので、当該団体に確認をすること。
- (注3) 日本学生支援機構が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金との併給は認められません。採用決定を受け諸外国に留学する場合は、奨学金の休止手続き（異動届の提出）を行うこと。

##### 2. 派遣期間

3か月以上1年以内とする。

##### 3. 奨学金の支給内容

奨学金：平成22年度未定（参考：平成21年度月額8万円）

##### 4. 照会先

詳細については各学部・学府・研究科の教務係等に問い合わせてください。

#### (2) 留学生交流支援制度（長期派遣）について

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）では、「諸外国に所在する大学へ留学する日本人学生等に対し、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国との相互理解と友好親善を増進するとともに、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資すること」を目的とし、留学生交流支援制度（長期派遣）を募集しました。この制度に採用されて海外の大学院などに留学すれば、授業料や奨学金などがJASSOから支給されます。今後も同様の募集があることが予想されますので、希望する学生は、留学に必要な語学力の向上に努め、TOEFLなどの語学検定試験の受験や留学等の事前準備を整えておくようにしてください。なお、TOEFLの点数は、最低でもiBT90点以上が望ましいです。

<参考> 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト

[http://www.jasso.go.jp/scholarship/long\\_term\\_h.html](http://www.jasso.go.jp/scholarship/long_term_h.html)

### (3) 日仏共同博士課程について

本制度は、日本コンソーシアム協定大学とフランスコンソーシアム協定大学の大学院博士課程に在籍する学生を相互に交換する学生交流プログラムです。

本学も日本コンソーシアムに加盟しています。コンソーシアム形式の計画的・継続的な交流により、1対1の交流協定では難しい幅広い日仏間の学術交流に資することを目的としています。

また、派遣学生は、日本コンソーシアムが企画する共通留学準備講座を受講することとなります。

#### 1. 資格及び条件

- (1) 日仏共同博士課程日本コンソーシアムに加盟している大学の大学院博士課程（博士前期課程を除く）に在籍している学生で、日仏共同博士課程フランスコンソーシアムに加盟している大学（加盟大学については別表1及び <http://www.cdfj.jp/> を参照してください）へ留学を希望する者
- (2) 日仏双方の指導教員により共同して研究指導を受ける協力体制が整っており、かつ、所属大学長から推薦のあった者
- (3) 博士課程全体の研究計画と留学中の研究計画の関連性が明確であり、留学により十分な成果が期待できる者
- (4) 受入大学における受入承諾を得ている者
- (5) 留学の全期間中、現に所属している大学の学籍を保持できる者（休学者を除く。）
- (6) 原則として、派遣時に博士課程2年次に在籍する者
- (7) 心身共に健康である者
- (8) 「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により滞在する外国人留学生でない者

#### 2. 派遣期間

6ヶ月以上1年以内

#### 3. 奨学金等の支給内容

交流留学生給付金：なし（平成22年度以降の給付金はなくなりました。）

#### 4. 照会先

詳細については各学府・研究科の教務係等に問い合わせてください。

### (4) 外国政府奨学金留学生について

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学などへ留学する日本人を対象に実施しています。支給期間は主に1年以内です。また、留学先校を本国側で指定される場合が多くなっています。日本学生支援機構留学情報センターで募集要項を配布している奨学金については、下記ホームページを、それ以外の奨学金海外留学奨学金パンフレットについては、ホームページを参考にしてください。

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/scholarships\\_foreign.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships_foreign.html)

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/pamphlet\\_j.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/pamphlet_j.html)

## (5) 諸外国の大学との交流協定による留学について

本学では、アジア、欧米諸国を初め、数多くの外国の大学・学部と交流協定を締結しており、学生の交換留学を促進しています。協定校は60校以上にも上ります。詳細は別表2及び本学のホームページでご確認ください。

( [http://www.tuat.ac.jp/international/for\\_japanese\\_students/list\\_sister\\_univ/index.html](http://www.tuat.ac.jp/international/for_japanese_students/list_sister_univ/index.html) )

学生交流の協定を結んだ大学に留学する場合は、本学にその間授業料を納めていれば、原則として、留学先での授業料を支払う必要はありません。

### 1. 資格及び条件

- (1) 本学の学部及び大学院の正規課程に在籍している者
- (2) 留学願及びその他必要とする書類を添えて当該所属長に申請し、当該所属学部等の教授会等で「留学」の身分が承認された者
- (3) 学業成績が優秀で、人物等に優れている者
- (4) 留学の目的及び計画が明確で、海外への留学により効果が期待できる者
- (5) 派遣先大学が受け入れを許可する者で、派遣先大学の所在する国への入国に当たり「留学」に必要な査証の取得が確実な者

### 2. 派遣期間

おおむね1年以内とする。

別表1

No.	日本語表記	フランス語表記
1	エクス・マルセイユ第1大学	Université Aix-Marseille 1 – Provence
2	エクス・マルセイユ第2大学	Université Aix-Marseille 2 - Méditerranée
3	エクス・マルセイユ第3大学	Université Aix-Marseille 3-Paul Cézanne
4	ブサンソン大学	Université Besançon - Franche Comté
5	ブレーズ・パスカル大学	Université Blaise Pascal – Clermont II
6	ボルドー第1大学	Université Bordeaux 1 - Sciences et technologies
7	ボルドー第2大学	Université Bordeaux 2 - Victor Segalen
8	ボルドー第3大学	Université Bordeaux 3 - Michel de Montaigne
9	ボルドー第4大学	Université Bordeaux 4 - Montesquieu
10	セルジー・ポントワーズ大学	Cergy-Pontoise
11	サヴォア大学	Chambéry - Université de Savoie
12	社会科学高等研究院	Ecole des Hautes Etudes en Science Sociales
13	フランス国立高等研究院	Ecole Pratique des Hautes Etudes
14	カシヤン高等師範学校	Ecole Normale Supérieure de Cachan
15	リヨン高等師範学校	Ecole Normale Supérieure de Lyon
16	ユルム高等師範学校	Ecole Normale Supérieure
17	グルノーブル第1大学	Université Grenoble 1 – Joseph Fourier
18	パリ政治学院	Institut d'Etudes politiques de Paris
19	国立東洋言語文化学院	Institut National des Langues et Civilisations Orientales
20	国立グルノーブル理工科学院	Institut National Polytechnique de Grenoble
21	国立トゥールーズ理工科学院	Institut National Polytechnique de Toulouse
22	リール第1大学	Université Lille 1 – Sciences et Technologies
23	INSA リヨン	INSA Lyon
24	リヨン第1大学	Université Lyon 1 – Claude Bernard
25	リヨン第2大学	Université Lyon 2 - Lumière
26	リヨン第3大学	Université Lyon 3 – Jean Moulin
27	マルヌ・ラ・ヴァレ大学	Université de Marne-La-Vallée
28	メッス大学	Université de Metz
29	モンペリエ第2大学	Université Montpellier 2
30	ミュルーズ大学	Université Mulhouse – Haute Alsace
31	Ecole Centrale ナント	Ecole Centrale de Nantes
32	ナント大学	Université des Nantes
33	パリ第1大学	Université Paris 1 – Panthéon Sorbonne
34	パリ第3大学	Université Paris 3 - Sorbonne Nouvelle
35	パリ第4大学	Université Paris 4 - Paris Sorbonne
36	パリ第5大学	Université Paris 5 – René Descartes
37	パリ第6大学	Université Paris 6 - Pierre et Marie Curie
38	パリ第7大学	Université Paris 7 – Denis Diderot
39	パリ第9大学	Université Paris 9- Dauphine
40	パリ第10大学	Université Paris 10 - Nanterre
41	パリ第11大学	Université Paris 11 – Paris Sud
42	パリ第12大学	Université Paris 12-Val de Marne
43	パリ第13大学	Université Paris 13 -Université Paris - Nord
44	ポー大学	Université Pau et Pays de l'Adour
45	レンヌ第1大学	Université Rennes 1
46	レンヌ第2大学	Université Rennes 2 – Haute Bretagne
47	ストラスブール第1大学	Université Strasbourg 1 – Louis Pasteur
48	ストラスブール第2大学	Université Strasbourg 2 – March Bloch
49	ストラスブール第3大学	Université Strasbourg 3 – Robert Schuman
50	トゥールーズ第1大学	Université Toulouse 1 – Sciences Sociales
51	トゥールーズ第2大学	Université Toulouse 2 – Le Mirail
52	トゥールーズ第3大学	Université Toulouse 3 - Paul Sabatier
53	トゥール大学	Université Tours - François Rabelais
54	ヴェルサイユ・サン・カンタン大学	Université Versailles-Saint-Quentin

別表2

平成22年1月31日現在

協定数	地域別協定数	相手国名	相手側大学名	
合計 78校 (34カ国および 国際連合)	中東 2校	アフガニスタン 1校	カブール大学	
		イエメン 1校	サヌア大学	
	アジア 44校	中華人民共和国 21校	上海理工大	上海理工大
			浙江大	浙江大
			北京林业大	北京林业大
			東理工大	東理工大
			中国農業大	中国農業大
			雲南農業大	雲南農業大
			東北農林業大	東北農林業大
			北京農業大	北京農業大
			瀋陽農大	瀋陽農大
			南開大	南開大
			東華大	東華大
			東北農業大	東北農業大
			貴州大	貴州大
			北京郵電大	北京郵電大
			ハルビン工業大学 市政環境工程学院 (注1)	ハルビン工業大学 市政環境工程学院 (注1)
			上海交通大 機械工程学院 (注1)	上海交通大 機械工程学院 (注1)
			雲南民族大	雲南民族大
		北京林業大	北京林業大	
		大連理工大	大連理工大	
		清華大	清華大	
		中国計量学院	中国計量学院	
		インドネシア共和国 4校	ボゴール農科大	ボゴール農科大
			バンドン工科大	バンドン工科大
			ジャバダ大	ジャバダ大
			ランブアン大	ランブアン大
		カンボジア王国 2校	カンボジア工科大	カンボジア工科大
			カンボジア立農業大	カンボジア立農業大
	大韓民国 5校	建國大	建國大	
		忠北大	忠北大	
		慶熙大	慶熙大	
		韓国農村経済研究院 (注2)	韓国農村経済研究院 (注2)	
		済州大	済州大	
	バングラデシュ人民共和国 1校	スタムフォード大	スタムフォード大	
	フィリピン共和国 1校	ピサヤ州立大	ピサヤ州立大	
	タイ王国 5校	チュラロンコン大	チュラロンコン大	
		カセサート大	カセサート大	
		キングモンクット工科大学トシブリ	キングモンクット工科大学トシブリ	
		マヒドゥン大	マヒドゥン大	
		泰日工業大	泰日工業大	
		カントーン大	カントーン大	
		フエン大	フエン大	
	ミャンマー連邦 1校	イェン農大	イェン農大	
	インド 1校	コルカタ大	コルカタ大	
	アフリカ 3校	ラオス人民民主共和国 1校	ラオス国立大 (注2)	ラオス国立大 (注2)
		ガーナ共和国 1校	ガーナ大	ガーナ大
エジプト・アラブ共和国 1校		スエズカナール大	スエズカナール大	
ヨーロッパ 20校 (NIS諸国を含む)	南アフリカ共和国 1校	南アフリカ農学協議会 (注2)	南アフリカ農学協議会 (注2)	
	チェコ共和国 1校	チェコ工科大	チェコ工科大	
	フランス共和国 2校	J. フーリエ・ルノー・第I大	J. フーリエ・ルノー・第I大	
		ポリー大	ポリー大	
	イタリア共和国 1校	ローマ大 (注2)	ローマ大 (注2)	
	ドイツ連邦共和国 1校	アーヘン工科大学 (注2)	アーヘン工科大学 (注2)	
	オランダ王国 2校	デルフト工科大	デルフト工科大	
		エラスムス大学国際経営大学院 (注1)	エラスムス大学国際経営大学院 (注1)	
	ポーランド共和国 3校	ジャギロニア大	ジャギロニア大	
		ポーランド日本情報工科大	ポーランド日本情報工科大	
		ブリン大	ブリン大	
	ルーマニア 1校	ティミショアラ工科大学	ティミショアラ工科大学	
	ブルガリア共和国 1校	トラーキア大	トラーキア大	
	スイス連邦 1校	スイス・バイオインフォマティクス研究所	スイス・バイオインフォマティクス研究所	
	スウェーデン王国 1校	スウェーデン立工科大学	スウェーデン立工科大学	
	英国 1校	ブライトン大	ブライトン大	
	セルビア共和国 1校	ベオグラード大	ベオグラード大	
	ロシア連邦 2校	バシフィック・ナショナル大	バシフィック・ナショナル大	
		モスクワ大学理学部 (注1)	モスクワ大学理学部 (注1)	
	カザフスタン共和国 1校	国立カザフ民族大	国立カザフ民族大	
ウズベキスタン共和国 1校	国立ウズベキスタン大	国立ウズベキスタン大		
北アメリカ 7校	メキシコ 1校	チャピング自治大	チャピング自治大	
	アメリカ合衆国 6校	ニューヨーク州立大学バッファロー校	ニューヨーク州立大学バッファロー校	
		バドュー大	バドュー大	
		ハワイ大	ハワイ大	
		カリフォルニア大学サンタバーバラ校 (注3)	カリフォルニア大学サンタバーバラ校 (注3)	
		カリフォルニア大学デービス校	カリフォルニア大学デービス校	
ケンタッキー立大 (注2)		ケンタッキー立大 (注2)		
南アメリカ 1校	ブラジル連邦共和国 1校	ブラジル連邦共和国 1校		
国際連合 1校	国際連合 1校	国際連合 1校		

(注1) 部局間交流協定

(注2) 協定内容に授業料不徴収を含まないもの

(注3) 協定内容に学部生の授業料不徴収を含まないもの



## Ⅱ 学内施設

- 1 . 図書館
- 2 . 総合情報メディアセンター
- 3 . 科学博物館
- 4 . 農学部附属広域都市圏  
フィールドサイエンス教育研究センター

# 1. 図書館

## 1. 概要

農工大の図書館は、府中キャンパスと小金井キャンパス各地区にあります。両館とも自由に利用できますが、利用方法に多少の違いがあります。詳しくは、各館の「利用案内」や、図書館ホームページをご覧ください。

## 2. 図書館ホームページ

<http://www.biblio.tuat.ac.jp/>

- [利用案内](#)
- [開館スケジュール](#)
- [お問合せ先](#)
- [サイトマップ](#)



### What's New

- [2010年度雑誌情報を掲載しました](#) NEW (12/7)
- [10月から日曜開館が始まりました](#) NEW (9/16) PDF (302KB)
- [Web of Science インターネット講習会を行います](#) スケジュールは[こちら](#) NEW (10/3)

### お知らせ

- [雑誌情報](#)  
[2010年](#) NEW (12/7)  
[2009年](#)
- [製本情報](#)
- [寄贈図書リスト](#) UPD (12/3)
- [府中地区](#) UPD (12/2)
- [小金井地区](#) UPD (12/16)
- [過去のお知らせ](#)

### 情報検索

- [農工大OPAC](#) (学内蔵書検索)
- [新聞リスト](#) (本学で購読中の新聞)
- [NACSIS Webcat / Webcat Plus](#) (全国の図書・雑誌の所蔵検索)
- [国立国会図書館](#) [NDL-OPAC](#) (蔵書検索)
- [電子ジャーナル](#) UPD (5/21)  
[A to Z \(EJリスト\)](#)
- [eBook-電子ブック](#) NEW
- [データベース](#) UPD (2/12)
- [情報リンク集](#)
- [トライアル](#)

[農工大生のための図書館活用ガイド](#)  
NEW (4/8) PDF (2.6MB)

[科学技術情報検索の実際](#)  
HTML (2005年版)

[文献の探し方](#) (オリエンテーション資料)

### 電子図書館

- [電子図書館ページ入口](#)

### 情報サービス (学内)

- [ご利用の前に](#)
- [パスワード変更](#)
- [メールアドレス登録・変更・削除](#)
- [文献複写・貸借申込み](#) (利用について)
- [貸出・予約状況照会](#)
- [文献複写・貸借申込み状況照会](#)

### 講習会

- [過去の講習会](#)

### 研究者用サービス (学内)

- [研究者用ページ入口](#)



### 3. 開館時間と休館日

#### 1) 開館時間

	月～金曜日	土曜日	日曜日
通常開館[府中]	8:45～21:00	10:00～17:00	13:00～17:00
通常開館[小金井]	8:45～21:00	12:30～19:30	13:00～17:00
短縮開館(休業期)	8:45～17:00		

#### 2) 休館日

- ・国民の祝日
  - ・本学創立記念日(5月31日・休校)
  - ・毎月の月末(その日が休日のときはその前日。試験期は除く)
  - ・年未年始
- その他、臨時休館することがあります。館内掲示や、図書館ホームページの開館スケジュールをご覧ください。

### 4. 入館

図書館利用者カード = 学生証・職員証

学生証・職員証の裏面が図書館利用者カードになります。

利用者カードのバーコード下に書かれている数字が利用者IDです。

入口ゲートに利用者カードのバーコードを読ませて入館します。

カードを忘れた方は、カウンターにお申し出ください。

研究生・研究員の方は利用者カードを発行できます。カウンターへお申込ください。

### 5. 資料の閲覧

#### 1) 閲覧

館内は自由に閲覧できます。

- \* 土日は利用できない部分があります。

書架から抜き出した資料は、必ず元の場所にお戻しください。

雑誌(当年分)については、府中図書館は第4・5閲覧室に、小金井図書館は新着雑誌コーナー(北棟2F)にあります。

雑誌(バックナンバー)は、製本してタイトルのアルファベット順に並んでいます。府中図書館は第5閲覧室に、小金井図書館では雑誌室に保管しています。

農工大OPACで配架場所をご確認ください。

#### 2) 図書の出借

10冊 / 2週間

利用者カードと資料を持参の上、カウンターにてお手続きください。

自動貸出機もご利用ください。

#### 3) 雑誌・参考図書

雑誌・参考図書は館内でご覧ください。(一夜貸出もできます)

製本雑誌は図書と同じように貸出手続きができます。未製本の雑誌は「雑誌類一時貸出票」にご記入ください。

#### 4) 授業関連書・留学生用図書・就職関連書

関連テーマごとのコーナーを館内に設けてあります。府中図書館は第1閲覧室、小金井図書館は1階閲覧室をご覧ください。

5) AV資料 (CD・DVD・ビデオなど)

AV資料も貸出を行っています。「館内」シールが張ってあるものは、館内利用のみです。

府中図書館視聴覚室は、カウンターで鍵を借りてご利用ください。

小金井図書館AVコーナーを利用する際は、カウンターでヘッドホンをお貸しします。

6) 予約・取寄

貸出中図書や、他地区図書館の図書を取寄せることができます。申込み方法は、農工大OPACの検索画面からの申込みと、カウンターでの申込みの方法があります。

図書館ホームページの「貸出・予約状況照会」から、現在借りている図書や返却期限、予約した図書の状況などを確認できます。

7) 更新

貸出期間の延長は、利用者カードと資料を持参の上、カウンターにてお手続きください。(更新は1回まで)

返却期限を過ぎている場合、予約がかかっている場合、長期休業にかかる場合は更新はできません。

8) 返却

返却する本は、カウンターまで持参するか、返却ポストにお返しくください。

ポスト以外の場所に置き忘れたり、書架に直接返されると、返却手続きができません。ご注意ください。

\* ただし、雑誌・参考図書は直接カウンターで返却手続き後、ご自分で書架に戻してください。

\* AV資料は返却ポストではなく、カウンターに直接ご返却ください。

9) 紛失

資料を紛失した場合は、原則として同本で弁償していただきます。

紛失の原因となりますので、他人のカードで借りたり、又貸し等はお止めください。



## 6. 資料の探し方

### 1) 図書

図書は一部を除き、請求記号順(主題別)に、書架に並んでいます。

確認には農工大OPACをご利用ください。

eBook(電子ブック)も利用できます。OPACから検索するか、図書館ホームページの「eBook-電子ブック-」からご利用ください。

### 2) 雑誌

雑誌は、タイトルのアルファベット順に並んでいます。

最新号の受入状況等の確認には農工大OPACをご利用ください。

電子ジャーナルも利用できます。図書館ホームページの「A to Z(EJリスト)」をご覧ください。

### 3) 電子ジャーナル、データベース

図書館ホームページから、各種電子ジャーナルやデータベースなどが利用できます。

電子ジャーナル

Science Direct (Elsevier)

LINK (Springer)

InterScience (Wiley-Blackwell)

APS-ALL

Nature

J-STAGE (JST)

ACM Digital Library

日経BP記事検索サービス 等

データベース

Web of Science (自然科学)

CAB Abstracts (農学)

Journal Citation Reports (雑誌情報)

JDream II (科学技術・医薬)

SciFinder (化学)

MathSciNet (数学)

CiNii (国内学術論文)

聞蔵・朝日新聞オンライン記事データベース (新聞記事)

Japan Knowledge (百科事典類) 等

\* 館内に設置されている情報自習用(Mac)端末は、総合情報メディアセンターで発行されるIDとパスワードでご利用できます。

## 7. 本学にない場合は

### 1) 所蔵調査

他の図書館にあるかどうか、お調べください。

図書館ホームページから、NACSIS Webcat、Webcat Plus、NDL-OPACで、他大学や国会図書館の所蔵検索ができます。

### 2) 紹介状

他大学の図書館を利用する場合、紹介状が必要な図書館があります。

訪問の前にカウンターまでご相談ください。

国立大学法人に限り、学生証・職員証で閲覧利用が可能です。ただし、一部の大学では教職員と院生に限られます。

3) 他の図書館との提携

西東京地区5大学連携（電通大、一橋大、東京学芸大、東京外語大）：学生証・職員証で閲覧利用が可能です。

4) 購入希望

読みたい資料が図書館にない場合は、購入希望を受け付けます。カウンターまでお申し出ください。

8. 資料の複写

1) 館内複写(コピー)

図書館のコピー機では、著作権の範囲内（一人につき一部、全体の半分以下）で、図書館資料に限り複写することができます。

プリペイドカードは、生協でお求めください。

2) 文献複写・相互貸借

必要な資料が図書館にない場合、他機関から複写の取寄せや貸借が可能です。申込書に必要事項を記入し、カウンターまでお持ちください。

他機関への文献複写・貸借依頼は図書館ホームページからも申込みができます。図書館ホームページ「文献複写・貸借申込み(利用について)」をご参照ください。

9. その他のサービス

1) 参考調査

事柄の調査、文献検索、書誌調査のご相談などにも応じています。

2) 利用の受付

修士・博士学位論文等の閲覧申込み等

\* わからないことは、カウンターまでご相談ください。

10. 図書館の利用マナー

館内での飲食・喫煙は禁止です

携帯電話の使用は禁止、またマナーモードにしてください

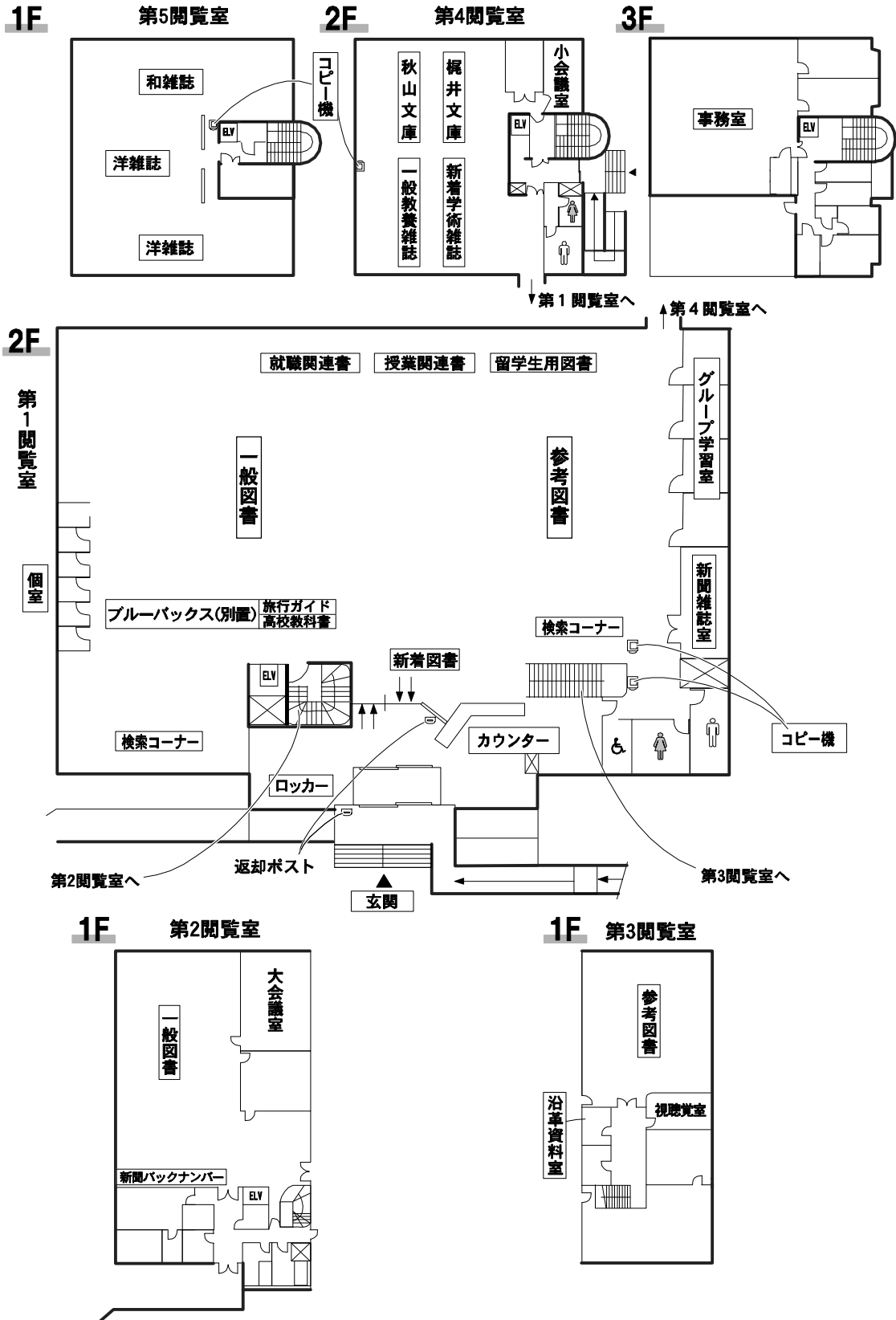
館内ではおしずかに

貴重品の管理は各自の責任でお願いします

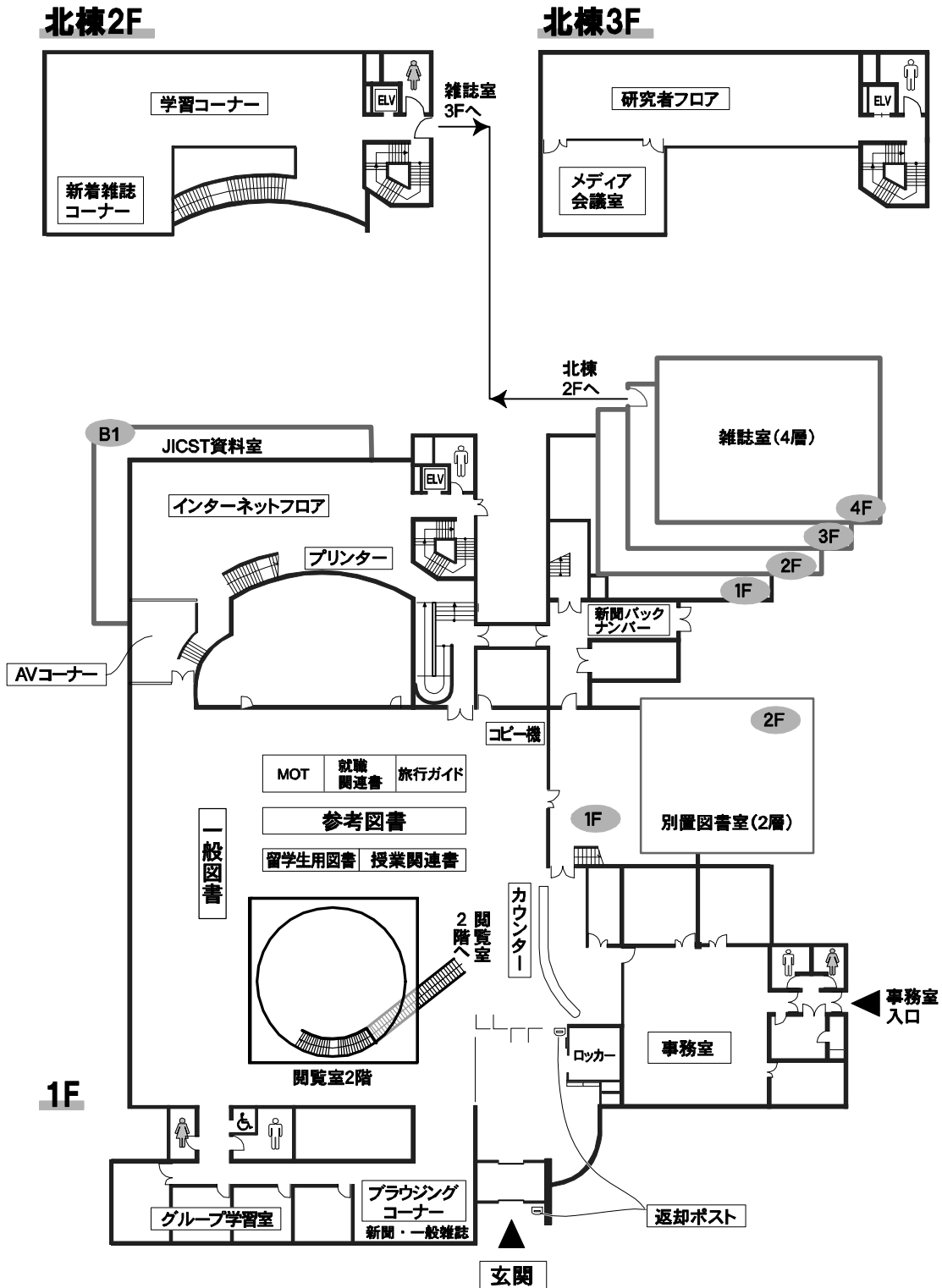
小金井図書館周辺は駐輪禁止です



# 府中図書館平面図



# 小金井図書館平面図



## 2. 総合情報メディアセンター

総合情報メディアセンターは、最新の情報通信技術を取り入れた学術情報基盤整備を推進する情報の中核センターとして発足しました。これまでに、本学の学生および教職員にとってより快適な情報環境の提供を目的に高速なキャンパスネットワークの管理運営、各種サービスを実現するサーバの管理運営のほか、キャンパス内の無線LANアクセスシステムのサービス、eラーニングシステムの拡充、遠隔教育用双方向ビデオ配信システムの拡充を進めてきました。情報通信技術の進展はご存知のように目を見張るものがあります。総合情報メディアセンターは常に最新の技術動向を調査研究し、質の高い研究および教育を支援する学術情報基盤の構築を目指して活動しています。

現在、本センターは小金井キャンパスに本部（8号館）、府中キャンパスに分室（新2号館2階）があります。センター内のPC教室ではキャンパスや端末を意識せずに同一の環境でWebメールサービス、Webアクセス、プログラミング、文書作成等を行うことができますようになっていました。この端末は図書館にも配置されています。また、複写機機能を装備した複合機プリンタを各所に用意しています。このプリンタはプリペイド方式を用いたデマンドプリンティング方式を採用しています。

PC教室や図書館などに配置されている端末の設置台数およびPC教室の開室時間は、下記の通りとなっています。

### 端末システム配置リストおよび開室時間

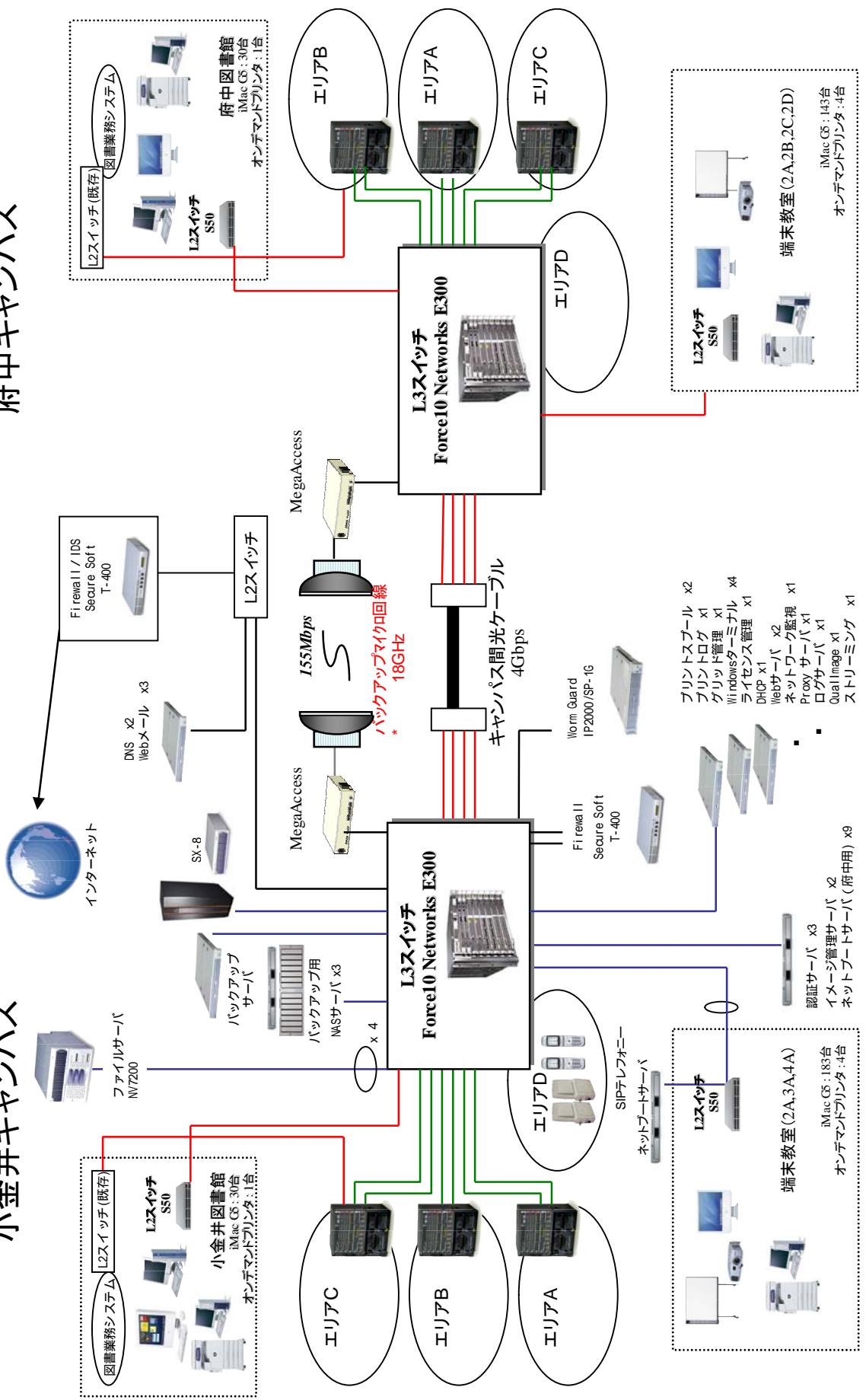
地区／建物名／部屋名		端末台数	複合プリンタ	通常開室 (授業期間)	短縮開室
		台	台		
<b>■ 小金井キャンパス</b>					
8号館	K2A端末室	61	1	8:30～ 19:45	8:30～17:00
	K3A端末室	61	2		
	K4A端末室	61	1		
図書館	インターネットフロア	30	1	図書館開館時間中	
生協	複写機コーナー	0	1	生協開店時間中	
<b>■ 府中キャンパス</b>					
新2号館	F2A端末室	69	2	8:30～ 19:45	8:30～17:00
	F2B端末室	33	1		
	F2C端末室	29	0		
	F2D端末室	12	1		
図書館	インターネットコーナー	30	1	図書館開館時間中	
生協	複写機コーナー	0	1	生協開店時間中	



# 総合情報メディアセンターシステム構成図

## 小金井キャンパス

## 府中キャンパス



### 3. 科学博物館

科学博物館は1886年（明治19年）に創設され、工学部の前身の試験場の参考品陳列場としてすでに機能を果たしていた日本有数の永い歴史を誇る博物館です。また正式の博物館をもつ大学は本学の他にいくつもなく、その点本学の顔として自慢できる存在でもあります。

館内は天然繊維・合成繊維などの繊維原料、これを糸にし、織り、編み、組むなどして布やニット、紐などにする工程、紐と結び、高分子化学とその製品、ニットのすべて、繊維機械のいろいろなどが展示してあります。

当館はタッチアンドトライ方式と称して、水に溶ける繊維の実験、紐を作る機械による紐作り、各種の結びの実習を自分で試して見るすることができます。

専門が違ふからなどと学生時代から狭い視野にならずに見学にきてください。繊維産業はどの国でも産業革命の先導的役割を果たしています。技術の発展の流れを掴むことが将来必ず役に立つものです。農学部の人もついでの際に、工学部の方は休講の時や昼休みにでも気軽に入ってきてください。必ず何か得るものがあり、ウチの学校にもこんなすてきなコーナーがあるのかと農工大を再認識することになると思います。



利 用 料 無料

展示会・講習会など 特別展（年2回） 当館の特別企画（年1～2回）  
作品展（年1回） サークル活動における作品を展示（2月）  
公開講座（年約10回） 一般教養・工学・科学にテーマを選び公演会形式で行なう  
講習会等（年約20回） 一般講習会・子供科学教室など

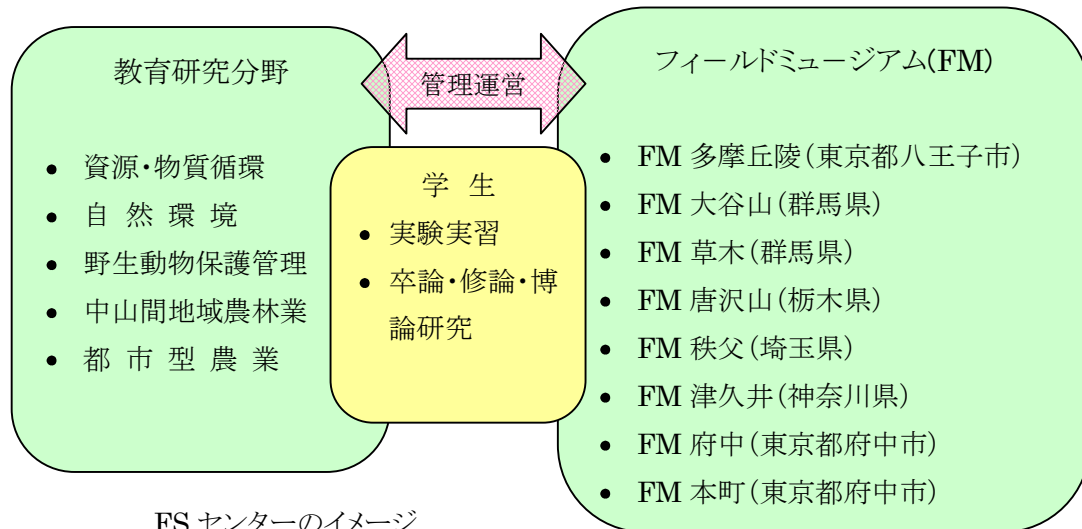
開 館 日 火曜～土曜 10：00～17：00（但し入館16：00まで）

休 館 日 日曜・月曜・祝日・5月31日（創立記念日）・月曜日が祝日の場合は翌日  
夏期 8 / 1～8 / 20 冬期 12 / 26～1 / 10

そ の 他 本学学生を対象に学芸員養成の課程があります。学芸員とは博物館専門職員の国家的資格であり、主に夏季の休暇中に集中開講しています。  
詳細は履修案内を参照して下さい。

## 4. 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

『広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（通称FSセンター）』は、森林や農耕地などのフィールドを主な領域として、総合的、学際的かつ実践的な教育・研究を行っている附属施設です。その構成は次図の通りで、5つの教育研究分野と8ヶ所のフィールドミュージアム（FM）から成り立っています。学生は、各学科の授業カリキュラムの中で実験実習の場として利用するだけでなく、卒業論文・修士論文・博士論文などの研究フィールドとしても利用することができます。



FSセンターのイメージ

FSセンターの前身は農場・演習林・波丘地実験実習施設の3施設で平成12年度（2000年）に統合されて生まれ変わりました。「フィールドミュージアム（FM）」という呼称は、大学の農場や森林が農林業生産だけでなく、学生や教員が「調べ、学び、発見し、成果を発信する」役割を持つことに由来しています。また、現在のところ週に1回ですが「夢市場」というFSセンターの生産物（野菜、果実、花、農産物加工品など）を販売する場を農学部構内に設け、地域交流も図っています。

以下にそれぞれのFMを紹介します。FM府中は農学部構内の農場を中心とした施設で、府中キャンパスの約半分の面積を占めています。研究棟群の間の道を抜けると、突然、目の前に緑の畑が広がり、「東京にこんな農場が！」と誰しも驚きます。初夏の麦秋、夏秋の野菜・果実類が季節の移り変わりを教えてくれます。また、ブルーベリーで有名な果樹園や花の絶えない温室、牛乳を毎日生産している近代的な牛舎もあります。



FM府中（畑）



FM本町（学生田植え実習）



FM本町は東京では希少価値のある水田農場（田んぼ）で、府中キャンパスから自転車で南へ15分のところにあります。面積は約3haで、実習履修者はコメ作りの理論を学ぶとともに、イネの種まき（4月）、田植え（6月、写真）、稲刈り（10月）などの作業を実際に体験できます。また、環境に優しいイネ栽培法、高収量品種の性質、空中窒素固定菌利用の可能性、田んぼに棲む水生生物などについて、FSセンター以外の教員や学生も参加して活発な研究を行っています。

また、東京都や動物園と連携した野生動物の保護治療、幼稚園・学校動物の飼育支援と治療、子供および高校生向けの教室開催などを、教育研究として推進しています（野生動物保護管理）。



FM府中（子供教室）



FM府中（生息適地で猛禽の放鳥）

FM津久井（9.5ha）は神奈川県相模原市津久井町の丹沢山塊を望む丘陵地にあります。以前は肉牛も飼育していましたが、現在は養蚕と加工農産物（ブルーベリー、大豆等）の生産拠点と位置づけ、中山間地域農林業に関する実習・研究を行っています。また、地元（葎尾根地区）住民との交流をはかる目的で、毎年11月下旬に交流会（お祭り）も開催しており、希望者は誰でも参加できます。

FM多摩丘陵（12.6ha）は八王子市郊外にあります。周囲は住宅地ですが、施設に入るとまるで山里のような環境です。そこには高さ30mの観測タワー、気象観測装置など種々の測定機器が設置されており、広域都市圏のフィールドサイエンスに関する様々な研究が活発に行われています。府中キャンパスから気軽に行ける場所なので、大気、水、土壌、樹木などに関心を持つ学生には見逃せないポイントです。



FM津久井（養蚕実習）



FM多摩丘陵（環境測定の拠点）



FM大谷山は、府中から約100km離れた群馬県みどり市東町にあります。面積は92haあり、その90%以上がスギ、ヒノキの人工林です。針葉樹の施業方法や森林生態系の物質循環などの森林科学の研究が行われており、さらに酸性雨のモニタリング調査など、地球環境に関する研究も続けられています。また、宿泊施設も完備されています。

FM草木は、草木ダムをはさんでFM大谷山の反対側にある415haの広く深い森林です。広葉樹が多く、樹木を含めて豊かな植物相があり、昆虫・哺乳類などの動物相も豊富です。この恵まれた地の利を生かして、自然環境に関する様々な教育・研究が行われています。



FM大谷山（宿泊施設）



FM草木（学生実習）

FM唐沢山は、府中から約100km離れた栃木県佐野市の名刹唐沢山神社に隣接した場所であり、面積162haの55%以上がスギ、ヒノキなどの人工林です。森林動植物・菌類の生態や森林気象、古生物などに関する教育研究が行われています。

手つかずの自然が最も残っているのはFM秩父です。林道の無い奥地に234haの急峻な山地があります。動植物相や食用きのこ類も豊富です。きのこやブナ林について、樹木フェノロジーの全国共同研究も行われています。実習や小規模な宿泊ゼミなどにも利用できます。



FM唐沢山



FM秩父

以上8ヶ所のFMを肌で感じるためのプログラムとしてFS実験実習（農学部共通専門科目）があります。是非これを履修してください。

各FMを利用したい場合は、FSセンター（事務室：電話042-367-5811）にご連絡ください。



Ⅲ  
本学の概要

## 1. 歴代学長 / 歴代教育担当副学長

### 歴代学長

代 数	氏 名	在 職 期 間
初 代	田 中 丑 雄	昭和24年 5月31日~昭和30年 7月31日
(事務取扱)	中 島 道 郎	昭和30年 8月 1日~昭和30年12月19日
第2代	吉 田 正 男	昭和30年12月20日~昭和34年12月19日
(事務取扱)	北 尾 淳一郎	昭和34年12月20日~昭和35年 2月 9日
第3代	井 上 吉 之	昭和35年 2月10日~昭和41年 2月 9日
第4代	近 藤 頼 巳	昭和41年 2月10日~昭和47年 2月 9日
(事務取扱)	諸 星 静次郎	昭和47年 2月10日~昭和48年 3月31日
第5代	福 原 満洲雄	昭和48年 4月 1日~昭和54年 3月31日
第6代	諸 星 静次郎	昭和54年 4月 1日~昭和60年 3月31日
(事務取扱)	松 本 正 雄	昭和60年 4月 1日~昭和60年 4月30日
第7代	喜 多 勲	昭和60年 5月 1日~平成元年 4月30日
第8代	阪 上 信 次	平成元年 5月 1日~平成7年 4月30日
第9代	梶 井 功	平成7年 5月 1日~平成13年 4月30日
第10代	宮 田 清 藏	平成13年 5月 1日~平成17年 4月30日
第11代	小 畑 秀 文	平成17年 5月 1日~

### 歴代教育担当副学長

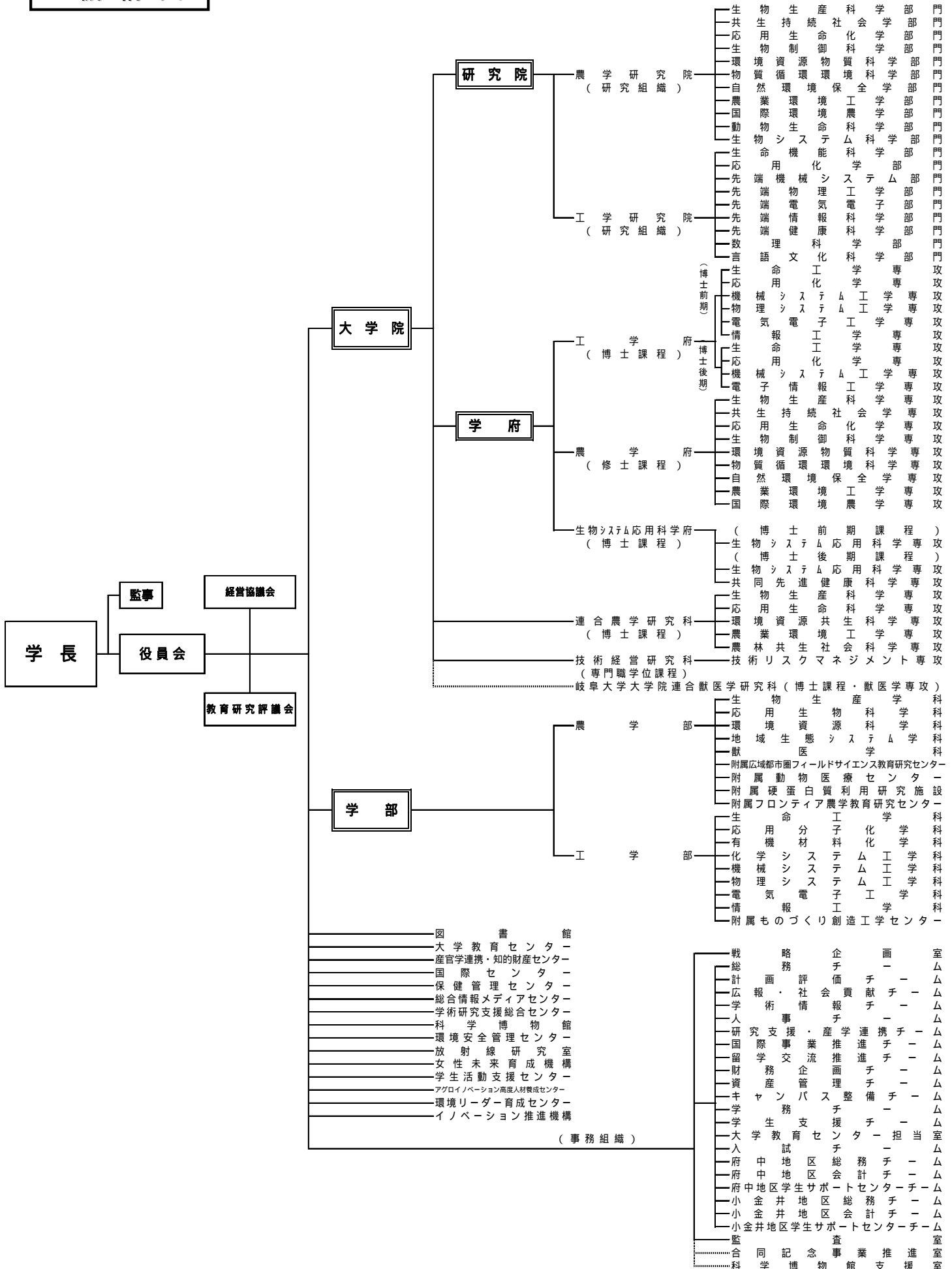
氏 名	在 職 期 間
福 嶋 司	平成12年 4月 1日~平成13年 4月30日
松 岡 正 邦	平成13年 5月 1日~平成15年 4月30日
神 田 尚 俊	平成15年 5月 1日~平成17年 4月30日
佐 藤 勝 昭	平成17年 5月 1日~平成19年 4月30日
笹 尾 彰	平成19年 5月 1日~



## 2. 沿革略図

沿革			
明治7年(1874)		内務省勸業寮内藤新宿出張所 農事修学場	蚕業試験掛
明治10年(1877)	内務省樹木試験場		
明治11年(1878)		駒場農学校	
明治14年(1881)	農商務省樹木試験場	農商務省駒場農学校	
明治15年(1882)	農商務省東京山林学校		
明治17年(1884)			農商務省蚕病試験場
明治19年(1886)	農商務省東京農林学校		
明治20年(1887)			蚕業試験場
明治23年(1890)	帝国大学農科大学乙科		
明治24年(1891)			農商務省仮試験場蚕事部
明治26年(1893)			蚕業試験場
明治29年(1896)			蚕業講習所
明治31年(1898)	帝国大学農科大学実科		
明治32年(1899)			東京蚕業講習所
大正3年(1914)			東京高等蚕糸学校
大正8年(1919)	東京帝国大学農学部実科		
昭和10年(1935)	東京高等農林学校(現在地の府中へ実科独立・移転)		
昭和15年(1940)			(現在地の小金井へ移転)
昭和19年(1944)	東京農林専門学校		東京繊維専門学校
昭和24年(1949)	東京農工大学(農学部・繊維学部)を設置		
昭和37年(1962)	繊維学部を工学部に改称		
昭和40年(1965)	大学院農学研究科(修士課程)を設置		
昭和41年(1966)	大学院工学研究科(修士課程)を設置		
昭和60年(1985)	大学院連合農学研究科(博士課程)を設置		
平成元年(1989)	大学院工学研究科(修士課程)を工学研究科(博士前期・後期課程)に改組		
平成7年(1995)	大学院生物システム応用科学研究所(博士前期・後期課程)を設置		
平成16年(2004)	国立大学法人東京農工大学に移行		
平成16年(2004)	大学院(農学研究科、工学研究科、生物システム応用科学研究所)を改組し、共生科学技術研究部(研究組織)及び農学教育部、工学教育部、生物システム応用科学教育部(教育組織)に再編		
平成17年(2005)	専門職大学院技術経営研究科(専門職学位課程)を設置		
平成18年(2006)	大学院(共生科学技術研究部、工学教育部、農学教育部、生物システム応用科学教育部)の名称を共生科学技術研究院、工学府、農学府、生物システム応用科学府に変更		
平成22年(2010)	大学院共生科学技術研究院(研究組織)を改組し、農学研究院及び工学研究院に再編		

### 3. 機構図



## 4. 卒業・修了者数

平成21年度卒業・修了者数（内訳）

### 学部

区分	平成21年3月31日までの累計	平成21年度卒業者									卒業者累計
		6月卒業			3月卒業			H21年度計			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
<b>農学部</b>											
生物生産学科	1,008				41	24	65	41	24	65	1,073
応用生物科学科	886				40	31	71	40	31	71	957
環境資源科学科	778				40	34	74	40	34	74	852
地域生態システム学科	948				41	45	86	41	45	86	1,034
獣医学科	729				24	14	38	24	14	38	767
応用生物科学科	608										608
環境・資源学科	593										593
農学科	1,437										1,437
林学科	1,347										1,347
獣医学科	1,060										1,060
農芸化学科	1,346										1,346
農業工学科	874										874
蚕系生物学科	861										861
植物防疫学科	763										763
林産学科	870										870
環境保護学科	785										785
<b>計</b>	<b>14,893</b>				<b>186</b>	<b>148</b>	<b>334</b>	<b>186</b>	<b>148</b>	<b>334</b>	<b>15,227</b>
<b>工学部</b>											
生命工学科	1,020				60	22	82	60	22	82	1,102
応用分子化学科	309				39	14	53	39	14	53	362
有機材料化学科	293	1		1	40	7	47	41	7	48	341
化学システム工学科	259				30	13	43	30	13	43	302
機械システム工学科	2,452				120	12	132	120	12	132	2,584
物理システム工学科	449	1		1	50	6	56	51	6	57	506
電気電子工学科	918				100	7	107	100	7	107	1,025
情報コミュニケーション工学科	608	1		1	12	1	13	13	1	14	622
情報工学科	-				59	7	66	59	7	66	66
応用化学科	779										779
電子情報工学科	2,162										2,162
物質生物工学科	1,360										1,360
高分子工学科	1,173										1,173
材料システム工学科	1,329										1,329
工業化学科	1,507										1,507
機械工学科	1,521										1,521
電気工学科	1,228										1,228
化学工学科	971										971
応用物理学科	844										844
電子工学科	817										817
生産機械工学科	596										596
数理情報工学科	501										501
資源応用化学科	398										398
機械システム工学科	286										286
繊維化学科	303										303
<b>計</b>	<b>22,083</b>	<b>3</b>		<b>3</b>	<b>510</b>	<b>89</b>	<b>599</b>	<b>513</b>	<b>89</b>	<b>602</b>	<b>22,685</b>
<b>合計</b>	<b>36,976</b>	<b>3</b>		<b>3</b>	<b>696</b>	<b>237</b>	<b>933</b>	<b>699</b>	<b>237</b>	<b>936</b>	<b>37,912</b>

### 博士論文

区分	6月	9月	12月	3月	計
工学府				2	2
生物システム応用科学府					
連合農学研究科		2		6	8
<b>計</b>		<b>2</b>		<b>8</b>	<b>10</b>

# 大学院

区分	平成21年3月 31日までの 累計	平成21年度修了者															修了者 累計	
		6月修了			9月修了			12月修了			3月修了			H21年度計				
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
<b>農学府</b>																		
生物生産科学専攻	201				1		1					21	8	29	22	8	30	231
共生持続社会学専攻	148											5	9	14	5	9	14	162
応用生命化学専攻	230											19	15	34	19	15	34	264
生物制御科学専攻	200											18	8	26	18	8	26	226
環境資源物質科学専攻	117											9	1	10	9	1	10	127
物質循環環境科学専攻	178											11	6	17	11	6	17	195
自然環境保全学専攻	165											12	7	19	12	7	19	184
農業環境工学専攻	97											4	6	10	4	6	10	107
国際環境農学専攻	319				11	10	21					10	7	17	21	17	38	357
生物生産学専攻	129																	129
応用生物科学専攻	297																	297
環境・資源学専攻	225																	225
農学専攻	285																	285
林学専攻	181																	181
獣医学専攻	303																	303
農芸化学専攻	308																	308
農業工学専攻	214																	214
蚕糸生物学専攻	132																	132
植物防疫学専攻	214																	214
林産学専攻	198																	198
環境保護学専攻	186																	186
<b>修士課程 計</b>	<b>4,327</b>				<b>12</b>	<b>10</b>	<b>22</b>					<b>109</b>	<b>67</b>	<b>176</b>	<b>121</b>	<b>77</b>	<b>198</b>	<b>4,525</b>
<b>連合農学研究科</b>																		
生物生産学専攻	512				11	5	16					6	4	10	17	9	26	538
生物工学専攻	195				3	3	6					3		3	6	3	9	204
資源・環境学専攻	175				5	1	6					1		1	6	1	7	182
生物生産科学専攻	-											10	3	13	10	3	13	13
応用生命科学専攻	-											2		2	2		2	2
環境資源共生科学専攻	-											2	4	6	2	4	6	6
農業環境工学専攻	-												1	1		1	1	1
農林共生社会学専攻	-											3	3	6	3	3	6	6
<b>博士課程 計</b>	<b>882</b>				<b>19</b>	<b>9</b>	<b>28</b>					<b>27</b>	<b>15</b>	<b>42</b>	<b>46</b>	<b>24</b>	<b>70</b>	<b>952</b>
<b>工学府</b>																		
高分子工学専攻	122																	122
材料システム工学専攻	159																	159
工業化学専攻	254																	254
機械工学専攻	210																	210
電気工学専攻	150																	150
化学工学専攻	176																	176
応用物理学専攻	178																	178
電子工学専攻	169																	169
生産機械工学専攻	98																	98
数理情報工学専攻	102																	102
資源応用科学専攻	79																	79
機械システム工学専攻	33																	33
<b>修士課程 計</b>	<b>1,730</b>																	<b>1,730</b>
生命工学専攻	506					1	1					39	24	63	39	25	64	570
応用化学専攻	695											56	13	69	56	13	69	764
機械システム工学専攻	1,171											57	5	62	57	5	62	1,233
物理システム工学専攻	171											16	5	21	16	5	21	192
電気電子工学専攻	367					1	1					76	7	83	76	8	84	451
情報コミュニケーション工学専攻	139																	139
情報工学専攻	79											53	2	55	53	2	55	134
電子情報工学専攻	1,252																	1,252
物質生物工学専攻	869																	869
<b>博士前期課程 計</b>	<b>5,249</b>				<b>2</b>	<b>2</b>						<b>297</b>	<b>56</b>	<b>353</b>	<b>297</b>	<b>58</b>	<b>355</b>	<b>5,604</b>
生命工学専攻	99	2		2	3	2	5	2	1	3	7	6	13	14	9	23	23	122
応用化学専攻	81	1		1	2		2				17	3	20	20	3	23	23	104
機械システム工学専攻	123	2		2							5		5	7		7	7	130
電子情報工学専攻	189	1		1	1		1				7	2	9	9	2	11	11	200
物質生物工学専攻	135																	135
<b>博士後期課程 計</b>	<b>627</b>	<b>6</b>		<b>6</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>36</b>	<b>11</b>	<b>47</b>	<b>50</b>	<b>14</b>	<b>64</b>	<b>64</b>	<b>691</b>
<b>計</b>	<b>7,606</b>	<b>6</b>		<b>6</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>333</b>	<b>67</b>	<b>400</b>	<b>347</b>	<b>72</b>	<b>419</b>	<b>419</b>	<b>8,025</b>
<b>生物システム応用科学府</b>																		
生物システム応用科学専攻	941				1	2	3					50	11	61	51	13	64	1,005
<b>博士前期課程 計</b>	<b>941</b>				<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>					<b>50</b>	<b>11</b>	<b>61</b>	<b>51</b>	<b>13</b>	<b>64</b>	<b>1,005</b>
生物システム応用科学専攻	168				3	1	4	1		1	13		13	17	1	18	18	186
<b>博士後期課程 計</b>	<b>168</b>				<b>3</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>13</b>		<b>13</b>	<b>17</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>18</b>	<b>186</b>
<b>計</b>	<b>1,109</b>				<b>4</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>63</b>	<b>11</b>	<b>74</b>	<b>68</b>	<b>14</b>	<b>82</b>	<b>82</b>	<b>1,191</b>
<b>技術経営研究科</b>																		
技術リスクマネジメント専攻	139											40	1	41	40	1	41	180
<b>計</b>	<b>139</b>											<b>40</b>	<b>1</b>	<b>41</b>	<b>40</b>	<b>1</b>	<b>41</b>	<b>180</b>
<b>合計</b>	<b>14,063</b>	<b>6</b>		<b>6</b>	<b>41</b>	<b>26</b>	<b>67</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>572</b>	<b>161</b>	<b>733</b>	<b>622</b>	<b>188</b>	<b>810</b>	<b>810</b>	<b>14,873</b>

# IV

教職課程について

# 教職課程について

## 1 教育職員免許状取得の意義

中学校及び高等学校の教員となるには、教育職員免許法、同施行規則及び本学学則の定めるところにより、所定の基礎資格を修得し、かつ、教育職員免許状を取得するための定められた単位を修得することによって、免許状を授与されるに必要な要件を満たし、教育職員免許状を取得しなければならない。

公立学校の教員となるには、各都道府県教育委員会等が実施する教員採用候補者選考試験に合格し(登録され)採用されて、はじめて教員となることができる。

私立学校については別途個別に教員採用試験が実施されている。

なお、教育職員免許状は、一定の欠格条項(教育職員免許法第5条)該当者には授与されず、これに該当するに至った場合には、その有する免許状は効力を失うことになるので注意すること。

(注)「教育職員免許法」第5条第1項第3号から第7号までの規定

(欠格条項)

- 3号 成年被後見人又は被保佐人
- 4号 禁錮以上の刑に処せられた者
- 5号 免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 6号 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 7号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 2 教職課程の設置

東京農工大学の学部及び大学院には、その学科、専攻ごとに教育職員免許法に基づいて、中学校及び高等学校の教育職員免許状を取得するための課程が設置されている。

この課程において定められた科目の単位を修得すれば、教育職員免許状を取得することができる。

## 3 教育職員免許状の取得できる学部・学科等ごとの免許状の種類

(学部の場合)

学 部 ・ 学 科		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
農学部	生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 獣医学科	理科コースの単位を 修得した場合	理 科
		農業コースの単位を 修得した場合	農 業
工学部	生命工学科 応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科 機械システム工学科 電気電子工学科	理 科	理 科
		数 学	数 学
	物理システム工学科	理 科	理 科
		数 学	数 学
情報工学科		情 報	

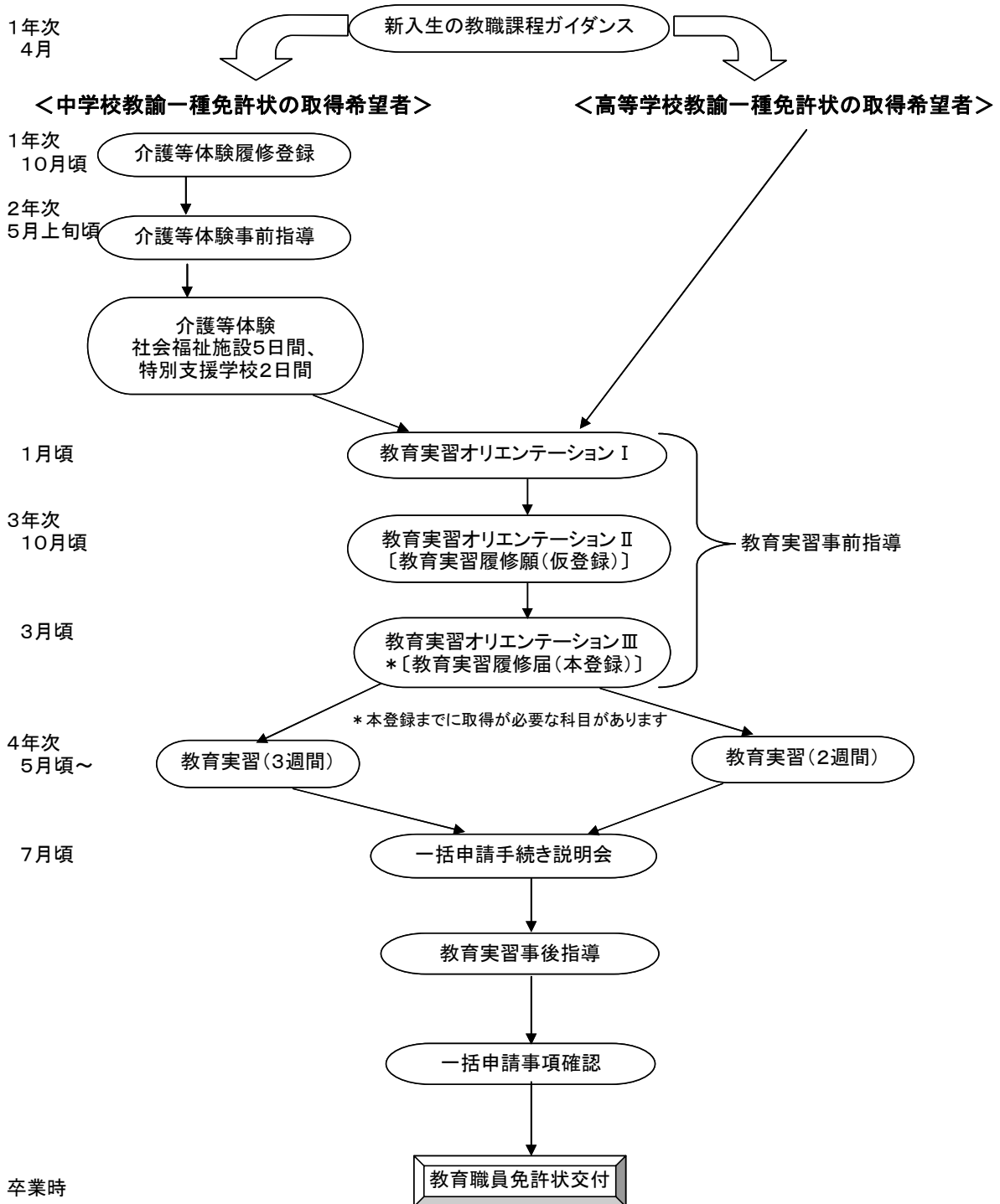
(大学院の場合)

学 府 ・ 専 攻		中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状
工 学 府 博 士 前 期 課 程	生 命 工 学 専 攻 応 用 化 学 専 攻 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻 電 気 電 子 工 学 専 攻		理 科
	物 理 シ ス テ ム 工 学 専 攻	数 学	数 学
	情 報 工 学 専 攻		情 報
農 学 府	生 物 生 産 科 学 専 攻 共 生 持 続 社 会 学 専 攻 応 用 生 命 化 学 専 攻 生 物 制 御 科 学 専 攻 環 境 資 源 物 質 科 学 専 攻 物 質 循 環 環 境 科 学 専 攻 自 然 環 境 保 全 学 専 攻 農 業 環 境 工 学 専 攻 国 際 環 境 農 学 専 攻	理 科 分 野 の 単 位 を 修 得 し た 場 合	理 科
	生 物 生 産 科 学 専 攻 共 生 持 続 社 会 学 専 攻 自 然 環 境 保 全 学 専 攻 農 業 環 境 工 学 専 攻 国 際 環 境 農 学 専 攻	農 業 分 野 の 単 位 を 修 得 し た 場 合	
生 物 シ ス テ ム 応 用 科 学 府 博 士 前 期 課 程	生 物 シ ス テ ム 応 用 科 学 専 攻	理 科	理 科

(注) 大学院の専修免許状の取得は、大学院の課程において取得できる専修免許状と同一の免許教科の  
中学校教諭一種免許状又は高等学校教諭一種免許状の取得資格を有する場合に限られる。



## 4 教員免許状取得までの流れ



..... 参 考 .....

教員採用関係

- 5月 受検申請
- 7月 第1次選考検査
- 8月 第2次選考検査
- 9~10月 登録発表
- 10月~ 臨時採用登録申請(県教育委員会)
- 4月 採用

## 5 教職課程の履修と手続き等

教職に関する科目、教科に関する科目、施行規則第66条の6に定める科目は、それぞれ各学部で行われる授業を確認し、通常の授業の履修手続きによって履修すること。

教育実習は、事前にオリエンテーションを受講し、履修届を提出して履修することとなるので特に注意することが必要である。

また、教職に関する科目及び教科に関する科目のうち、集中講義で行われる科目があるので、別途掲示される開講日時等に特に注意すること。

教職に関する科目のうち、隔年開講(毎年開講されない)となり、入学年度により履修できる年次が異なる科目があるので特に注意すること。詳細については、「6 教育職員免許状の取得のための課程で履修する科目・単位数等」を参照すること。

※教科に関する科目、教科又は教職に関する科目、施行規則第66条の6に定める科目は卒業要件に入るが教職に関する科目は卒業要件単位とならないので注意すること。

## 6 教育職員免許状の取得のための課程で履修する科目・単位数等

免許状取得に必要な所要資格は、表1に示すとおり。

一種免許状は、基礎資格を得ること及び必要単位等を修得することにより、取得することができる。

専修免許状は、①基礎資格を得ること

②同一学校種・同一教科の一種免許状取得に必要な条件を学部授業科目の単位取得等によって満たすこと

③大学院の授業科目で取得希望免許教科の「教科に関する科目」に認定されている科目を24単位以上修得すること

により、取得することができる。

【表1】

免許状の種類	所要資格	基礎資格	施行規則第66条の6に定める科目							
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目 <sup>a)</sup>	日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	介護等体験
			⇒(4)	⇒(2)	⇒(3)	⇒(1)				⇒(7)
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8	2	2	2	2	必要	
高等学校教諭一種免許状		20	25 <sup>b)</sup>	16	2	2	2	2	—	
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	/	/	/	/	/	/	* <sup>c)</sup>	
高等学校教諭専修免許状		24	/	/	/	/	/	/	—	
根拠となる法令		ア			イ				ウ	

ア 教育職員免許法第五条別表第一

イ 教育職員免許法施行規則第六六条の六

ウ 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律

a) 「教科又は教職に関する科目」

下記①と②の合計が必要単位数を満たすよう修得すること。

①「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」で修得した単位のうち、それぞれの科目の最低修得単位数を超えて修得した単位数。

②本学が指定する「教科又は教職に関する科目」→6(3) 参照

b) 「教職に関する科目25単位」

免許法上、23単位となっているが、「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」を〈免許法上:高校6単位〉⇒〈本学:高校8単位〉とし、「教職に関する科目」の必要単位数を25単位とする。

c) 介護等体験の「\*」

既に中学校の免許状を取得しているもの(平成10年3月31日までに在学し、卒業するまでに所要資格を得た者を含む)は不要。

取得する教育職員免許状の種類ごとに、次の科目の単位を修得する。

### (1) 施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		本学の左記に対応する区分、単位数並びに科目			
科目名	単位数		農学 部	工 学 部	単位数
日本国憲法	2	全学共通教育科目	日本国憲法	日本国憲法	2
体 育	2		体力学実技	体力学実技	2単位以上
			生涯スポーツ実技	生涯スポーツ実技	
			スポーツ健康科学理論	スポーツ健康科学理論	
外国語コミュニケーション	2		別表のとおり	別表のとおり	2単位以上
情報機器の操作	2	専門基礎科目及び専門科目	情報処理学	(生命工学科) バイオインフォマティクス基礎	2
				(応用分子化学科) コンピュータ基礎	
				(有機材料化学科) プログラミング基礎	
				(化学システム工学科) 情報科学基礎	
				(機械システム工学科) コンピュータプログラミング I CAD演習	
				(物理システム工学科) コンピュータ解析および演習	
				(電気電子工学科) プログラミングおよび演習	
				(情報工学科) コンピュータ序論	

注1) 日本国憲法2単位は教育実習の履修届を提出する時(3年次終了時)までに修得すること。

注2) 体育については、3単位以上修得することが望ましい。

### 別 表 免許法に定める科目「外国語コミュニケーション」

農学 部	全 学 科	イングリッシュ・コミュニケーション I イングリッシュ・コミュニケーション II
工 学 部	生 命 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科	リーディング・ベイシックス ライティング・ベイシックス イングリッシュ・コミュニケーション I イングリッシュ・コミュニケーション II
	応 用 分 子 化 学 科 有 機 材 料 化 学 科 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科	リーディング・ベイシックス ライティング・ベイシックス
	物 理 シ ス テ ム 工 学 科	リーディング・ベイシックス ライティング・ベイシックス アドヴァンスト・リーディング
	情 報 工 学 科	イングリッシュ・コミュニケーション I イングリッシュ・コミュニケーション II

## (2)教職に関する科目

免許法科目	科目名	単位数	履修上の留意事項		履修年次		
教職の意義等に関する科目(2単位)	教 職 概 論	2	必修	隔年開講	1・2		
教育の基礎理論に関する科目(6単位)	教 育 原 理	2	必修	隔年開講	1・2		
	教 育 心 理 学	2	必修	隔年開講	1・2		
	教 育 制 度 論	2	必修	隔年開講	1・2		
教育課程及び指導法に関する科目 (中学12単位) (高校 6単位)	教 育 課 程 論	2	必修	隔年開講	1・2		
	数学教育法Ⅰ	2	該 当 教 科 教 育 法 に つ い て は 必 修	<p>数学教育法ⅠⅡⅢⅣはこの順番に毎年度1つずつ開講される。中学校免許状を取得する者はこれらから2つ以上を履修すること。 高校免許状を取得する者はどれか1つでよいが、2つ以上履修することが望ましい。</p> <p>理科教育法ⅠⅡⅢⅣは奇数年度にⅡとⅣが、偶数年度にⅠとⅢが開講され、以後この組合せで同じ授業が隔年開講される。中学校免許状を取得する者はこれらから2つ以上を履修すること。 高校免許状を取得する者はどれか1つでよいが、2つ以上履修することが望ましい。</p> <p>農業教育法はⅠ・Ⅱとも毎年開講されるが、Ⅰから先に履修すること。 免許状取得にはⅠだけでよいが、できればⅡもあわせて履修することが望ましい。</p> <p>情報教育法ⅠⅡは隔年開講される。免許状取得にはⅠ又はⅡのどちらかだけでよいが、できれば両方とも履修することが望ましい。</p>	1・2・3		
	数学教育法Ⅱ	2					
	数学教育法Ⅲ	2					
	数学教育法Ⅳ	2			2・3		
	理科教育法Ⅰ	2					
	理科教育法Ⅱ	2					
	理科教育法Ⅲ	2			1・2・3		
	理科教育法Ⅳ	2					
	農業教育法Ⅰ	2			1・2・3・4		
	農業教育法Ⅱ	2					
	情報教育法Ⅰ	2			1・2・3		
	情報教育法Ⅱ	2					
	道徳教育の研究	2			中学校教諭一種免許状を取得する者は必修	隔年開講	1・2
	特 別 活 動 論	2			必修	毎年開講【集中】	3・4
教育方法・技術論	2	選択必修			隔年開講	1・2	
情 報 教 育 論	2		隔年開講【集中】	1・2・3・4			

免許法科目	科目名	単位数	履修上の留意事項		履修年次
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 (4単位)	生徒指導・進路指導論	2	必修	隔年開講	1・2
	教育カウンセリング論	2		毎年開講【集中】	1・2
教職実践演習 (2単位)	教職実践演習	2	必修	4年次履修	4
教育実習 (中学 5単位) (高校 3単位)	教育実習事前事後指導	1	必修	○教育実習事前指導は、2年次から履修します。 ○教育実習は、4年次に履修します。 ○教育実習は、教育実習事前指導を受講していなければ履修できません。 ○教育実習の単位取得(成績評価)は、事前指導、実習校での実習及び事後指導のすべてを総合して行います。	2・3・4
	中学校教育実習	4	該当免許により必修		4
	高等学校教育実習	2			

(注)

1. 中学校教諭1種免許状を取得する者は、教職に関する科目から必修科目を含め31単位以上を修得しなければならない。
2. 高等学校教諭1種免許状を取得する者は、教職に関する科目から必修科目を含め25単位以上を修得しなければならない。
3. 教育課程及び指導法に関する科目「高校6単位」となっているが、本学では「高校8単位」を履修すること。

### (3)教科又は教職に関する科目

科目名	単位数	履修上の留意事項
現代倫理論	2	左記「教科又は教職に関する科目」又は最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」を併せて、中学校免許状を取得する者は8単位以上、高校免許状を取得する者は16単位以上を修得すること。
現代宗教論	2	
多文化共生論	2	
ジェンダー論	2	
共生社会政策論	2	
国際平和論	2	
哲学	2	
文学・芸術学	2	
心理学	2	
教育学	2	
経済学	2	
社会学	2	
歴史学	2	

### (4)教科に関する科目

ア 農学部において中学校教諭一種、高等学校教諭一種の理科の免許状を取得する場合

生物生産学科															
免許法	左欄に対応する学科開設科目			免許法	左欄に対応する学科開設科目										
科目区分	授業科目		単位数	科目区分	授業科目										
物理学	○物	理	学	2	生物学	○細胞生物化学	2								
	電	磁	気	2		○遺	伝	学	2						
	力		学	2		植	物	育	種	学	2				
	科		史	2		植	物	栄	養	学	2				
物理学実験	△物	理	学	1		植	物	生	態	生	理	学	2		
化学	化		学	2		園	芸	学	I	2					
	○無	機	化	2		植	物	生	理	学	2				
	○物	理	化	A		2	植	物	生	態	学	2			
	○物	理	化	B		2	家	畜	形	態	・	生	理	学	2
	○有	機	化	学		2	家	畜	育	種	学	2			
	遺	伝	子	細	胞	工	学	学	2						
	分	析	科	学	2	家	畜	繁	殖	学	2				
生		化	学	2	農	業	昆	虫	学	II	2				
化学実験	△化	学	実	験	1	生物学実験	△生	物	学	実	験	1			
生物学	○生	物	学	2	地学	○地	球	環	境	地	学	2			
	生	物	態	学		2	地	球	環	境	地	学	2		
	生	物	構	造		機	能	学	2	環	境	気	象	学	2
	微	生	物	学	2	地学実験	△地	学	実	験	1				

応用生物科学科														
免許法	左欄に対応する学科開設科目			免許法	左欄に対応する学科開設科目									
科目区分	授業科目		単位数	科目区分	授業科目									
物理学	○物	理	学	2	化学実験	△応用生物科学共通実験I	1							
	力		学	2		△応用生物科学専門実験I	1							
	電	磁	気	2		△応用生物科学専門実験III	1							
	科		史	2		△応用生物科学専門実験V	1							
物理学実験	△物	理	学	1	生物学	○生	物	学	2					
化学	化		学	2		生	物	態	学	2				
	○無	機	化	学		2	生	物	構	造	機	能	学	2
	○物	理	化	A		2	微	生	物	学	2			
	○有	機	化	I		2	○細胞生物化学	2						
	分	析	化	I		2	○遺	伝	学	2				
	分	析	化	II		2	分	子	生	物	学	I	2	
	有	機	化	II		2	分	子	生	物	学	II	2	
	生	化	学	I		2	神	経	生	物	学	2		
	生	化	学	II		2	免	疫	生	物	学	2		
	遺	伝	子	工	学	2	発	生	生	物	学	2		
	生	化	学	III	2	生物学実験	△生	物	学	実	験	1		
	微	生	物	生	化		学	2	△応用生物科学共通実験II	1				
	有	機	化	学	III		2	△応用生物科学専門実験II	1					
	有	機	合	成	化		学	2	△応用生物科学専門実験IV	1				
天	然	物	有	機	化		学	2	△応用生物科学専門実験VI	1				
生	理	活	性	物	質	化	学	2	地学	○地	球	学	2	
化学実験	△化	学	実	験	1	地学実験	△地	球		学	実	験	1	

環境資源科学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○物理化学	2	生物学	○生物物理学	2
	○電磁気学	2		○生態学	2
	○力学	2		○生物構造機能学	2
	○環境計測学	2		○微生物学	2
	○資源高分子物理学	2		○細胞生物化学	2
	○工マテリアル学	2		○遺伝学	2
	○資源材料・構造力学	2		○生態系保全学	2
	○環境資源学	2		○環境微生物学	2
物理学実験	△物理学実験	1		○樹木生態生理学	2
	△環境資源科学実験Ⅰ(物理学応用)	1		○植物組織形態制御学	2
化学	○無機化学	2	生物学実験	△生物学実験	1
	○物理化学A	2		△環境資源科学実験Ⅲ(生物学応用)	1
	○物理化学B	2	地学	○地球環境地学	2
	○有機化学	2		○地球環境地学	2
	○環境分析化学	2		○大気化学	2
	○機器分析化学	2		○大気化学	2
	○分子動態化学	2		○水圏環境学	2
	○地球化学	2		○地圏環境学	2
	○水溶液化学	2		○大気環境学	2
	○資源高分子化学	2		○環境気象学	2
○環境資源有機化学	2	○環境資源土壌学	2		
化学実験	△化学実験	1	地学実験	△地学実験	1
	△環境資源科学実験Ⅱ(化学応用)	1		△環境資源科学実験Ⅳ(地学応用)	1

地域生態システム学科						
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目		
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数	
物理学	○物理化学	2	生物学	○細胞生物化学	2	
	○電磁気学	2		○遺伝学	2	
	○力学	2		○植物生理学	2	
	○環境計測学	2		○植生管理学	2	
	○資源高分子物理学	2		○森林生態学	2	
	○工マテリアル学	2		○動物環境生理学	2	
	○資源材料・構造力学	2		○環境生理生態学	2	
	○環境資源学	2		○景観生態学	2	
	物理学実験	△物理学実験		1	○土壌生態管理学	2
		△環境資源科学実験Ⅰ(物理学応用)		1	○比較行動学	2
化学	○無機化学	2	生物学実験	△生物学実験	1	
	○物理化学A	2		△野生動物保全学実習	1	
	○物理化学B	2		△植生管理学実習	1	
	○有機化学	2		△比較行動学実習・実習	1	
	○環境分析化学	2		△育林学実習	2	
	○機器分析化学	2		△森林保護・樹木医学実習	2	
化学実験	△化学実験	1	地学	○地球環境地学	2	
	△森林土壌学実験・実習	1		○地測地学Ⅰ	2	
生物学	○生物物理学	2		○地測地学Ⅱ	2	
	○生態学	2		○森林立地学	2	
	○生物構造機能学	2	地学実験	△地学実験	1	
	○微生物学	2		△地測地学実習Ⅰ	1	
				△地測地学実習Ⅱ	1	



獣医学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○物 理 学	2	生物学	○獣 医 組 織 学 I	1
	力 学	2		○獣 医 組 織 学 II	2
	電 磁 気 学	2		○獣 医 生 理 学 I	2
	科 学 史	2		○獣 医 生 理 学 II	2
物理学実験	△物 理 学 実 験	1		○獣 医 生 理 学 III	2
化学	化 学	2		○獣 医 微 生 物 学 I	2
	無 機 化 学	2		○獣 医 微 生 物 学 II	2
	物 理 化 学 A	2		○獣 医 微 生 物 学 III	2
	○有 機 化 学	2		畜 産 学 総 論	2
	○獣 医 生 化 学	2		生物学実験	△獣 医 解 剖 学 実 習
	○獣 医 薬 理 学 I	2	△獣 医 組 織 学 実 習		1
○獣 医 薬 理 学 II	2	△獣 医 生 理 学 実 習	1		
家 畜 飼 養 学	2	△獣 医 微 生 物 学 実 習	1		
化学実験	△獣 医 生 化 学 実 習	1	地 学	○地 学	2
	△獣 医 薬 理 学 実 習	1		地 球 環 境 地 学	2
生物学	○生 物 学	2	地学実験	△地 学 実 験	1
	○獣 医 解 剖 学 I	2			
	○獣 医 解 剖 学 II	2			

(注)

1. 理科の中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「科目区分」物理学、化学、生物学及び地学にある『○印を付したすべての授業科目』を修得しなければならない。  
また、「科目区分」物理学実験、化学実験、生物学実験及び地学実験にある『△印を付した授業科目』からそれぞれ1科目1単位以上を修得しなければならない。
2. 理科の高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「科目区分」物理学、化学、生物学及び地学にある『○印を付したすべての授業科目』を修得しなければならない。  
また、「科目区分」物理学実験、化学実験、生物学実験及び地学実験にある『△印を付した授業科目』からいずれか1科目1単位以上を修得しなければならない。
3. 教科に関する科目は上記(注)1.及び2.に掲げる単位を含め、20単位以上修得しなければならない。20単位を超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。

イ 農学部において高等学校教諭一種の農業の免許状を取得する場合

生物生産学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
農業の 関係科目	○農業史	2	農業の 関係科目	学外実習(農家)	1
	○現代農業論	2		作物保護学	2
	○生物生産学原論	4		家畜飼養学	2
	○作物栽培学	2		家畜衛生学	2
	○作物学	2		農業微生物学	2
	○園芸学Ⅱ	2		食品リスクアナリシス	2
	○土壌学	2		国際農業論	2
	○土壌物質循環・肥料科学	2		農業資源経済学	2
	○畜産学総論	2		農業経営学	2
	○農業昆虫学Ⅰ	2		農業市場学	2
	蚕糸・昆虫利用学	2		食料システム経済学	2
	○農業経済学	2			
	農業分野専攻実習	2		職業指導	○職業指導

応用生物科学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
農業の 関係科目	食品化学Ⅰ	2	農業の 関係科目	生体高分子利用学	2
	細胞工学	2		○農薬化学	2
	○栄養化学Ⅰ	2		天敵微生物学	2
	分子細胞生物学	2		病原微生物学	2
	○植物工学	2		○植物病理学	2
	○専門自由科目(食品工学)	2		昆虫生理学	2
	栄養化学Ⅱ	2		○昆虫生物学	2
	応用微生物学	2		○植物保護学	2
	代謝工学	2		バイオリジカルコントロール	2
	蛋白質学	2		生物相関学	2
	食品化学Ⅱ	2		植物生理学	2
	○食品製造学	2		農場実習	1
	○食品衛生学	2		職業指導	○職業指導

環境資源科学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
農業の 関係科目	農業史	2	農業の 関係科目	住環境構造学	2
	現代農業論	2		ライフサイクルアセスメント	2
	環境情報学	2		環境資源科学特別講義Ⅱ	1
	○資源分解・廃棄学	2		環境資源科学特別講義Ⅲ	1
	○環境リサイクル学	2		環境資源科学特別講義Ⅳ	1
	森林科学概論	2		微生物生理生態学	2
	○森林資源科学	2		○環境毒性学	2
	○森林資源利用学	2		○環境植物学	2
	環境資源科学特別講義Ⅰ	1		○森林資源形成学	2
	○環境汚染化学	2		生分解学	2
	地球環境化学	2			
○植物資源化学	2	職業指導	○職業指導	2	

地域生態システム学科						
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目		
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数	
農業の 関係科目	○地域生態システム学	4	農業の 関係科目	山地保全学	2	
	地域生態システム学実習Ⅰ	1		砂防工学	2	
	地域生態システム学実習Ⅱ	1		水文学	2	
	○地域生態システム学特別演習Ⅰ	1		森林施設工学	2	
	○地域生態システム学特別演習Ⅱ	1		森林生産システム学	2	
	○地域生態システム学特別演習Ⅲ	2		持続的森林管理論	2	
	○造園学	2		農地工学	2	
	○水資源管理論	2		灌漑排水工学	2	
	○野生動物保全学	2		農村地域計画学	2	
	○地域環境社会学	2		農産プロセス工学	2	
	環境経済学	2		地盤工学	2	
	環境教育学	2		水利施設工学	2	
	生物生産環境学	2		国際開発論	2	
	バイオマス利用論	2		インタープリテーション技術	2	
	野生動物保全技術論	2		環境公法	2	
	生物多様性保全学	2		人と動物の関係論	2	
	森林政策学	2		地域社会システム計画論	2	
	森林計画学	2				
	森林施業論	2		職業指導	○職業指導	2

獣医学科						
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目		
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数	
農業の 関係科目	数 理 統 計 学	2	農業の 関係科目	○大動物臨床繁殖学Ⅰ	2	
	農 業 史	2		○大動物臨床繁殖学Ⅱ	2	
	現 代 農 業 論	2		○大動物臨床繁殖学実習	1	
	獣 医 衛 生 学 Ⅰ	2		○大動物内科・外科学実習	1	
	獣 医 衛 生 学 Ⅱ	2		○獣 医 学 概 論	2	
	○獣 医 衛 生 学 実 習	1		○畜 産 学 総 論	2	
	○公 衆 衛 生 学 Ⅰ	2		○野 生 動 物 保 全 技 術 論	2	
	○公 衆 衛 生 学 Ⅱ	2		○獣 医 臨 床 実 習	3	
	○公 衆 衛 生 学 Ⅲ	2		獣 医 学 演 習	3	
	○公 衆 衛 生 学 実 習 Ⅰ	1				
	○公 衆 衛 生 学 実 習 Ⅱ	1				
	○疫 学	2	職業指導	○職 業 指 導	2	

(注)

1. 農業の高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、『○印を付したすべての授業科目』(以下「必要単位数」という。)を含めて、20単位以上修得しなければならない。
2. 教科に関する科目の修得単位数が必要単位数である20単位を超える場合、その超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。
3. 職業指導は、隔年開講【集中講義】

ウ 工学部において中学校教諭一種、高等学校教諭一種の理科の免許状を取得する場合

生命工学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○物理学基礎	2	生物学	○生物学基礎	2
	電磁気学	2		生命化学Ⅰ	2
	量子力学概論	2		分子生物学Ⅰ	2
	熱力学	2		分子生物学Ⅱ	2
物理学実験	○生命工学実験Ⅰ	4		ライフサイエンス基礎演習Ⅰ	2
化学	○化学基礎	2	生物学実験	○工学基礎実験	2
	生命有機化学Ⅰ	2		生命工学実験Ⅲ	4
	生命物理化学Ⅰ	2		基礎生物学実験	2
化学実験	○生命工学実験Ⅱ	4	地学	○地学	2
			地学実験	△地学実験	1

応用分子化学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○力学	2	化学	高分子化学	2
	○電磁気学	2		無機化学Ⅱ	2
	量子化学Ⅰ	2		物理化学Ⅲ	2
	応用物理化学	2		有機化学Ⅲ	2
	応用分子化学基礎演習Ⅰ	1		反応速度論	2
エネルギー化学	2	有機反応論		2	
物理学実験	○科学基礎実験	1		半導体化学	2
化学	○有機化学Ⅰ	2	化学実験	○応用分子化学実験Ⅰ	3
	○物理化学Ⅰ	2		○応用分子化学実験Ⅱ	3
	無機分析化学	2		○応用分子化学実験Ⅲ	3
	無機化学Ⅰ	2	生物学	生物学	2
	有機化学Ⅱ	2		○生物化学Ⅰ	2
	物理化学Ⅱ	2	生物化学Ⅱ	2	
	有機機器分析	2	生物学実験	○工学基礎実験	2
	無機機器分析	2	地学	○地学	2
	応用分子化学基礎演習Ⅱ	1	地学実験	△地学実験	1

有機材料化学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○物理学基礎	2	化学	熱力学Ⅱ	2
	力学概論	2		有機化学Ⅱ	2
	振動・波動の物理	2		量子化学Ⅰ	2
	材料電磁気学	2		高分子化学Ⅰ	2
物理学実験	○科学基礎実験	1	化学実験	○有機材料化学実験Ⅱ	4
	有機材料化学実験Ⅰ	4		有機材料化学実験Ⅲ	4
化学	○熱力学Ⅰ	2	生物学	生物学	2
	○無機化学Ⅰ	2	○生物機能化学	2	
	○分析化学	2	生物学実験	○工学基礎実験	2
	○有機化学Ⅰ	2	地学	○地学	2
	○反応速度論	2	地学実験	△地学実験	1

化学システム工学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
物理学	○力学	2	化学	化学基礎演習	1
	○電磁気学	2		有機化学Ⅱ	2
	量子力学概論	2		反応速度論	2
	物理学基礎演習	1		化学工学序論	1
	熱力学	2		化学工学基礎	2
物理学実験	○化学システム工学実験Ⅲ	3	化学実験	○化学システム工学実験Ⅰ	3
化学	○有機化学基礎	2		化学システム工学実験Ⅱ	3
	○分析化学	2	生物学	○生物学基礎	2
	○無機化学基礎	2	生物化学	2	
	○有機化学Ⅰ	2	生物学実験	○工学基礎実験	2
	○平衡論	2	地学	○地学	2
	○機器分析化学	2	地学実験	△地学実験	1

機 械 シ ス テ ム 工 学 科					
免 許 法	左 欄 対 応 す る 学 科 開 設 科 目		免 許 法	左 欄 対 応 す る 学 科 開 設 科 目	
科 目 区 分	授 業 科 目	単 位 数	科 目 区 分	授 業 科 目	単 位 数
物 理 学	○ 物 理 学 基 礎	2	物 理 学	伝 熱 学 I	2
	○ 物 理 学 基 礎 演 習	1		伝 熱 学 II	2
	機 械 力 学 I	2		エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	2
	機 械 力 学 II	2		航 空 宇 宙 流 体 力 学	2
	流 体 力 学 I	2		機 械 材 料 学	2
	熱 工 学 I	2		機 械 電 子 工 学 I	2
	○ 電 磁 気 学	2	物 理 学 実 験	○ 機 械 シ ス テ ム 工 学 実 験 II	2
	量 子 力 学 概 論	2		○ 機 械 シ ス テ ム 工 学 実 験 III	2
	材 料 力 学 I	2	化 学	○ 化 学 基 礎	2
	材 料 力 学 II	2	化 学 実 験	○ 機 械 シ ス テ ム 工 学 実 験 I	2
	○ 静 力 学	2	生 物 学	○ 生 物 学 基 礎	2
	動 力 学	2	生 物 学 実 験	○ 工 学 基 礎 実 験	2
	熱 工 学 II	2	地 学	○ 地 学	2
	流 体 力 学 II	2	地 学 実 験	△ 地 学 実 験	1

物 理 シ ス テ ム 工 学 科					
免 許 法	左 欄 対 応 す る 学 科 開 設 科 目		免 許 法	左 欄 対 応 す る 学 科 開 設 科 目	
科 目 区 分	授 業 科 目	単 位 数	科 目 区 分	授 業 科 目	単 位 数
物 理 学	力 学 入 門	2	物 理 学	○ 量 子 力 学 I	2
	○ 力 学 I	2		量 子 力 学 II	2
	力 学 II	2	物 理 学 実 験	○ 物 理 シ ス テ ム 工 学 実 験 I	2
	電 磁 気 学 入 門	2		○ 物 理 シ ス テ ム 工 学 実 験 II	2
	○ 電 磁 気 学 I	2		○ 物 理 シ ス テ ム 工 学 基 礎 実 験	1
	電 磁 気 学 II	2	化 学	○ 化 学 基 礎	2
	量 子 力 学 入 門	2		物 理 化 学	2
	力 学 演 習	1	化 学 実 験	○ 物 理 シ ス テ ム 工 学 実 験 III	2
	物 質 科 学 入 門	2	生 物 学	○ 生 物 学 基 礎	2
	環 境 科 学	2	生 物 学 実 験	○ 工 学 基 礎 実 験	2
	エ ネ ル ギ ー 科 学	2	地 学	○ 地 学	2
	電 磁 気 学 演 習	1	地 学 実 験	△ 地 学 実 験	1



電 気 電 子 工 学 科					
免 許 法	左欄に対応する学科開設科目		免 許 法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授 業 科 目	単位数	科目区分	授 業 科 目	単位数
物理学	○ 物 理 学 基 礎	2	物理学実験	○ 電 気 電 子 工 学 実 験 Ⅱ A	2
	○ 物 理 学 基 礎 演 習	1		又は電 気 電 子 工 学 実 験 Ⅱ B	
	○ 電 磁 気 学 Ⅰ および演習	3		電 気 電 子 工 学 実 験 Ⅲ A	2
	○ 電 磁 気 学 Ⅱ および演習	3		電 気 電 子 工 学 実 験 Ⅲ B	2
	量 子 力 学 概 論	2	化 学	○ 化 学 基 礎	2
	熱 統 計 力 学	2		物 理 化 学	2
	○ 基 礎 電 気 回 路 Ⅰ および演習	3	化 学 実 験	○ 電 気 電 子 工 学 実 験 Ⅰ	2
	基 礎 電 気 回 路 Ⅱ および演習	3	生 物 学	○ 生 物 学 基 礎	2
	ベクトル解析および演習	3	生 物 学 実 験	○ 工 学 基 礎 実 験	2
			地 学	○ 地 学	2
		地 学 実 験	△ 地 学 実 験	1	

(注)

1. 理科の中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「科目区分」すべての領域から『○印及び△印を付したすべての授業科目』を含め、20単位以上を修得しなければならない。
2. 理科の高等学校教諭一種の免許状を取得しようとする者は、地学実験を除くすべての「科目区分」において、『○印を付したすべての授業科目』を含め、20単位以上を修得しなければならない。
3. 教科に関する科目の修得単位数が必要単位数である20単位を超える場合、その超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。

エ 工学部において中学校教諭一種、高等学校教諭一種の数学の免許状を取得する場合

物 理 シ ス テ ム 工 学 科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授 業 科 目	単位数	科目区分	授 業 科 目	単位数
代 数 学	代 数 学 I	2	解 析 学	微 分 方 程 式 II	2
	物 理 数 学 I	2		関 数 論	2
	○線形代数学 I	2		量 子 力 学 演 習	1
	○線形代数学 II	2	確率論、 統計学	○熱物理学入門	2
物 理 数 学 演 習	1	熱 統 計 力 学		2	
幾 何 学	○幾 何 学	2		物 理 数 学 II	2
	振 動 ・ 波 動	2		物 理 実 験 学	2
	フ ォ ト ニ ク ス	2	熱 統 計 力 学 演 習	1	
解 析 学	○微分積分学 I および演習	3	コ ン ピ ュ ー タ	○コンピュータ基礎実験	1
	○微分積分学 II および演習	3		計 測 ・ 制 御 回 路	2
	○微 分 方 程 式 I	2		電 子 回 路	2

情 報 工 学 科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授 業 科 目	単位数	科目区分	授 業 科 目	単位数
代 数 学	○線形代数学 I	2	確率論、 統計学	○数理統計学	2
	○線形代数学 II	2		○情報理論	2
	代 数 学 I	2	情 報 理 論 演 習	1	
	論 理 回 路	2	コ ン ピ ュ ー タ	情 報 数 学	2
幾 何 学	○幾 何 学	2		情 報 数 学 演 習	1
	画 像 工 学	2		オペレーションズ・リサーチ	2
解 析 学	○微分積分学 I および演習	3		関 数 プ ロ グ ラ ミ ン グ	2
	○微分積分学 II および演習	3		ア ル ゴ リ ズ ム 論	2
	○微 分 方 程 式	2		○コンピュータ序論演習	1
	関 数 論	2		○アルゴリズム序論演習	1
	信 号 処 理 論	2			

(注)

1. 数学の中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「科目区分」すべての領域から『○印を付したすべての授業科目』を含め、20単位以上を修得しなければならない。
2. 教科に関する科目の修得単位数が必要単位数である20単位を超える場合、その超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。

オ 工学部において高等学校教諭一種の情報の免許状を取得する場合

情報工学科					
免許法	左欄に対応する学科開設科目		免許法	左欄に対応する学科開設科目	
科目区分	授業科目	単位数	科目区分	授業科目	単位数
情報社会及び 情報倫理	○言語情報文化論	2	情報 システム	○計算機アーキテクチャ基礎	2
	特許法	2		ヒューマンインターフェース	2
コンピュータ 及び 情報処理	○プログラミング序論	2		計算機アーキテクチャ演習	1
	○プログラミング基礎	2		情報工学実験A	2
	○アルゴリズム序論	2	情報通信 ネットワーク	○計算機ネットワーク	2
	言語処理系	2	マルチメディ ア表現及び 技術	○コンピュータグラフィックス	1
	オペレーティングシステム	2		オペレーションズ・リサーチ	2
	計測・制御工学	2		パターン認識	2
プログラミング序論演習	1	画像工学		2	
プログラミング基礎演習	1	情報工学実験B	2		
情報 システム	データベース	2	情報と職業	○情報化社会と職業	1
	ソフトウェア工学	2			

(注)

1. 情報の高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「科目区分」すべての領域から『○印を付したすべての授業科目』を含め、20単位以上を修得しなければならない。
2. 教科に関する科目の修得単位数が必要単位数である20単位を超える場合、その超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に算入することができる。

カ 大学院における中学校教諭、高等学校教諭の専修免許状を取得する場合

(工学府)

生命工学専攻							
免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	生物機能工学特論	2	理 科	理科に関する科目	海洋生物学特論	2
		生物情報工学特論	2			応用生物学特別講義	2
		生体物性学特論	2			生命工学倫理特別講義	2
		細胞分子工学特論	2			生命工学ビジネス特別講義	2
		生体反応工学特論	2			生命工学先端研究	6
		生体電子工学特論	2			生命工学セミナーⅠ	2
		生体機能工学特別講義	2			生命工学セミナーⅡ	2
		生物化学特論	2			生命工学セミナーⅢ	2
		生物物理化学特論	2			生命工学セミナーⅣ	2
		蛋白質化学特論	2			生命工学特別研究	4
		生物有機化学特論	2				

応用化学専攻							
免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	有機反応化学特論	2	理 科	理科に関する科目	分離工学特論Ⅰ	2
		無機反応化学特論	2			機能性触媒工学特論Ⅰ	2
		応用有機合成特論	2			化学プロセス工学特論Ⅰ	2
		応用無機合成特論	2			化学エネルギー工学特論Ⅰ	2
		電子化学特論	2			環境化学工学特論Ⅰ	2
		応用触媒化学特論	2			システム化学工学講座特別講義Ⅰ	2
		物質応用化学講座特別講義Ⅰ	2			システム化学工学講座特別講義Ⅱ	2
		物質応用化学講座特別講義Ⅱ	2			物質生物計測特論Ⅰ	2
		有機材料設計特論Ⅰ	2			物質生物計測特論Ⅱ	2
		有機材料合成特論Ⅰ	2			物質生物計測講座特別講義Ⅰ	2
		有機材料構造特論Ⅰ	2			応用化学セミナーⅠ	4
		有機材料物性特論Ⅰ	2			応用化学セミナーⅡ	4
		有機材料解析特論Ⅰ	2			応用化学特別実験	2
		分子化学工学特論Ⅰ	2			応用化学特別研究	4

機械システム工学専攻							
免 許 教	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	非線形力学特論	2	理 科	理科に関する科目	制御システム特論	2
		流体力学特論Ⅰ	2			機械電子工学特論	2
		材料力学特論	2			設計生産システム講座特別講義Ⅰ	2
		弾塑性解析特論	2			設計生産システム講座特別講義Ⅱ	2
		機械要素解析特論	2			機械知能システム工学講座特別講義Ⅰ	2
		システム基礎解析講座特別講義Ⅰ	2			機械システム工学セミナーⅠ	4
		システム基礎解析講座特別講義Ⅱ	2			機械システム工学セミナーⅡ	4
		熱流体システム設計特論	2			機械システム工学特別実験	2
		シミュレーション工学特論	2			機械システム工学特別研究	4
		精密計測工学特論	2				

物理システム工学専攻							
免 許 教	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
数 学	数学に関する科目	量子光学	2	数 学	数学に関する科目	応用量子力学	2
		流体物理学	2			応用物理数学	2
		ソフトマター物理工学	2			物理システム工学セミナーⅠ	4
		応用力学	2			物理システム工学セミナーⅡ	4
		応用電磁気学	2			物理システム工学特別実験	2
		応用熱統計力学	2			物理システム工学特別研究	4

電気電子工学専攻							
免許 教 科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免許 教 科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	半 導 体 薄 膜 工 学 特 論	2	理 科	理科に関する科目	電 磁 波 応 用 工 学 特 論 I	2
		信 号 処 理 特 論	2			環 境 エ ネ ル ギ ー 工 学 特 論 I	2
		パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス 特 論	2			電 気 電 子 工 学 セ ミ ナ ー I	4
		通 信 工 学 特 論 I	2			電 気 電 子 工 学 セ ミ ナ ー II	4
		光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 特 論	2			電 気 電 子 工 学 特 別 実 験	2
		情 報 入 出 力 シ ス テ ム 工 学 特 論	2			電 気 電 子 工 学 特 別 研 究	4

情報工学専攻							
免許 教 科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免許 教 科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
情 報	情報に関する科目	情 報 工 学 セ ミ ナ ー I	4	情 報	情報に関する科目	シ ス テ ム 評 価 設 計 工 学 特 論	2
		情 報 工 学 セ ミ ナ ー II	4			並 列 処 理 ・ ネ ッ ト ワ ー ク 特 論	2
		ビ ジ ュ ア ル コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ 特 論	2			知 能 機 械 デ ザ イン 学 特 論	2
		映 像 情 報 学 特 論	2			科 学 特 論 IV (社 会 情 報 論)	2
		技 術 マ ネ ー ジ メ ン ト 特 論 I	2			ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 工 学 特 論	2
		科 学 特 論 I (知 識 構 造 論)	2			科 学 特 論 III (表 現 技 術 論)	2
		ソ フ ト ウ ェ ア ア ー キ テ ク チ ャ 特 論	2				

(農学府)

生物生産科学専攻

(理科分野)

(農業分野)

免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	生物生産科学フロンティア講義Ⅳ	0.5	農 業	農業に関する科目	生物生産科学特論	1
		生物生産科学フロンティア講義Ⅴ	0.5			生物生産科学フロンティア講義Ⅰ	0.5
		生物生産科学フロンティア講義Ⅵ	0.5			生物生産科学フロンティア講義Ⅱ	0.5
		生物生産科学フロンティア講義Ⅶ	0.5			生物生産科学フロンティア講義Ⅲ	0.5
		生物生産科学フロンティア講義Ⅷ	0.5			生物生産科学フロンティア講義Ⅹ	0.5
		生物生産科学フロンティア講義Ⅸ	0.5			生物生産科学フロンティア講義ⅩⅠ	0.5
		生物生産科学ビジネス戦略特論Ⅰ	0.5			生物生産科学フロンティア講義ⅩⅡ	0.5
		生物生産科学英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2			生物生産科学ビジネス戦略特論Ⅱ	0.5
		生物生産科学インターンシップⅠ	1			生物生産科学英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2
		家畜生産技術学特論	2			生物生産科学インターンシップⅡ	1
		土壌生化学・物質循環特論	2			作物生産学特論	2
		昆虫管理学特論	2			土壌環境学特論	2
		生産環境科学特別演習Ⅱ	2			作物保護学特論	2
		生産環境科学特別実験Ⅱ	4			生産環境科学特別演習Ⅰ	2
		植物生態生理学特論	2			生産環境科学特別実験Ⅰ	4
		植物繁殖学特論	2			作物学特論	2
		土壌微生物利用・バイオ肥料学特論	2			園芸作物学特論	2
		植物分子生理学特論	2			植物栄養・肥料科学特論	2
		植物生産科学特別演習Ⅱ	2			植物遺伝育種学特論	2
		植物生産科学特別実験Ⅱ	4			植物生産科学特別演習Ⅰ	2
動物組織機構学特論	2	植物生産科学特別実験Ⅰ	4				
昆虫遺伝・発生学特論	2	畜産学特論	2				
動物生産科学特別演習Ⅱ	2	蚕糸科学特論	2				
動物生産科学特別実験Ⅱ	4	動物生産科学特別演習Ⅰ	2				
		動物生産科学特別実験Ⅰ	4				

共生持続社会学専攻

(理科分野)

(農業分野)

免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	ヒトと動物の共生心理学	2	農 業	農業に関する科目	地域農業システム特論	2
		共生技術社会論	2			比較農業経営形態特論	2
		環境共生思想	2			共生農業・カンントリービジネス特論	2
		共生教育論	2			食育・食農教育論	2
		環境マネジメント論	2			食農マーケティング論	2
		共生人間学特別研究Ⅰ	2			食料関連産業特論	2
		共生人間学特別研究Ⅱ	2			アニマル・ウェルフェア特論	2
		共生人間学特別研究Ⅲ	2			環境生業文化史論	2
		共生人間学特別研究Ⅳ	2			食糧環境経済学特別研究Ⅰ	2
		環境社会関係学特別研究Ⅰ	2			食糧環境経済学特別研究Ⅱ	2
		環境社会関係学特別研究Ⅱ	2			食糧環境経済学特別研究Ⅲ	2
		環境社会関係学特別研究Ⅲ	2			食糧環境経済学特別研究Ⅳ	2
		環境社会関係学特別研究Ⅳ	2			食糧環境科学特論Ⅰ	2
		共生環境科学特論Ⅰ	2			食糧環境科学特論Ⅱ	2
		共生環境科学特論Ⅱ	2			食糧環境科学特論Ⅲ	2
		共生環境科学特論Ⅲ	2				
		共生環境科学特論Ⅳ	2				
		共生環境科学特論Ⅴ	2				



応用生命化学専攻

(理科分野)

免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理 科 に 関 す る 科 目	応 用 生 命 科 学 特 論 I	1
		応 用 生 命 科 学 特 論 II	1
		応 用 生 命 科 学 特 論 III	1
		生 体 分 子 化 学 特 論 I	2
		生 体 分 子 化 学 特 論 II	2
		生 体 分 子 化 学 特 論 III	1
		生 体 分 子 化 学 特 論 IV	1
		生 体 分 子 化 学 特 別 演 習 I	2
		生 体 分 子 化 学 特 別 演 習 II	2
		生 体 分 子 化 学 特 別 研 究 I	4
		生 体 分 子 化 学 特 別 研 究 II	4
		生 理 生 化 学 特 論 I	2
		生 理 生 化 学 特 論 II	2
		生 理 生 化 学 特 論 III	1
		生 理 生 化 学 特 論 IV	1
		生 理 生 化 学 特 別 演 習 I	2
		生 理 生 化 学 特 別 演 習 II	2
		生 理 生 化 学 特 別 研 究 I	4
		生 理 生 化 学 特 別 研 究 II	4
		分 子 生 物 学 特 論 I	2
		分 子 生 物 学 特 論 II	2
		分 子 生 物 学 特 論 III	1
		分 子 生 物 学 特 論 IV	1
		分 子 生 物 学 特 別 演 習 I	2
		分 子 生 物 学 特 別 演 習 II	2
		分 子 生 物 学 特 別 研 究 I	4
		分 子 生 物 学 特 別 研 究 II	4
		環 境 老 年 学 特 論 I	2
		環 境 老 年 学 特 論 II	2
		環 境 老 年 学 特 論 III	1
		環 境 老 年 学 特 論 IV	1
		環 境 老 年 学 特 別 演 習 I	2
		環 境 老 年 学 特 別 演 習 II	2
		環 境 老 年 学 特 別 研 究 I	4
環 境 老 年 学 特 別 研 究 II	4		

生物制御科学専攻

(理科分野)

免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理 科 に 関 す る 科 目	生 物 制 御 科 学 特 論 I	1
		生 物 制 御 科 学 特 論 II	1
		生 物 制 御 科 学 特 論 III	1
		生 物 制 御 科 学 特 論 IV	1
		生 物 制 御 科 学 特 論 V	1
		生 物 制 御 科 学 特 論 VI	1
		創 薬 化 学 特 論	2
		植 物 生 理 学 特 論	2
		植 物 病 理 学 特 論	2
		植 物 病 原 学 特 論	2
		生 物 制 御 化 学 特 論	2
		生 理 活 性 天 然 物 化 学 特 論	2
		細 胞 分 子 生 物 学 特 論	2
		発 生 生 物 学 特 論	2
		応 用 昆 虫 学 特 論	2
		昆 虫 生 理 化 学 特 論	2
		天 敵 微 生 物 学 特 論	2
		生 物 的 制 御 学 特 論	2
		生 物 制 御 科 学 特 別 実 験 I	2
		生 物 制 御 科 学 特 別 実 験 II	2
生 物 制 御 科 学 特 別 実 験 III	2		
生 物 制 御 科 学 特 別 実 験 IV	2		
生 物 制 御 科 学 論 文 演 習 I	1		
生 物 制 御 科 学 論 文 演 習 II	1		
生 物 制 御 科 学 論 文 演 習 III	1		
生 物 制 御 科 学 論 文 演 習 IV	1		

環境資源物質科学専攻

(理科分野)

免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理 科 に 関 す る 科 目	環境資源物質科学特別講義Ⅰ	2
		環境資源物質科学特別講義Ⅱ	2
		環境資源物質科学特別講義Ⅲ	2
		環境資源物質科学コミュニケーション特論	2
		環境資源物質科学特論	2
		環境資源計測学特論	2
		生物物理化学特論	2
		分子ダイナミクス学特論	2
		植物材料物性学特論	2
		住環境材料加工学特論	2
		環境資源材料学特別実験Ⅰ	4
		環境資源材料学特別実験Ⅱ	4
		環境資源材料学研究報告演習Ⅰ	2
		環境資源材料学研究報告演習Ⅱ	2
		資源複合機能学特論	2
		植物繊維化学特論	2
		再生資源科学特論	2
		生分解制御学特論	2
		植物資源形成学特論	2
		資源機能制御学特別実験Ⅰ	4
資源機能制御学特別実験Ⅱ	4		
資源機能制御学研究報告演習Ⅰ	2		
資源機能制御学研究報告演習Ⅱ	2		

物質循環環境科学専攻

(理科分野)

免許 教科	科目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理 科 に 関 す る 科 目	環 境 生 物 学 特 論	2
		環 境 化 学 特 論	2
		大 気 環 境 学 特 論	2
		環 境 微 生 物 学 特 論	2
		環境ストレス植物学特論	2
		環境汚染生物学特論	2
		生物圏環境学特論	2
		環境生物学特別講義Ⅰ	0.5
		環境生物学特別講義Ⅱ	0.5
		環境生物学特別講義Ⅲ	0.5
		環境生物学特別講義Ⅳ	0.5
		環境生物学特別実験Ⅰ	4
		環境生物学特別実験Ⅱ	4
		環境生物学研究報告演習Ⅰ	1
		環境生物学研究報告演習Ⅱ	1
		環境生物学英語論文講読演習Ⅰ	1
		環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1
		無機地球化学特論	2
		有機地球化学特論	2
		社会・生物地球化学特論	2
		地球環境化学特論	2
		環境毒性学特論	2
		環境化学特別講義Ⅰ	0.5
		環境化学特別講義Ⅱ	0.5
		環境化学特別講義Ⅲ	0.5
		環境化学特別講義Ⅳ	0.5
		環境化学特別実験Ⅰ	4
		環境化学特別実験Ⅱ	4
		環境化学研究報告演習Ⅰ	1
		環境化学研究報告演習Ⅱ	1
環境化学英語論文講読演習Ⅰ	1		
環境化学英語論文講読演習Ⅱ	1		

自然環境保全学専攻

(理科分野)

(農業分野)

免 許 科 教 科 目	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 科 教 科 目	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	基礎統計学	2	農 業	農業に関する科目	自然環境保全学Ⅰ	1
		生物多様性保全学特論	2			自然環境保全学Ⅱ	1
		野生動物保全生態学特論	2			自然環境保全学特別講義Ⅰ	0.5
		野生動物保全政策学特論	2			自然環境保全学特別講義Ⅱ	0.5
		野生動物救護学	2			自然環境保全学特別講義Ⅲ	0.5
		人間生理生態学特論	2			自然環境保全学特別講義Ⅳ(国際)	0.5
		森林生態学特論	2			植生管理学特論	2
		森林水文学特論	2			森林利用システム学特論	2
		景観生態学特論	2			森林-人間系科学論	2
		森林土壌学特論	2			健康アメニティ科学特論	2
		自然環境科学特別研究	4			森林計画学特論	2
		自然環境科学特別演習	1			山地保全学特論	2
		自然環境科学外語論文講読演習	1			森林施設工学特論	2
						自然環境保全学特別研究	4
		自然環境保全学特別演習	1				
		自然環境保全学外語論文講読演習	1				

農業環境工学専攻

(理科分野)

(農業分野)

免 許 科 教 科 目	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 科 教 科 目	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理科に関する科目	農業環境工学特別講義Ⅰ	0.5	農 業	農業に関する科目	農業環境工学特別講義Ⅲ	0.5
		農業環境工学特別講義Ⅱ	0.5			農業環境工学特別講義Ⅳ	0.5
		実験計画法特論	1			農業環境工学特別講義Ⅴ	0.5
		数値解析学特論Ⅱ	1			計測工学特論	1
		地盤工学特論	2			数値解析学特論Ⅰ	1
		土壌環境保全学特論	2			地域環境計画学特論	2
		構造設計学特論	2			水利システム学特論	2
		地域環境工学英語論文講読演習	1			農村地域計画学特論	2
		地域環境工学特別実験Ⅰ	1			地域環境工学国際コミュニケーション演習	1
		地域環境工学特別実験Ⅱ	2			地域環境工学特別演習Ⅰ	1
		地域環境工学特別実験Ⅲ	2			地域環境工学特別演習Ⅱ	2
		生態情報学特論	2			地域環境工学特別演習Ⅲ	2
		農産プロセス工学特論	2			精密農業特論	2
		生物生産工学国際コミュニケーション演習	1			自然エネルギー利用学特論	2
		生物生産工学特別演習Ⅰ	1			生物生産工学英語論文講読演習	1
		生物生産工学特別演習Ⅱ	2			生物生産工学特別実験Ⅰ	1
		生物生産工学特別演習Ⅲ	2			生物生産工学特別実験Ⅱ	2
		農業環境工学特論Ⅰ	2			生物生産工学特別実験Ⅲ	2
		農業環境工学特論Ⅱ	2			農業環境工学特論Ⅳ	2
		農業環境工学特論Ⅲ	2			農業環境工学特論Ⅴ	2
		農業環境工学特論Ⅵ	2				

国際環境農学専攻

(理科分野)

(農業分野)

免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理 科	理 科 に関 する 科目	地 球 環 境 論	2	農 業	農 業 に関 する 科目	地 域 社 会 開 発 総 論	2
		地 域 環 境 計 画 学	2			国 際 農 業 技 術 論	2
		環 境 修 復 保 全 学	2			国 際 環 境 農 学 コミュニケーション演 習	1
		水 利 環 境 保 全 学	2			国 際 環 境 農 学 課 題 別 演 習	1
		水 環 境 評 価 学	2			環 境 農 業 協 力 論	2
		国 際 環 境 修 復 保 全 学 特 別 研 究	6			地 域 開 発 政 策 学	2
		国 際 環 境 修 復 保 全 学 演 習	4			国 際 開 発 協 力 論	2
		地 域 生 物 機 能 利 用 学	2			国 際 地 域 開 発 学 特 別 研 究	6
		地 域 持 続 生 物 生 産 技 術 学	2			国 際 地 域 開 発 学 演 習	4
		生 物 資 源 循 環 利 用 学	2			国 際 環 境 農 学 特 論 I	2
		生 物 新 機 能 開 発 学	2			国 際 環 境 農 学 特 論 II	2
		国 際 生 物 生 産 資 源 学 特 別 研 究	6			国 際 環 境 農 学 国 内 外 実 習	2
		国 際 生 物 生 産 資 源 学 演 習	4				

( 生物システム応用科学府 )

生物システム応用科学専攻							
免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数	免 許 教 科	科 目	左欄に対応する授業科目	単 位 数
理科	理科に関する科目	生物システム応用科学研究概論	2	理科	理科に関する科目	神経機能情報ネットワーク特論Ⅱ	2
		基礎技術演習Ⅰ	1			生体モデル知覚システム特論Ⅰ	2
		基礎技術演習Ⅱ	1			生体モデル知覚システム特論Ⅱ	2
		実践発表Ⅰ	1			生体機能運動システム特論Ⅰ	2
		実践発表Ⅱ	1			生体機能運動システム特論Ⅱ	2
		物質機能設計特論Ⅰ	2			生体機構情報システム学セミナー	4
		物質機能設計特論Ⅱ	2			生体機構情報システム学特別実験	2
		物質機能応用特論Ⅰ	2			生体機構情報システム学特別研究	4
		物質機能応用特論Ⅱ	2			生態系型生産システム特論Ⅰ	2
		物質エネルギーシステム特論	2			生態系型生産システム特論Ⅱ	2
		物質エネルギーⅠシステム特論	2			生物相関システム特論Ⅰ	2
		物質エネルギーⅡシステム特論	2			生物相関システム特論Ⅱ	2
		超分子機能システム特論Ⅰ	2			資源循環利用システム特論Ⅰ	2
		超分子機能システム特論Ⅱ	2			資源循環利用システム特論Ⅱ	2
		物質機能システム学セミナー	4			生物・環境計測システム特論Ⅰ	2
		物質機能システム学特別実験	2			生物・環境計測システム特論Ⅱ	2
		物質機能システム学特別研究	4			循環生産システム学セミナー	4
		生物情報反応システム特論Ⅰ	2			循環生産システム学特別実験	2
		生物情報反応システム特論Ⅱ	2			循環生産システム学特別研究	4
		神経機能情報ネットワーク特論Ⅰ	2				

(注) 工学府(前期課程)、農学府及び生物システム応用科学府(前期課程)において、中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状を取得する者は、上記表に掲げる科目から24単位以上を修得しなければならない。

## (5) 他大学で修得した単位の認定

入学する前に、教職課程の認定を受けていない大学(短期大学を含む)又は高等専門学校の第4学年及び第5学年に係る課程で修得した単位若しくは専攻科の課程での学修のうち、「教科に関する科目」として適当であると認める科目については、本学の定めるところにより認定することができるので、該当者は申し出ること。

## (6) 教育実習について

### ア 教育実習の意義

教職への道を選ぶ際、教育現場における観察・参加・実習などを、総合的・体験的に予め学習することを通して、確かな教職観を身につける。

### イ 教育実習を履修する要件・手続き等

#### (ア) 履修の要件

教育実習を行う時までに、日本国憲法2単位及び教職に関する科目(教科教育法Ⅰ～Ⅳを含む)12単位以上を履修しておくこと。

卒業見込があること。(科目等履修生を除く。)

#### (イ) 履修の手続き

教育実習を受講する者は、「教育実習事前事後指導」(オリエンテーションⅠ～Ⅲ)を必ず受講し、各学部が指示する期間に所定の手続きをとり、教育実習履修届を提出すること。

#### (ウ) 教育実習実施

教育実習の履修には、次の授業・実習の全体が含まれる。

成績評価は、事前指導、本実習及び事後指導のすべてを修得した者について行い、「教育実習事前事後指導」1単位、「中学校教育実習」4単位又は「高等学校教育実習」2単位を認定する。

科 目	実 施 時 期	授 業 内 容 等
教育実習事前事後指導 (1単位)	教育実習事前指導 2年次(獣医学科は4年次)1月頃～ ・オリエンテーションⅠ →2年次1月頃(獣医学科は4年次) ・オリエンテーションⅡ →3年次10月頃(獣医学科は5年次) ・オリエンテーションⅢ →3年次3月頃(獣医学科は5年次)	教育実習の目的・内容・展開・ 教育機器の意義と利用
高等学校教育実習 (2単位)	教育実習 4年次(獣医学科は6年次) 5～10月	教育実習校での実習
中学校教育実習 (4単位)	教育実習事後指導 4年次(獣医学科は6年次) 教育実習終了後	レポートを提出し実習経験を 踏まえての討議等

## (7) 介護等体験について

中学校教諭一種免許状を取得する学生は「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(平成9年6月18日公布)同法施行規則(同年11月26日公布)により、平成10年度入学生から介護等体験を行うことが義務付けられた。

そこで2年次以上の学生が東京都において社会福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間、計7日間の介護等体験を行うことになる。(1年次の10月に実施する介護等体験オリエンテーションに出席し、介護等体験履修願を提出すること。)

## 7 教育職員免許状の申請・交付

教育職員免許状は、各都道府県の教育委員会が授与することとされており、個人でそれぞれ居住地の都道府県教育委員会に申請することとなっているが、卒業後にすぐ免許状の取得を必要とする人たちのため、東京都教育委員会では、迅速な事務処理の方法として、大学でとりまとめて免許状の申請手続を行う「一括申請」の制度をとっている。一括申請をするために必要な説明会を4年次の7月頃に開催するので、これに出席し必要な手続を取る。さらに、4年次1月～2月に必要な申請料を納入すること。この手続を行い、東京都教育委員会の一括審査で承認された者には、卒業式当日に教育職員免許状が交付される。

## 8 教職に関する科目の講義要目

各科目の講義要目は、HPのシラバスを参照すること。



VI

参 考



# 1. 平成22年度 年間カレンダー

区分	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月										
前 学 期	4月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
					学年開始	入学式	新入生オリエンテーション	授業開始																				農学部新入生合宿オリエンテーション								昭和の日				
					春季休業					定期健康診断																														
	5月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
									憲法記念日	みどりの日	こどもの日																										月曜振替		創立記念日	
	6月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
7月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
9月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
後 学 期	10月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
	11月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
	12月																																							
1月						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
2月																																								
3月																																								

※1. 入学式(新入生オリエンテーション)、学園祭、大学入試センター試験準備、2/17~3/31は、休講となります。  
 ※2. 定期試験及び学園祭日程については、変更することがあります。

## 2. 東京農工大学歌

野上 彰 作詞

Tempo di Marcia (はぎれよく)

長谷川良夫 作曲

1 れき しをこえ て — — れき しをきず  
 き — — 世 — 紀をふみ て — — 世 — 紀をにのう  
 — さだ めうけし われら わ—れら  
 あまがけりゆく あおたかよ しんりのひかりに  
 はばたきて ぎじゅつのほのおにみをつつめ 農  
 工 — — 農 工 — — 農 工 — だい 学 (ga-k) 農  
 工 — — 農 工 — — 農 工 — だい 学 (ga-k) 学 (ga-k)

### 1 歴史を超えて 歴史を築き

世紀を踏みて 世紀をにのう

運命うけし われらわれら

天翔けりゆく 青鷹よ

真理の光に 羽ばたきて

技術の炎に 身をつつめ

農工 農工 農工大学

農工 農工 農工大学

### 3 世界に広く 心の窓を

文化の森に 叡智の道を

開き造る われらわれら

かがやく未来の あけぼのに

伝統の旗を 振りかざし

足音高く 進み行け

農工 農工 農工大学

農工 農工 農工大学

### 2 希望の雲に 希望の虹を

生命の幹に 生命の花を

かかげひらく われらわれら

望めば遠き むさし野の

涯なき空を 仰ぎては

理想のともしび 押し立てよ

農工 農工 農工大学

農工 農工 農工大学

### 3. 施設の所在地等

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話
本 部	183 - 8538	東京都府中市晴見町3 - 8 - 1	042-367-5895
学 寮 ( 櫻寮・桜寮 )	184 - 8569	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7213
〃 ( 楓寮 )	183 - 0054	東京都府中市幸町2 - 41	042-367-5552
合宿研修施設			
館 山 荘	294 - 0051	館山市正木字干潟1256 - 131	0470-27-6262
府中国際交流会館	183 - 0054	東京都府中市幸町2 - 41	042-367-5550
小金井国際交流会館	184 - 0012	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7241
保健管理センター	183 - 8538	東京都府中市晴見町3 - 8 - 1	042-367-5548
国際センター	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7618
農学府・農学部	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5655
附属F S センター			
F M 府中	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5799
F M 本町	183 - 0027	東京都府中市本町3 - 7 - 7	042-361-3316
F M 津久井	220 - 0204	相模原市津久井町長竹志田口3657 - 1	0427-84-0311
F M 唐沢山	327 - 0312	栃木県佐野市栃本町1	0283-62-0042
F M 草木	376 - 0302	群馬県みどり市東町草木1582	0277-97-2110
F M 大谷山	376 - 0304	群馬県みどり市東町神戸277	0277-97-2110
F M 秩父	369 - 1901	埼玉県秩父市大滝瀬平1840 - 2	0494-55-0269
F M 多摩丘陵	192 - 0355	東京都八王子市堀ノ内1528	0426-76-9933
附属動物医療センター	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5785
附属硬蛋白質利用研究施設	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5791
大学院連合農学研究科	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5670
工学府・工学部	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7003
科学博物館			042-388-7163
附属ものづくり創造工学 センター			042-388-7102
大学院生物システム 応用科学府	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7220
大学院技術経営研究科	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7739
専門職大学院田町教室	108 - 0023	東京都港区芝浦3 - 3 - 6	03-5440-9091
総合情報メディアセンター	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7194
遺伝子実験施設	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5563
府中図書館	183 - 8509	東京都府中市幸町3 - 5 - 8	042-367-5570
小金井図書館	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7167
環境管理施設	184 - 8588	東京都小金井市中町2 - 24 - 16	042-388-7164



けやき  
檜の葉に大学の文字を配した本学の徽章  
(昭和31年10月制定)

檜は、大空に力強く伸び、本学や我々の未来を示唆している。防風の役目をして役に立つ。檜を吹き抜ける風に乗って大空に羽ばたくなどの意味があるといわれている。